

ウインドミル

第 24 号







全日本大学ソフトボール連盟

ごあいさつ

(写真 別データあり、楕円抜きにしてください。)

全日本大学ソフトボール連盟会長
中 野 元

学連機関誌 **ウインドミル**第24号の刊行に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

令和2（2020）年度は新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄された一年になってしまいました。4月の政府による緊急事態宣言や世界的な感染拡大（パンデミック）が広がるなか、日本のスポーツ界では、2020東京オリンピックや国体といった主要イベントが次々に中止される事態に陥りました。こうしたなか、文部科学大臣杯第55回全日本大学ソフトボール選手権大会も中止という苦渋の結論にいたりしました。

7月、困難な状況でも大学ソフトボール競技を非常に限られた条件のなか、可能な範囲で実施したい、学生選手の思いをかなえたいということから代替大会として全国大学選抜ソフトボール選手権大会を開催いたしました。各大学では、チームづくりから練習環境の整備さらには各地区予選会などたいへんな苦勞を強いられながらも、なんとかこの大会は終えることができました。年間を通じて、スポーツをすること、スポーツ大会を支えること、スポーツ大会を観る環境を整えること、これらの大切さを改めて実感いたしました。

今回の **ウインドミル**では、新型コロナウイルス感染拡大という困難な状況のなかで各チーム、選手が大学ソフトボール競技に取り組んだ貴重な内容が含まれています。今後こうした多くの経験が大学ソフトボールのさらなる発展のために大いに生かされていくことを念願しています。大学ソフトボール競技・大会にご支援とご協力をいただいております皆さまに衷心より感謝申し上げます、ごあいさつといたします。

ウインドミル

第24号

目 次

ごあいさつ ●会長 中野 元	-----	1
〔巻頭言〕 ●「報恩謝徳」	-----	4
副会長 高橋 伸次（高崎経済大学）		
〔事業報告〕 ●令和2年度の事業報告と今後の活動方針	-----	5
理事長 岩間 英明		
●『中止－開催』	-----	8
～2020年全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会開催までの道のり～		
副理事長 二瓶 雄樹（中京大学）		
●新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	-----	13
対策，対応，対処マニュアル		
〔研究論文〕 ●COVID-19による練習不足が大学女子ソフトボール競技に与えた影響の考察	-----	22
-2020年全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会と2017年から2019年の全日本大学女子選手権大会の比較をもとに-		
泉 健介（東北福祉大学）		
●「インカレ」を再考する	-----	24
舟山 健一（東北福祉大学）		
〔地区報告〕 ●北海道東北地区	-----	27
地区報告及び全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会地区予選会		
北海道・東北地区大学ソフトボール連盟理事長 舟山 健一		
○新型コロナウイルス感染症の陽性者数	-----	28
●関東地区	-----	29
全国大学選抜男女選手権大会に向けた関東地区の取り組み		
関東学生連盟理事長 柳田 信也（東京理科大学）		
●北信越地区	-----	31
コロナ禍の中での北信越地区学連の状況		
全日本大学ソフトボール連盟理事長 岩間 英明（松本大学）		
●東京地区	-----	33
2020年度東京都大学ソフトボール連盟事業報告		

理事長：高橋 流星（日本体育大学）

●東海地区	-----	36
全国大学選抜男女選手権大会に向けた東海地区の取り組み		
東海地区大学ソフトボール連盟理事長 二瓶 雄樹（中京大学）		
●近畿地区	-----	40
激動の2020年を振り返って〈男・女〉活動報告		
近畿地区常任理事 森田 啓之（兵庫教育大学）		
《特別寄稿》コロナ禍での大会開催	-----	42
一試合できることに関係者全員が感激、感謝—		
大阪府ソフトボール協会理事長 増田 恭		
○感染症の逆襲	-----	47
●中国地区	-----	48
2020年度コロナ禍における中国地区の活動について		
中国地区常任理事 西村 信紀（環太平洋大学）		
●四国地区	-----	50
四国地区の取組について		
四国地区常任理事 伊勢 幸広（高知工科大学）		
●九州地区	-----	54
全国大学選抜男女選手権大会九州地区予選		
九州地区大学常任理事 濱 貴一（熊本学園大学）		
〔主催大会〕●全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会	-----	56
大会結果	-----	58
「真価」を求めた4年間	-----	74
日本体育大学男子ソフトボール部主将 小山玲央		
大会記録	-----	75
●全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会	-----	76
大会結果	-----	78
逆境をのりこえての日本一	-----	94
中京大学女子ソフトボール部主将 安山 涼香		
大会記録	-----	95
●「全国大学選抜男子・女子ソフトボール選手権大会」		
ご協賛者一覧	-----	96
資料●投稿規定・執筆要項	-----	97
●全日本大学ソフトボール連盟役員名簿	-----	98
●令和2年度加盟大学一覧	-----	100

【巻頭言】

「報 恩 謝 徳」

副会長 高 橋 伸 次（高崎経済大学）

新型コロナウイルスへの対応に追われた2020年。年を越した現在においてもその感染の拡がりは衰えを知らず、再び政府が「緊急事態宣言」を発出する事態に陥っている。

この一年を振り返ってみると、オリンピックを始め甲子園やインターハイなどあらゆるスポーツに影響が及び、我々のスポーツ活動も春先からすっかり動きが止まってしまった。練習することすら許されない、それこそ『何もできない』状態がしばらく続くことになり、最初の緊急事態が解かれてからも県をまたいでの動きは依然としてはばかられ、春季から夏季にかかって予定されていた大会は相次いで中止を余儀なくされた。

学生にとって、とりわけ、最後のシーズンだからと意気込んでいた最上級生にとっては特に気の毒な一年となったことだろう。「目標がその日その日を支配する」スポーツの活動において、「目標が見えない」ことの焦燥感、めざしていたものがなくなってしまった虚無感の大きさは想像に難くない。それでもうなだれてばかりもいられず、いつしか、いまの我々に『何ができるのか』を探ることが、その日その日の目標になっていった。

言うまでもなく、インカレの開催は大学連盟の機軸である。そしてそれは、多くの加盟チームにとっての希望であり最大の目標でもある。とはいえ(公財)日本ソフトボール協会関連の全国大会が軒並み中止されるなか、果たしてインカレは開催できるのか。社会全体に自粛ムードが高まっているなかでそもそも開催すべきなのか。学連に投げかけられた問題の大きさは理事の辞任に発展する事態までを招いてしまった。

議論は百出し喧々諤々の末、こうした窮状だからこそ希望となる光が必要ではないかと、敢えてかたちを変えてでも学生の目標となる場を

用意することが学連の姿勢であると判断し、インカレに代わる「全国大学選抜大会」の開催を決定した。コロナ禍にあって、いま『何ができるのか』熟慮断行の代替大会であったが、本連盟にとって貴重な人材を失つての産物であったことを忘れてはならない。

かくして、代替大会とはいえ機軸が定まったことで、それに向けた動きが各地区で加速し始める。慣れない感染予防のためのガイドラインの遵守徹底や行動制限など、これまでとは大きく様変わりした大会のかたちに戸惑うことばかりであったが、感染リスクがあるなか、進んで大会を主管して下さった都道府県協会をはじめ多くの関係者の皆さまには感謝しかない。

とまれ、試合ができることの喜びはことのほか大きいものがあつた。誰しものが、十分な準備ではなくとも練習してきたものを表現できる場を欲していたし、試合に向かう緊張感はいつになく心地よかった。そして思いっきり戦える相手が目の前にいることが何よりも嬉しかった。そこには、もはや勝ち負けへのこだわりや不安などないかのような不思議と穏やかな時空間だけが流れていたように感じた。

大会に向けて練習し、試合に臨み、悲喜こもごもの繰り返し。こうした、ごくごく当たり前だった日常が、実はこんなにも有り難いことだったんだと気づかされた。また多くの人びとの思いに支えられていたからこそその我々の活動だったんだと改めて気づかされた。そんな一年ではなかったか。

「恩に報い徳に謝す」とは、受けた恵みや恩に対して報いようと感謝の気持ちをもって行動することである。コロナから学んだことを今後どう活かすのか。その日その日を支配する目標に、改めて「報恩謝徳」の精神を柱に据える必要があるだろう。

【事業報告】 令和2年度の事業報告と今後の活動方針

理事長 岩間 英明（松本大学）

令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け、様々な社会活動が中止・延期・縮小に追い込まれたのと同様に、本連盟においてもスタート当初から、各種会議、各地区春季・秋季大会、東日本・西日本大学ソフトボール選手権大会、文部科学大臣杯全日本大学ソフトボール選手権大会（以下、インカレと表記します）など、地区、全国の規模を問わず、多くの大会や活動の中止、制限をしなければならない状況でした。

特に本連盟における最大の主催事業であるインカレは、常任理事会を中心に「検討委員会」、「執行部会」など、幾度となくWEB会議を開き対応策を検討しながら、開催を模索してきました。しかし、諸々の状況を熟慮した結果、半世紀を超えるインカレの歴史の中で初めて、中止という苦渋の決断をせざるを得ませんでした。選手諸君、とりわけ最終学年を迎えた学生にとって、最大の目標であるインカレの中止は言葉には表せられないほどの忸怩たる想いを抱えたことでしょう。その点については本当に申し訳なく思います。

また、この決定に至るまでの間には、理事長、副理事長の辞任という過去に例を見ない役員組織としての大きな試練もありましたが、新役員を迎え入れた上で、皆さんの力をお借りしながら、組織の立て直しを図りました。

そうした状況の中でしたが、全役員が前向きにインカレ中止に伴う代替大会の実施という新たな取り組みに挑戦しました。その詳細につきましては、男女各大会の担当者の稿に譲りたいと思いますが、富山県・富山市、愛知県・安城市の各ソフトボール協会をはじめ、会場地の自治体、一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）の関係各位には深いご理解とご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

また、感染対策に加え、これまで各方面から頂いていた補助金がなくなったことは、そのまま大会運営を直撃し、頭を悩ますことになりました。しかし、この点につきましても、多くの企業様、OB、OGの皆様をはじめ、大学ソフトボールを愛して下さいますたくさんの皆様からご協賛をいただき、大会運営に必要な資金を調達することができました。社会全体の経済状態が厳しいと言われている現状にあって、このようにたくさんの皆様からご支援いただいたことは、感謝の言葉もございません。この場を借りて改めて御礼申し上げたいと思います。

代替大会である「全国大学選抜男子・女子ソフトボール選手権大会」（以下、選抜大会と表記します。）は、本年度国内大学ソフトボール競技の最高峰の大会として、全国9地区から選出された16校が参加し（インカレは32校）、その覇権を競い合いました。UNIVASによる全試合インターネット中継というこれまでにない取り組みも実施しましたが、各チームが全力で持てる力と技を競い合った試合は、どの試合も白熱した戦いを繰り広げ、予想以上の視聴者を集めることとなりました。大会は男子の優勝が日本体育大学、準優勝は福岡大学、第3位には中京大学と国際武道大学が、女子は優勝が中京大学、準優勝が日本体育大学、第3位には城西大学と金沢学院大学がそれぞれ入賞を果たしました。限られた条件の中の大会ではありましたが、50有余年の伝統を誇る大学ソフトボールの普及発展を図る大会として、また、学生スポーツの健全な精神の高揚を示す大会として開催できたのではないかと自負しております。

前述の通り、今年度は共催大会である東日本・西日本のインカレ、後援大会である各地区のオープン大会、さらには国際大会への派遣等、

例年実施している事業はすべて中止となり、本連盟としての大きな事業はこの選抜大会のみでした。これまで経験したことのない数多くの難問に直面しましたが、その一つ一つに学生・役員はもちろん、多くの関係者の皆様のご協力により乗り越えることができたことは、本連盟にとっては大きな財産となりました。そうした新たに得ることができたノウハウを生かした本連盟の今後の活動方針としては、大学ソフトボール界の永続的な発展に他ありません。競技人口の拡大、競技力の向上といったこれまでの課題への取り組みはもちろんですが、それらの課題解決に向けた大学ソフトボールのブランディング、2014年以来取り組んできたインカレ改革の結実は喫緊の課題であり、実効性のある具体的な取り組みを示していくことがその一歩となると考えています。

さらに、現在の日本のソフトボールの現状を考えれば、本連盟が大学のことだけに目を向け

ていては、本当の意味での社会的責任を果たしているとは言えないとも考えており、最高学府の競技団体として、各種研究成果の発表、ソフトボール界へ選手、指導者はもちろん、大会を支え、組織のマネジメントを担うことのできる人材の輩出などを見据えた事業の展開を推進していきたいと思っております。

最後になりましたが、本連盟の活動にご支援いただいております公益財団法人日本ソフトボール協会、都道府県ソフトボール協会をはじめとしたソフトボール関係者の皆様、大学スポーツ協会の関係者の皆様、そして、大学ソフトボールを愛して下さっている多くの皆様に心よりお礼を申し上げます。次年度の事業においても本年度の反省を踏まえながら、新たな歩みを刻めるよう全力で取り組んで参ります。今後とも絶大なご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度の事業

No.	月日	事業	主な内容
1	3/28(土)	理事会・ 総合役員会	新型コロナウイルス感染症の影響を受け集合開催を中止とし、メール審議とした。
2	4/22(水)	通知	(公財)日本ソフトボール協会より、全国大会中止決定の通知を受け、インカレについては、今後の協議により開催の可否について決定することとなった。
3	4/27(月)	通知	新型コロナウイルス感染症の影響が厳しい状況となり、当初予定された日程での実施は難しく、延期しての実施が可能かどうか、各地区常任理事に現状を踏まえての報告依頼をした。
4	5/16(土)	臨時常任理事会 Web会議	(1)当初予定の日程(男子9月、女子8月)は延期。10月～12月の開催を検討する。開催の可否に関する最終判断は7月25日とする。 (2)インカレ開催に関する条件整備等について『インカレ開催検討委員会』で原案を作成する。委員会構成については理事長及び男女開催地区担当理事が選考された。
5	6/20(土)	臨時常任理事会	(1)新型コロナウイルス感染症及び、国体中止等の社会的情勢により、インカレ開催の実施条件が満たされないことが明

		Web会議	らかになってきたため、開催決定の予定を前倒して、インカレ中止が決定された。
6	7/4(土)	臨時常任理事会 Web会議	(1)インカレ開催中止について、諸々の状況を鑑み、7/25に改めて再審議することとなった。 (2)大会開催に向けたガイドラインが小委員会から提案・承認された。 (3)全日本インカレの「実施条件」について、確認・再承認され、中止の場合は代替大会開催の可能性を検討することとなった。 (4)新理事長、新副理事長が選出された。
7	7/25(土)	臨時常任理事会 Web会議	(1)大会開催のガイドライン「安全に配慮し各地区の代表32チームが公平・公正に選出される」という条件のクリアが困難であると判断し、インカレの中止を改めて決定した。 (2)代替大会検討委員会を設置し、代替大会開催に向けた準備を進めることとなった。
8	8/8(土)	臨時常任理事会 Web会議	(1)代替大会の開催を決定した。 *名称：全国大学選抜男子・女子ソフトボール選手権大会 *日程：男子10/31～11/1(予備日)11/2 富山県富山市 女子11/10～11/12(予備日)11/13 愛知県安城市 *試合方法：全国9地区から選出された16チームによるトーナメント。 (2)大会実施条件について提案・承認された。
9	9/15(火)	臨時常任理事会 Web会議	(1)選抜大会の検討・確認 *開催要項、予算、大会参加費、その他 (2)学連組織について *学連組織改編の提案がなされ、理事長指名常任理事が選出された。
10	10/31(土) ～ 11/1(日)	全国大学選抜 男子ソフトボール 選手権大会	優 勝：日本体育大学 準優勝：福岡大学 第3位：中京大学 国際武道大学
11	11/10(火) ～ 11/12(木)	全国大学選抜 女子ソフトボール 選手権大会	優 勝：中京大学 準優勝：日本体育大学 第3位：城西大学 金沢学院大学
12	12/27(日)	臨時常任理事会 Web会議	2021年度インカレ改革案が提案され、各地区の実情を踏まえながら意見交換を行った。
13	1/10(日)	臨時常任理事会 Web会議	(1)2021年度インカレについては32チームで開催する。 (2)2014年からスタートしているインカレ改革部会の提案を踏まえ、1年をかけ本格的に議論を行い、結論を見出すことが確認された。

『中止—開催』

～2020年全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会開催までの道のり～

副理事長 二瓶 雄樹（中京大学）

「新型コロナウイルス感染症の影響により、文部科学大臣杯第55回全日本大学男女ソフトボール選手権大会（以下全日本インカレ）は『中止』となった。それに伴い、代替大会として2020年全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会が『開催』された。」

このたった4行の文章で納められるほど、事は容易ではなかった。この『中止—開催』に至るまでには、全日本学連会長以下常任理事の激動とも言える9ヶ月間があったことは、次世代の学連のために記しておく価値がある。以下の3つの表には、『中止—開催』の道のりを3ヶ月毎に区切り、メールやインターネット会議（以下ネット会議）などで実際に行われた内容を時系列にまとめ、その説明を記した。

＜はじまり —前半3ヶ月—＞

1月に中国・武漢市で報告された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、瞬く間に世界に拡大感染し、日本でも2月には大きな騒動として取り扱われていた。スポーツ界に衝撃が走った「初のオリンピックの延期」を象徴として、各種競技大会は延期や中止を余儀なくされることとなった。本連盟では3月に実施予定であった全日本学連理事会・総合役員会並びに3つの後援大会を中止することになり、また同月には各地区で4、5月に開催予定であった地区大会の延期または中止を余儀なくされた。4月に入ると（公財）日本ソフトボール協会が主催する全国大会が中止されることが報告され、大学チームが目標の一つとする「全日本総合選手権」が中止となることが通知された。同月下旬には、各常任理事を対象に全日本インカレに関する意見聴取が実施された。その中を大別すると、全日本インカレ開催の中止派、開催派、

中道派が見られた。これらの情報をもとに5月上旬には、学連執行部で「全日本インカレ実施の諸問題・諸課題」が作成され、その資料を中心議題とした第1回臨時常任理事会が開催された。

＜苦悩と決断 —中盤3ヶ月—＞

第1回臨時常任理事会では前述した中止、開催、中道の三者三様の意見が出され、いつまでに何を決定すべきでなのかを明らかにしたロードマップが作成された。そして、学連が大会を運営していく上で指針となる新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを作成することを主目的として、小委員会が設立されることとなった。この委員会は二瓶雄樹委員長（東海地区理事長）、柳田信也副委員長（関東地区理事長）を中心として組織され、新型コロナウイルス感染症の情報収集はもとより、他競技のガイドラインや対応・対策を参考にしながら連盟独自のガイドラインの作成を試みる組織であった。3回のネット会議と数十回に及ぶメールでのやりとりを経て、7月上旬に「新型コロナウイルス感染症対策、対応、対処ガイドライン【初版】」が完成した。また6月下旬の第2回臨時常任理事会において、全日本インカレおよび各種地区大会を実施する上での新型コロナウイルス感染症対策と大会での課題について答申が出された。

同会議では、鹿児島国体の開催可否の論議など、新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会的な情勢を鑑み、ロードマップに先んじて全日本インカレ開催の可否が議論され、一旦中止が決定された。しかし、各地区の状況や行政および各種団体からの感染対策に関するガイドラインの公表などを踏まえ、第3回臨時常任理事会において再度、慎重に審議することとなった。先の決定事項も踏まえ、

表1. 全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会（代替大会）までの道のり前半3ヶ月

期 日	会議名もしくは連絡	内 容	方法
3/1	全日本学連理事会・総合役員会中止	3月28日予定されていた同会は中止	メール
3月下旬	各地区大会が延期・中止を表明	各地で実施予定の大会が延期や中止を発表	
4/23	(公財)日本ソフトボール協会主催全国大会中止連絡	(公財)日本ソフトボール協会が主催する全国大会が中止されることが報告	メール
4/27	全日本インカレに関する意見聴取	全日本インカレに関する意見聴取を開始	メール
5/9	執行部役員会	「全日本インカレ検討のための資料」を作成	ネット会議
5/16	第1回臨時常任理事会	「全日本インカレ検討のための資料」をもとに会議、新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン小委員会 (以下小委員会)立ち上げ	ネット会議
5/23	第1回小委員会	小委員会の役員構成決定、ガイドラインの叩き台	ネット会議

大会実施条件、代替大会の模索（フローチャート作成）、インカレ開催可否の決定日（ロードマップ）について、所属大学に対して情報提供がなされた。ロードマップに従い、開催された7月下旬の第4回臨時常任理事会において、32校の出場がかなわない感染状況および社会情勢であることが確認され、第55回全日本インカレは正式に中止されることとなったが、この中止決定に至る間の中野元会長、久保田豊司（元）理事長が背負われた苦悩は、想像を絶するものであったに違いない。こうした経緯を経てインカレ中止になったことに伴い、インカレに替わる大会を企画すべく代替大会検討委員会（以後検討委員会）が新設され、これも新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン小委員会と同様の役員が担うこととなった。同会議は、この日の臨時常任理事会後に開いたのを最初に、8月上旬まで3回のネット会議と数十回のメールでのやりとりや情報共有を重ねた。第4回臨時常任理事会後に、正式に全日本インカレの中止が発表され、各種関係各位への対応に追われた。その後、ポップなキャラクターを配した「新型コロナウイルス感染症対策、対応、対処マニュアル【初版】」が周知された。このマニュアルおよび8月に完成するリーフレットのキャラクターには、フリーイラストをインターネットで提供する「いらすとや」を運営する“みふねたかし”氏にご協力

いただいた。8月上旬には、第5回臨時常任理事会において検討委員会から提案された代替大会の詳細が話し合われた。その結果、男子は10月下旬に女子は11月上旬にそれぞれ16チームのトーナメントを開催すること、そして名称は「全国大学選抜男女ソフトボール選手権」（以下大学選抜）となることが決定した。各地区は、この大会の40日までに代表校を決すること、そしてその決定方法は推薦でも構わない（予選会が開催できなかった場合）ことが承認された。

この中盤の3ヶ月は、役員陣の意見がまとまらず、それぞれが様々な視点から思いや想像を巡らせ議論し苦悩の連続であった。その中で、ロードマップ設定、開催基準設定、ガイドライン作成、代替大会フローチャート作成などが小委員会や検討委員会を中心として決断できたことが後々の成功に繋がった感じている。また反対の意見を有する役員であっても、小委員会や検討委員会の意見を尊重し協力していただいたことが、成功を支えたことは間違いないだろう。

<感謝と責任 ー後半3ヶ月ー>

8月下旬に東海地区で出場権をかけた大会が開催されたのを皮切りに9月上・中旬を中心に各地区で、ガイドラインに沿った中で熱線が繰り広げられた。9月中旬に行われた第6回臨時常任理事

表2. 全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会（代替大会）までの道のり中盤3ヶ月

期 日	会議名もしくは連絡	内 容	方法
6 / 6	第2回小委員会	ガイドラインの進捗状況確認、小委員会からの提言	ネット会議
6 / 13	第3回小委員会	ガイドラインの骨子、小委員会からの提言	ネット会議
6 / 20	第2回臨時常任理事会	全日本インカレ開催可否について 顧問（弁護士）を採用	ネット会議
7 / 4	第3回臨時常任理事会	全日本インカレ開催可否について再審議	ネット会議
7 / 9	大会の開催と今後の方向性について連絡	大会実施条件、代替大会の模索（フローチャー作成）、 インカレ開催可否の決定日（ロードマップ）について	メール
7 / 9	新型コロナウイルス感染症対策、 対応、対処ガイドライン【初版】 完成	ガイドラインの初版が完成	メール
7 / 25	第4回臨時常任理事会	全日本インカレ中止決定、代替大会検討委員会（以下検討委員会）発足	ネット会議
	第1回検討委員会	代替大会に向けた課題抽出	ネット会議
7 / 26	全日本インカレ中止、代替大会情報連絡	全日本インカレの中止連絡文書、代替大会開催に向けた 情報提供	メール
7 / 27	開催協会および市に連絡	開催協会および市に対し全日本インカレの中止を報告	メール
7 / 28	新型コロナウイルス感染症対策、 対策、対処マニュアル【初版】完成	ガイドラインに沿ったマニュアル【初版】が完成	メール
7 / 31	第2回検討委員会	代替大会に向けた課題対策	ネット会議
8 / 8	第3回検討委員会	代替大会に向けた課題対策	ネット会議
	第5回臨時常任理事会	代替大会、学連登録費、代替大会の名称決定「全国大学 選抜男女ソフトボール選手権大会」（以下大学選抜）に ついて	ネット会議
8 / 20	新型コロナウイルス感染症対策、 対策、対処マニュアル【初版】完成	ガイドラインに沿ったリーフレット【初版】が完成	メール

会で大学選抜の詳細について話し合わせ、その中で最も深刻であったのが、大会予算の捻出であった。この予算の捻出については、検討委員会において様々な方法についてアイデアがだされ、議論が繰り返された。クラウドファンディングの活用や財団が企画する支援事業への申請などが有力として取り組まれたが、前者は手間がかかりすぎることで、後者は申請目前で採用されないことが確認されるなどし成果につなげることができなかった。これらを経て、最終的には理事長はじめ検討委員会の委員長、副委員長が中心となって、企業や個

人に対してアプローチをし、協賛金を募る方法が選択された。男子においては住吉グループ様から大口のご協賛金を、また男女の大会に対して戸田中央病院グループ様からも多大なるご協賛をいただいた。その他、女子日本リーグ1部10チームからの広告協賛や卒業生、関係者、役員からのご協賛いただき多大なる支援を受けることで大会予算をまかなうことができた。苦しい時にご支援していただいた皆様に心から感謝の意を伝えるとともに、このご支援に報いるためにも成功裏に大会を終えさせなければならない責任を検討委員会の委

員長として痛感した。

9月下旬には出場権を得たチームに対して申し込みの通知が送られ、随時手続きが済まされていた。またスポーツ庁が支援する「スポーツイベント再開支援事業」にも申請し、予算の確保の強化を図った。この頃になると、徐々に新型コロナウイルスの生態情報や感染状況も明らかになってきており、全国選抜大会に向けてガイドラインの見直しも行われた。それによって、新型コロナウイルス感染症対策、対応、対処ガイドライン、マニュアル、リーフレットの第2版が完成し、全国選抜大会のプログラムへの挿入や加盟大学への周知がなされた。10月に入り、上旬には男子が、中旬には女子の組合せがそれぞれの開催協会で実施され決定した。スポーツ庁へ申請していた最高顧問の名義協力では、9月に新たに着任されたばかりの室伏広治スポーツ庁長官に快諾していただき大会開催に花を添える形となった。10月中旬には、各開催地やUNIVASとの大詰めの協議が数度にわたって行われ、各会場の感染対策、感染拡大対策が

講じられ、制限がある中でも全国大会としての格式を維持した大会運営やインターネットのライブ配信が企画された。また所属県への届け出や学連HPなどで観戦者対応などの呼びかけを行い、短い準備期間の中で瞬く間に大会開催を迎えた。

大会は、男女ともに前日の学連・監督会議を滞りなく済ませ、スムーズに大会の開催をむかえることができた。幸い大会期間中、開催地周辺住民からの苦情や目立ったトラブルなども無く大会を運営することができた。大会自体の印象は、男女ともに高いレベルでの面白い試合が数多く、“みるスポーツ”としての可能性を感じるものであった。また大会終了2週間後までに出場校・選手から感染者の報告はなく、改めて大会が無事終了することができたことを実感できた。後半の3ヶ月間は、中盤で決定した内容を実働させ、予算の確保という大きな壁を乗り越えた中で開催協会・市、そしてUNIVASと共に怒涛の如く過ぎ去っていった日々であった。

表3. 全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会（代替大会）までの道のり後半3ヶ月

期日	会議名もしくは連絡	内 容	方法
9/15	第6回臨時常任理事会	大学選抜開催要項、協賛企業、大会参加費、チーム・個人登録、予算案、理事長指名常任理事、大学連織改変、各地区の状況確認について	ネット会議
9/15	全国選抜大会の予算確保に向けた働きかけ	予算に向けた働きかけが開始された	
9/25	全国大学選抜大会参加申し込み	全国選抜大会参加申し込みが開始	メール、HP
9/26	全国大学選抜大会出場校決定	男女各16校の選出が完了	メール、HP
9/28	スポーツ庁「スポーツイベント開支援事業」申請	スポーツ庁が支援するスポーツイベント再開事業に申請	メール
9/29	新型コロナウイルス感染症対策、対応、対処ガイドライン、マニュアルリーフレット【第2版】完成	エビデンス、社会情勢、感染状況を考慮したガイドライン第2版が完成し、それに伴いマニュアルリーフレットが整えられた	メール
9/29	男子協賛金の働きかけ	卒業生や関係者に対して協賛金の呼びかけ開始	メール
10/3	全国選抜男子組合せ決定	富山県富山市において組合せ抽選を実施	メール、HP
10/5	女子協賛金の働きかけ	日本リーグ実業団女子一部のチームに対して、協賛金のお願い願始	メール
10/8	スポーツ庁長官最高顧問就任	大会の最高顧問にスポーツ庁長官、室伏広治氏が就任	メール

10/9	大会会場掲示資料の作成	体秋会場で掲示するリーフレット【第2版】、感染予防、拡大防止資料の作成	メール
10/12	UNIVASとの打合せ	理事長・副理事長、事務局長とUNIVASとの大会に関する打合せ	ネット会議
10/15	役員協賛の働きかけ	学連役員に対して協賛金の働きかけを実施	
10/17	全国選抜女子組合せ決定	愛知県安城市において組合せ抽選を実施	メール
10/30	全国大学選抜男子学連・監督会議	全国大学選抜男子の学連および監督会議を実施	ネット会議
10/31 11/1	全国大学選抜男子開催	全国大学選抜男子大会を開催し無事終了	
11/9	全国大学選抜女子学連・監督会議	全国大学選抜女子の学連および監督会議を実施	ネット会議
11/10 - 11/12	全国大学選抜女子開催	全国大抜女子大会を開催し無事終了	

<あしがき>

ご協賛にご協力いただいた皆様、そして開催を英断していただき最後までご尽力いただいた開催協会・市の関係者の皆様に今一度心から感謝の意を表します。一方で、これらの感謝が募るほど連盟としての責任も大きくなったこともまた事実です。大会開催・運営はもとより大会終了後も感染者が生起しないか心配を募らせた中野元会長、岩間英明（新）理事長の心境を察すると申し訳ない気持ちを抱かずにはられません。最悪の場合を想定し、謝罪会見もイメージされて、夜も眠れぬ

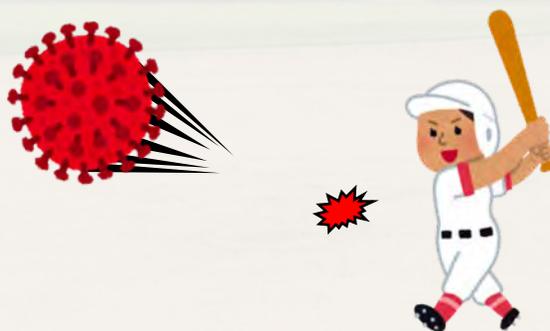
日もあったと思います。本当にご苦勞様でございました。

今回出場を果たした大学および学生諸君は、今回の経験をただの楽しい、あるいは悔しい思い出とするだけではなく、世界的な混乱の時代に困難な大会を実施し参加できたことに改めて感謝し、その感謝を社会に還元する、または学連に還元する行為に繋げてほしいと思います。またこれらの経験が、これから先の全日本学連運営の自信となり、新たな時代の新たな学連運営の一步となることを心から祈念いたします。



新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策, 対応, 対処マニュアル

第2版



※本マニュアルは2020年9月24日現在の情報を基に作成されており、
状況変化に応じて随時更新を行います。



全日本大学ソフトボール連盟
Japan College Softball Federation



はじめに

感染リスク、感染拡大リスクを最小限に抑えるため、全日本大学ソフトボール連盟（以下：本連盟）は、独自のガイドラインを以下の目的のもとに策定しました。本マニュアルはそのガイドラインを簡素化したものです。

練習・トレーニング・教育活動

再開、継続

「大会」の実施

全日本大学選手権大会（それに準じる大会）
各地区大会、後援大会

本マニュアルは、上記の目的達成に向け、以下の2点の内容を提示しています。

- ① 感染リスク、感染拡大リスクを下げるために関係者が遵守すべき基準
- ② 関係者に感染者が出た場合のチームおよび主催者としての適切な対処方法

(注)関係者とは選手、チームスタッフ、大会スタッフ、観客など試合に関わるすべての人々を指す

レベル5
制限付き「大会」開催

レベル4
「大会」実施時のチームの移動・宿泊

レベル3
練習、トレーニング、教育活動への対応

レベル2
組織内外における情報開示と共有

レベル1
一般的な感染予防対策、感染時の対応

レベル4、5については、本連盟に関わる大会参加に必須の項目です。大会を開催する、参加するために遵守しなければならない内容が定められています。

レベル1～3に関しては、強制力は伴いません。政府機関や上位団体が示すガイドラインを遵守した上で本連盟のガイドラインや本マニュアルを活用してください。



レベル1：一般的な感染予防対策、感染時の対応

マスク、手洗いなどの個人防衛において、感染を100%防ぐ手立ては残念ながらありません。集団防衛、社会防衛への貢献が極めて重要となります。「ちょっと熱があるけど大丈夫だろう」、「練習が足りないからグラウンドに行こう」、「ちょっとストレスが溜まってきたので街に出よう」などの行動が所属する組織に感染を拡大させてしまうことになりかねません。組織における活動を守るためには、所属する各個人が発熱などの諸症状を認めた場合の適切な対応を取ること、そしてそのことを組織に報告する姿勢が求められます。

◆一般的な感染予防については以下の通り

“3つの条件の全てをできる限り避ける”

換気の悪い密閉空間



規則正しい生活とバランスの取れた食事と体力の維持

◆感染を注意すべき関係者

感染に注意すべき関係者は選手本人だけではなく、チームスタッフ、同じ授業の受講生、担当教員、大会運営スタッフ（審判員・記録員等）、競技場やトレーニング施設の職員、試合運営に関わるボランティア、警備スタッフ、売店スタッフ、移動手段にかかわる人（運転手等）、メディア、一般観客、そしてこれらの家族および同居人など多方面多人数にわたります。

◆感染拡大の防止に関わる遵守事項

選手およびチームスタッフは、毎日の健康チェック、行動の記録を必ず実施してください。また日々の健康チェックには「新型コロナウイルス感染症に関わる健康チェックシート」（以下チェックシート）を参考に実施してください。なおこのチェックシートの内容は、レベル5では報告の義務が生じます。

【新型コロナウイルス感染症に関わる健康チェックシート】

-
- <体温>
実数
 - <発熱>
1.なし 2.平熱以上 3.高熱（目安：38度以上）
→ 2.回答者 何日間続きますか → 4日以上で保健所に相談
→ 3.回答者 すぐに保健所に相談
 - <息苦しさ>
1.なし 2.あり 3.呼吸困難
→ 2.回答者 何日間続きますか → 4日以上で保健所に相談
→ 3.回答者 すぐに保健所に相談
 - <だるさ>
1.なし 2.あり 3.倦怠感
→ 2.回答者 何日間続きますか → 4日以上で保健所に相談
→ 3.回答者 すぐに保健所に相談
 - <臭覚・味覚>
1.なし 2.違和感あり 3.異常あり
→ 2.3.回答者 何日間続きますか → 4日以上で保健所に相談
 - <せき>
1.なし 2.少しあり 3.継続性あり
→ 2.3.回答者 何日間続きますか → 4日以上で保健所に相談
 - <その他風邪の症状（鼻汁、咽頭痛、悪寒等）>
1.なし 2.あり
→ 2.回答者 何日間続きますか → 4日以上で保健所に相談



レベル2：組織内外における情報開示と共有

新型コロナウイルスへの感染が判明した場合、もしくは感染者との濃厚接触が疑われる場合、地域の行政機関・保健所の指示に従い、情報の公開を求められる（感染症法）。

◆ 本連盟への情報開示

本連盟関係者

感染が判明した場合

濃厚接触（疑い）者になった場合

速やかに連盟に報告する。本連盟は連盟関係者の感染が確認された場合、速やかに次項以降に示す手順で情報公開措置を行う。

◆ 情報公開の連絡系統

全日本大学選手権大会2週間前まで（地区予選会会期など）は、以下の連絡系統で情報公開を実施する。



※情報公開の範囲等については状況を鑑みて臨時常任理事会において決定するものとする。

※全日本大学選手権大会2週間前から大会会期終了までは、ガイドライン・レベル5、本マニュアル・レベル5「情報公開の連絡系統」に記載されている手順に従うものとする。

本連盟が行う情報公開における留意点

1. 個人名は原則非公開とする。
2. 感染の疑い（PCR検査の受診のみなど）では公表しない。
3. 所属大学と連携をする。
4. 家族や知人も含めたプライバシー保護に留意する。



レベル3：練習、トレーニング、教育活動への対応

1. 所属大学の新型コロナウイルス感染症対策における課外活動や生活全般（通学や構内での活動）に関する指針を遵守することを前提とする。
2. 所属大学の課外活動担当部署（学生課やスポーツアドミニストレーター配置部署など）から活動再開について情報共有を充分に行ったうえで、各大学の責任において練習やトレーニング、教育活動を再開する。
3. ソフトボールの競技特性を考慮したうえで、本ガイドラインでは以下のような事項に留意して活動を継続、再開することを推奨する。



手洗いを励行（石鹸・ハンドソープ使用で30秒以上）し、持参のハンカチ（常備する）で水滴が飛び散らないように！



ソーシャルディスタンス（最低1m、推奨2m）の確保、握手やハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体接触は避けよう！



体調が悪ければ勇気を持って自粛しよう！



密な状態での大声はやめよう！



バット、ヘルメット、キャッチャー道具などの用具については共有をできるだけ避け、やむを得ず共有せざるを得ない場合にはこまめに（10分に一回もしくは試合では1回終了毎が目安）消毒をして利用するようにしよう！



活動が終了したり、休憩したりする場合、またグラウンド整備や道具整備の際にはマスクを着用することを慣行しよう！



身の回りで感染者が発生したとしても、その人を非難したり、差別したりするようなことがあってはなりません。さらに感染情報は個人情報を含んだ非常にデリケートな情報です。SNSで用いるような情報ではありませんので、絶対に投稿などしないようにしましょう



レベル4：「大会」実施時のチームの移動・宿泊

◆移動について

1. 原則として公共交通機関の利用を控え、貸し切りバス等を利用し、関係者以外との接触を極力避けられる状態での移動を心がける。
2. バス等を利用する際には、運行会社の指針やガイドラインを遵守し移動する。自家用車で移動する際は、座席間の余裕を持つなどして感染拡大を予防する方法に最善を尽くす。乗車中は大声での会話や対面する近距離での会話は可能な限り避け、車内の換気を定期的にかつ十分に行う。
3. 移動中のトイレ休憩なども必要最小限にとどめ、関係者以外が多くいる場所には近づかない。
4. 会場地に到着した後は試合（練習）会場と宿舎間の移動以外は極力控える。
5. 移動中における感染防止策（消毒液、手洗いの徹底、マスク着用など）を講ずる。



◆宿泊について

1. 室内の十分な換気をこまめに行うとともに、ソーシャルディスタンス（推奨2m、最低1m）を保つように心がける。
2. 食事等（補食を含む）は可能な限り宿舎内で、少人数で摂る。
3. 敗戦により大会参加が終了した当日を含め、食事会や慰労会、懇親会など感染拡大を助長するような活動は厳禁とする。
4. 宿泊先の遵守事項やガイドラインに従う。
5. 試合・練習のための移動以外は宿舎からの外出を極力控え、責任者は常に選手の動向を把握する。





レベル5：制限付き「大会」開催

1.参加の条件 ※情報公開の範囲等については状況を鑑みて臨時常任理事会において決定するものとする。

報告方法は、大会会期1週間前から参加者全員に紙媒体での回答を行い、その1週間分の回答を大会会期初日に指定の事務局もしくは責任者に提出する。大会期間中も紙媒体によって、当該試合前までに回答し、指定の事務局もしくは責任者に提出してください。

紙媒体回答

紙媒体での回答はレベル1で示した「新型コロナウイルス感染症に関わる健康チェックシート」を参照しながら、「新型コロナウイルス感染症に関わる健康チェックシート集計表」（ガイドライン【別紙2】）を作成し、チームでまとめて回答・提出してください。

「大会」会期1週間前から大会期間中報告義務 紙媒体で回答し提出すること

※ 第1版のWeb回答は廃止されました

参加者の行動については、「大会」会期2週間前から感染リスク、感染拡大リスクが増すような行動様式を極力行わないよう求めます。参加者が所属する所属長もしくは代表者は、「大会」会期2週間前から参加者の行動記録を把握し、管理を継続してください。

2.観客について

観客の動員については、使用する会場を管轄する組織、個人と事前の入念に打ち合わせのもとで方向性を決定します。その際、本連盟のガイドラインに示した3案を選択肢として取り上げ、環境、状況に応じた対応方法を模索します。





レベル5

SOCIAL DISTANCE

3.会場について

1. 制限区域を設定し、大会関係者、選手と部外者（観客含む）間の接触をさせない。
2. 会場内の関係者はマスクの着用を徹底する。選手は気温・湿度やベンチの状況に応じてマスクの着脱を適切に判断する。
3. 練習会場は他のチーム同士が接触しないよう明確に区分する。
4. 移動の際には必要に応じて関係者毎の導線を分け接触させない。
5. 練習会場と試合会場を同一施設内にする。
6. 試合終了後は、迅速にベンチを空ける。担当者が消毒作業を終了次第、次チームがベンチ入りする。またその際、選手間の接触がないよう導線を一方通行とし接触させない。
7. 会場内は全て禁煙とし、唾を吐いたりうがいをしたりすることは極力行わない。
8. 会場内の各所に消毒液を設置し、入退場の際に手指の消毒を推奨する。
9. 鼻水、唾液などが付いたゴミを回収する人は、必ずマスクや手袋を装着し、そのゴミをビニール袋に入れて密閉して縛る。脱着した後は、必ず手指の消毒を行う。

4.試合前後の挨拶

メンバーはベンチ前に整列し、各自1mの間隔（ソーシャルディスタンス）を空けて審判の号令のもと挨拶を行う。試合後も同様とする。

5.試合中の選手、監督、コーチ

1. ベンチ内では、可能な限りソーシャルディスタンス（推奨2m、最低1m）を保つように配慮する。十分なスペースがない場合、試合には直接関与しない者のために代替スペースが割り当てられる。
2. 打ち合わせ（タイム）の際や審判に交代を申し出る際、または抗議する際は、常にソーシャルディスタンス（推奨2m、最低1m）を保つよう配慮する。
3. ベンチ内の飲水用コップ、タオル、ロジンバック、メガホン等は共用しない。
4. 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体接触を避ける。
5. ベンチ入りメンバー以外についても上記の内容に準じた行動とする。
6. 3密の状態もしくはそのいずれかの状態で、複数人で掛け声を合わせるなどの行為は行わない。



6.試合中の役員、補助員

1. 会場にいる間はマスクを着用する。
2. 個人の携帯電話やタブレットを共有してはならない。
3. ボールに触れた場合は手洗い、もしくは手指を消毒をする。





レベル5



7. 症状のある者の管理

1. 「大会」参加当日の朝にレベル1で示した「新型コロナウイルス感染症に関わる健康チェックシート」において体調不良に該当する項目を回答した者は、来場を禁止する。
2. 地元当局との緊急連絡先と正確な手引きを事前に決定する。
3. 新型コロナウイルス感染者やその疑いがある者をすぐに隔離できる施設を設置する。
4. 新型コロナウイルス感染者やその疑いがある者が生じた場合、保健所に報告し対応を仰ぐ。

8. 参加チーム関係者に新型コロナウイルス感染者が生じた場合のチームの取り扱い

保健所の指示に従い対応する。



9. その他

1. 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症の症状が出た場合は、速やかに大学連盟に報告する。大学連盟は、必要に応じて対応する。
2. 来賓、審判、記録員に対する対策、対応、対処は日本ソフトボール協会が作成する「JSA新型コロナウイルス感染症におけるソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」の最新版に従うものとする。
(日本ソフトボール協会HP)
<http://www.softball.or.jp/announcement/>
3. 大会参加者および役員、観戦者は厚生労働省が提供する新型コロナウイルス接触確認アプリを自らのスマートフォンにインストールし活用することを推奨する。

(厚生労働省HP)

<https://www.mhlw.go.jp/index.html>



Google Play



App Store

新型コロナウイルス接触確認アプリ

本マニュアルの挿絵（キャラクター等）は「みふねたかし」氏からご提供いただいております。なお著作権は同氏にあり、この資料からの無断転用はおやめください。挿絵ご希望の方は「かわいいフリー素材集 いらすとや HP」<https://www.irasutoya.com/>



全日本大学ソフトボール連盟

Japan College Softball Federation

全日本大学ソフトボール連盟 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策、対応、対処マニュアル

【研究論文】

COVID-19による練習不足が大学女子ソフトボール競技に与えた影響の考察
 -2020年全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会と
 2017年から2019年の全日本大学女子選手権大会の比較をもとに-

泉 健介 (学校法人梅檀学園 東北福祉大学)

1. はじめに

2020年初頭から日本国内でも流行したCOVID-19は日常の生活のみならずスポーツイベントにも多大な影響を与えた。プロ野球は3月20日の開幕が6月19日に延期に(1)、Jリーグは2月21日に開幕はしたものの2月23日を最後に6月27日まで中断した(2)。そしてソフトボールも男子リーグは中止に(3)、女子リーグも3月28日の開幕節から中止となり、9月5日に延期となった(4)。その影響は学生スポーツにも波及し、活動の自粛や大会の中止が相次いだ。大学ソフトボールにおいても例年8月下旬から9月上旬にわたって開催されていた全日本大学女子選手権大会(以下、インカレ)は中止となったものの、11月に代替大会として全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会(以下、インカレ代替大会)が開催された。

以上の背景を踏まえて、本研究では、十分な練習を積むことができない中で迎えたインカレ代替大会が前年までのインカレとどのように異なっていたかを検討し、COVID-19による練習不足が大学女子ソフトボール競技に与えた影響を考察する。

2. 集計方法および分析方法

本研究は、2020年のインカレ代替大会の1回戦から決勝戦までの15試合と、2017年から2019年までのインカレの2回戦から決勝戦までの15試合ずつの合計60試合を対象とした。なお、2020年のインカレ代替大会の出場チーム数が16チームであったのに対し、2017年から2019年のインカレの出場チームが32チームであったことから、2017年から2019年のインカレは2回戦以降を対象としている。集計方法としては、全日本大学ソフトボール連盟

広報記録部よりご提供いただいた公式記録をMicrosoft® Access®を使用して集計した。集計は1球ごとにフォーム機能を用いて入力した。

分析方法としては、Microsoft® Access®を使用して集計したデータをcsv形式で保存し、Microsoft® Excel®を使用して分析を行った。また、個人が特定できないよう分析を行った。

3. 概要

2020年のインカレ代替大会と2017-2019年のインカレの試合の概要について述べる。なお、サンプル数が少ないため検定を実施することはできなかった。第一に、1試合当たりの総得点を比較した(図1)。

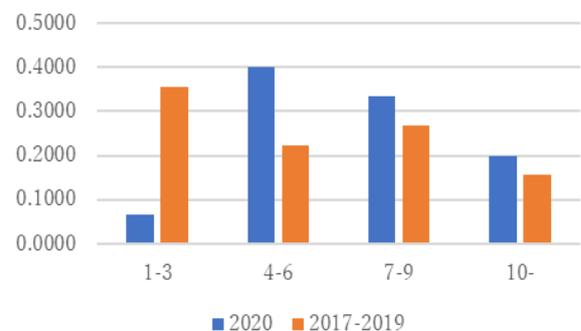


図1 2020年インカレ代替大会と2017-2019年インカレ2回戦以降における総得点の比率

総得点が1点から3点の試合は2017-2019年の35.6%に対して2020年は6.7%と大幅に減少している。一方で総得点が4点から6点の試合は2017-2019年の22.2%に対して2020年は40.0%と上昇している。第二に、2020年のインカレ代替大会と2017-2019年のインカレの得点差を比較した(図2)。

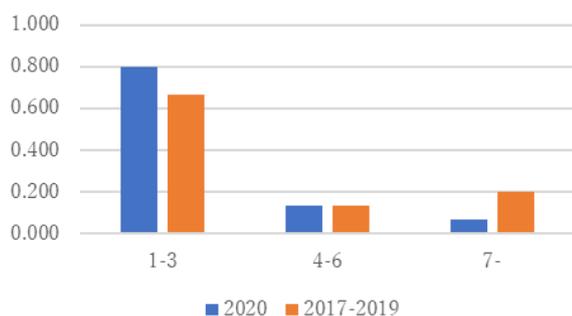


図2 2020年インカレ代替大会と2017-2019年インカレ2回戦以降における得点差の比率

得点差が1点から3点の試合は2017-2019年の66.7%に対して2020年は80.0%と増加している。一方で、7点差以上の差が付いた試合は2017-2019年の20.0%に対して2020年は6.7%であった。

以上の総得点と得点差の結果より、検定を実施することはできなかったものの2020年のインカレ代替大会はロースコアの試合は減少したものの、一方的な試合ではなく得点を互いに取りながらの接戦が増加したと考察することができる。

4. 打撃結果に着目した分析

2020年のインカレ代替大会と2017-2019年のインカレにおける打撃結果に着目した分析について述べる。打数に含める項目は打数を分母として、打数に含めない項目は打席数を分母としてそれぞれの結果の発生率を求めた。2020年のインカレ代替大会と2017-2019年のインカレにおける発生率を χ^2 乗検定を用いて検定した結果、以下の結果が得られた(表1)。結果より、本塁打と三振、特に空振り三振の発生率において2020年の方が多かったため、2020年のインカレ代替大会では三振を恐れずに思い切った打撃が多く見られたのではないかと考察できる。また、そのほかの項目では差が認められなかったため、練習に制約がある中でも例年並みのチーム作りをする指導力のあるチームが多かったのではないかと考えることもできる。

表1 2020年のインカレ代替大会と2017-2019年インカレ2回戦以降における打撃結果の比較

項目	実施年度		χ^2 検定
	2020	2017-2019	
安打	26.4	25.3	n. s.
二塁打	3.5	3.3	n. s.
三塁打	0.8	1.1	n. s.
本塁打	2.0	0.8	**
三振	17.0	13.4	*
空振り三振	12.5	9.3	*
見逃三振	4.5	4.3	n. s.
併殺打	0.6	0.6	n. s.
四球	6.1	5.6	n. s.
死球	2.6	2.0	n. s.
犠打	3.1	4.3	n. s.

5. 投手の投球に着目した分析

2020年のインカレ代替大会と2017-2019年のインカレにおける投手の投球に着目した分析について述べる。2020年のインカレ代替大会と2017-2019年のインカレにおけるストライク率、ファウル率を χ^2 乗検定を用いて検定した結果、以下の結果が得られた(表2)。結果より、2020年のインカレ代替大会と2017-2019年のインカレにおいて投球のストライク率とファウル率に差異は見られなかった。仮説として、練習時間が十分に確保できなかったためストライクを取ることに苦労する投手も見られるのではないかと考えられたが、そのような傾向は見られなかった。全国16チームの鍛えられた選手たちは様々な制約があるながらも高い水準のパフォーマンスを発揮していたのではないかと考えることができる。

表2 2020年のインカレ代替大会と2017-2019年インカレ2回戦以降における投球の比較

項目	実施年度		χ^2 検定
	2020	2017-2019	
ストライク	64.0	63.8	n. s.
ファウル	17.6	17.6	n. s.

6. まとめ

本研究では、COVID-19により開催時期の変更や出場チーム数の減少など様々な外的要因に変化のあった2020年インカレ代替大会で結果にどのような変化がみられたか考察した。全体としてロースコアの試合が減少し、得点差の開く試合も減少した。結果としては本塁打と空振り三振が増加し、思い切った打撃を行う選手が多かったのではないかと考えられた。また、ストライク率については差異がみられず、難しい状況の中でも高いパフォーマンスを発揮したと考えられた。このような結果になった背景としてインカレではなく代替大会としての大会だったため選手、指導者も思い切ったプレー、采配が行えた可能性も考えられる。来年以降はCOVID-19が収束し、例年通りのインカレが実施され、インカレ代替大会の結果の特徴についてさらに検討したい。

7. 参考文献

(1) 日本野球機構，2020年シーズンの開幕にあたり，2020-06，閲覧日2021-02-19，https://npb.jp/news/detail/20200619_02.html

<https://www.jleague.jp/special/restart/effortstorestart/timeline.html>

(※2) 公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)，再開に向けたJリーグの取り組み，2020-09，閲覧日2021-02-19，<https://www.jleague.jp/special/restart/effortstorestart/timeline.html>

(※3) 公益社団法人日本ソフトボール協会，男子リーグ大会情報，2020-11，閲覧日2021-02-19，<http://www.softball.or.jp/league/mens/tournament2020/>

(4) 日本女子ソフトボール機構，ついに……「第53回日本女子ソフトボールリーグ」1部開幕！，2020-08，閲覧日2021-02-19，<https://jsl-women.com/news/%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%AB%E2%80%A6%E2%80%A6%E3%80%8C%E7%AC%AC53%E5%9B%9E%E6%97%A5%E6%9C%AC%E5%A5%B3%E5%AD%90%E3%82%BD%E3%83%95%E3%83%88%E3%83%9C%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B0%E3%80%8D%EF%BC%91%E9%83%A8%E9%96%8B%E5%B9%95%EF%BC%81/1606/>

「インカレ」を再考する

舟山 健一（東北福祉大学）

はじめに

「インカレとは何か？」、そのように問われると、私たちソフトボール人は「ソフトボール文化の醸成」や「ソフトボールの価値向上」とついつい口にしてしまいます。しかし、今年のインカレをめぐる経験は、もうひとつのインカレの大切な価値を私に改めて教えてくれたと思っています。本稿では、私が所属する東北福祉大学での経験やインカレの代替大会となった「全日本選抜大会」の役員としての経験、そして「インカレ改革」が進むきっかけとなった指導者同士の会話から、「インカレとは何か？」という問いを、いま一度

立ち止まって考えてみたいと思います。インカレ開催の可否が議論になった今年ほど、「インカレとは何か？」を改めて考えなければならない年はないのですから。

通過儀礼としてのインカレ

私の所属する東北福祉大学女子ソフトボール部は、3月下旬から7月末まで活動を自粛しました。この自粛期間、チームでは就職活動を控える4年生3人と、遠方の学生数名が寮に残り、それ以外の選手は全員実家に帰ることになりました。活動を自粛することになった3ヶ月半、今年で最後と

なる4年生と2日に一度、屋外で10m以上のソーシャルディスタンスを取りながらミーティングを行いました。ここでの議題は主に二つ、一つはチームが活動再開したときどのようなチームマネジメントを行うか、もう一つは「本当にインカレはあるのか」というものでした。特に、4年生にとって「最後のインカレ」の代替大会となる「全日本選抜大会」の開催が決まる7月下旬までは苦しい時間でした。

私たちのチームでは、例年インカレの試合前夜、下級生から4年生へ激励のメッセージとプレゼントを渡し、4年生がそれに応える伝統があります。この儀式では、後輩からこれまでチームを支えてくれた4年生へ感謝の気持ちを表し、また、4年生は最後の決戦に挑む「覚悟の言葉」をチームへ発し、チーム全体を鼓舞します。後輩からは、ある年は4年生全員の名前が入った横断幕を、ある年はチーム全員分の同じリストバンドを……、毎年想いのこもったプレゼントが4年生へ送られチームがまとまります。今年は、代替大会の予選会前日に、コロナの感染に十分に注意を図りながらこの儀式が行われました。

9月12日に予選会が開催されました。私たちはライバル校である富士大学と本戦への出場権をかけた試合に“2対0”で敗戦し、代替大会への出場はなりません。試合後のミーティングでは、4年生3人が後輩たちへ感謝の気持ちを述べ、そして後輩たちから4年生へ感謝の気持ちが述べられました。また、私たちのチームではインカレ終了後は、必ず保護者へ感謝の気持ちを述べ、保護者からも一言いただくという伝統があります。今年は、予選会での挨拶となりましたが、その際、ある保護者から「この大会があり、娘たちが終わることが出来て良かった」という言葉をいただきました。

私たちのチームのように、インカレ（今年度は代替大会）を、伝統的にチームの解散と再始動を象徴する場とすることで、4年生がチーム活動やソフトボールを「終える」ことを自身と周囲が受け入れていくための「通過儀礼」の場としている

チームは多いのではないかと思います。

終わりの場と涙

今年のインカレにあたる「全日本選抜大会」に、私は役員として参加しました。私の役割は、試合に負けたチームを写真撮影の会場であるサブグラウンドに誘導し、その際「密」にならないように注意することでした。そこでは監督からの言葉に涙する選手、4年生が後輩に涙しながらメッセージをする姿等、多くの涙が見られました。特に印象に残っているのが、城西大学の対応をした時のあるシーンです。城西大学の長澤監督が、エースの遠藤投手に労いの声をかけると、遠藤投手が涙しながら長澤監督に抱き着いていきました。長澤監督が「お前鼻水きたないよ～」と言いながら、抱き寄せるシーンを見て、「密」に注意を促さなければならぬ私も、この時ばかりは注意することが出来ませんでした。後日、ソフトボールマガジンの対談でこの件について長澤先生に伺うと、遠藤投手は怪我を抱えておりそれを長澤監督と乗り越えて挑んだ大会であったということです。チームの指導者として、また大会役員として多くの選手の「涙」を見てきました。これらの選手たちの表情・振る舞い・言葉は、例年のインカレ等の最後の公式戦で見られる「悔し涙」ではないように見えました。そうではなく、コロナ禍で失われるかもしれない「終わりの場」を得た「充実の涙」「安堵の涙」であったように見えました。

指導者の想い

大阪大谷大学の児玉先生、中京大学の二瓶先生、そして私の3人で愛知県のとある場所にある「やきとり大吉」で定期的に飲み会を開いています。この3人には、東北の中でもさらに僻地出身という共通点があり、「いなかっぺ」に掛けてこの飲み会を「かっぺ会」と称しています。なぜ、インカレの価値を再考するこの論考で「かっぺ会」を紹介するのか、それは2013年の「かっぺ会」で後にインカレ改革のリーダーとなる二瓶先生が、4年間一生懸命頑張った選手にもっと「陽の当たる場

所で最後の大会をさせてあげたい」そう語っていたのを記憶しているからです。この6年後、二瓶先生を中心にインカレ改革は実現し、ご承知のとおり2019年より、男子は富山県富山市で、女子は愛知県安城市で開催されています。メディアを巻き込み、他種目と比較しても遜色のないイベントになっていることは言うまでもないでしょう。なぜ、学連の歴史を大きく動かすインカレ改革は実現したのでしょうか。その根底には二瓶先生を中心とした多くの大学指導者の、4年生のソフトボールが「終わる」にふさわしい「場」を提供したいとの思いがあったことをここに紹介しておきたいと思います。

インカレの価値

冒頭にも述べましたが、「インカレとは何か？」と問われると、私たちは「ソフトボール文化の醸成」や「ソフトボールの価値向上」と、自分たちから遠ざけて考えてしまいがちです。ですが、ここまで述べてきたように、いま一度私たちの身近なところから「インカレとは何か？」を考えてみると、それはソフトボール人生最後の大会となる4年生の「終わるための大会」であると言えるのではないのでしょうか。当たり前すぎる帰結ではありますが、私はソフトボールの「広めかた」と同じぐらい、「終わりがた」についてもっと議論されてもいいのではないかと考えています。もちろん、私もソフトボール指導者として、選手には卒業後も何らかの形でソフトボールに携わってほしいと願っています。しかし残念ながら、多くの選手がソフトボールから離れるのが現実です。ソフトボールを始めたときは、その技術習得はとても困難です。それが容易に想像できるからこそ、様々な研究がなされています（板谷・児玉・木田、2014；児玉ほか、2020）。また、今原稿を執筆している私の部屋の本棚をざっと見渡しても、園田学園の木田先生、中京大学の二瓶先生、東京女子体育大学の佐藤先生のソフトボールの本があります。これらは、初心者から上級者までより多くの方にソフトボールに親しんでもらえる内容となっ

ています。ですが、これらの本も前述した研究同様、ソフトボールをいかに「身体化」させていくかという点で共通しているのです。当たり前ではありますが、ソフトボールを「終わるための本」は存在していません。

私は、指導者としてインカレをどんな結果でも感謝の気持ちで「終わる」ことを意識し、選手にも伝えていきます。具体的には、共に頑張ってきた仲間への感謝、いつも見守ってくれた親への感謝、そしてここまでやり遂げた自分自身への感謝です。これまで、私は毎年インカレに勝負をかけてきましたが、結果は一回戦負け、コールド負け、優勝など様々な「終わりがた」をしてきました。私はよく負けても「悔しそうに見えない」、優勝しても「嬉しそうに見えない」と言われます。なぜなら、事実としてそう感じていないからです。指導者が、負けて悔いを残し、勝って栄光にすぎること、選手がソフトボールを「終わる」ことをより困難にさせてしまうからです。終わりの大会となる「インカレ」の結果に囚われず「感謝の気持ち」でソフトボールを終える。これが大学ソフトボールにおいて「最も充実した終わりがた」だと私は考えています。

文献

- 石岡丈昇（2019）カムバックについて—
「世界なき習慣」をめぐる考察．現代思想．青
土社．
- 板谷昭彦・木田京子・児玉公正（2014）
ソフトボール外野手のバックホーム返球時間に
及ぼす下肢ステップ動作の影響．園田学園女子
大学論文集（48），43-52．
- 児玉公正，伊藤知之，増淵まり子，板谷昭彦
（2020）ソフトボール競技における投手
のボール回転軸角度や回転数がボール軌道に及
ぼす影響．日本ソフトボール研究会誌 創刊号
3-11．
- 家中茂（2019）地域創造の視座．家中茂・
藤井正・小野達也・山下博樹編，地域政策入門．
ミネルヴァ書房，1-4．

北海道東北地区

地区報告及び全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会地区予選会

北海道・東北地区大学ソフトボール連盟 理事長 舟山 健一

大会報告

インカレの代替大会にあたる全国選抜大会の北海道・東北地区予選会（男子は東北予選）は、男女ともに、9月12日（土）に「石鳥谷ふれあい運動公園（岩手県花巻市）」で行われた。参加チームは、男女ともに3チームであった。男子は、東北代表決定後、北海道代表と9月21日（月）岩手県八幡平市「八幡平市中山野球場」で決定戦が行われた。男子は北海道大学、女子は富士大学が優勝し代表校となった。

コロナ禍での大会開催にあたり、最も苦勞すると思われたのが大会会場の確保である。しかし、この点については、東北ソフトボール連盟並びに、岩手県ソフトボール協会のご協力もあり、「石鳥谷ふれあい運動公園（岩手県花巻市）」「八幡平市中山野球場（岩手県八幡平市）」にスムーズに決めることができた。特に、岩手県ソフトボール協会の皆様には、大会会場の確保、大会開催・運営等で多大なるご尽力を賜わった。本連盟を代表して、岩手県ソフトボール協会並びに、大会運営にご協力賜った関係各位に心より感謝申し上げたい。

大会出場に際し、男女とも大学連盟のガイドラインに則り、「2週間前からの健康チェック」を義務付け、全チームにもれなく実施してもらった。また、大会では、当日の監督会議で「密」状況を徹底的に避けることが運営側と監督間で確認された。最も「密」が予想されるベンチでは、通常「ベンチ内」に選手が収まるのが義務付けられているが、この点についても、フェールゾーン全体をベンチとみなし、考えられる限りの「密」を避けながら大会を運営した。

大会結果

東北地区予選会 男子の結果

9月12日（土）岩手県花巻市「石鳥谷ふれあい運動公園」

チーム	中央	中院	愛院	順位
福島大学	—	○ 2-1	○ 11-10	1
仙台大学	● 1-2	—	○ 14-8	2
盛岡大学	● 10-11	● 8-14	—	3

北海道・東北地区予選会（男子代表決定戦）

9月21日（月）岩手県八幡平市「八幡平市中山野球場」

福島大（東北代表）1-10北海道大（北海道代表）

※北海道・東北地区男子代表は北海道大学に決定

北海道・東北地区予選会（女子代表決定戦）

チーム	富士	福祉	仙台	順位
富士大学	—	○ 2-0	○	1
東北福祉大学	● 0-2	—	○	2
仙台大学	●	●	—	3

※北海道・東北地区女子代表は富士大学に決定

コロナ禍での予選会を振り返って

「感謝の気持ち」、ありきたりな言葉ではあるが、大会運営を通じて感じたことはこの一言である。

男子大会は、例年になくソフトボールを純粋に楽しんでいるようにみえた。4年生が引退したチームが多く、例年のように全国大会へ出場したいという思い入れより、コロナ禍でソフトボールができなかったストレスを発散しているようだった。女子大会は、多くの4年生が参加し、試合後は勝者・敗者ともに涙を流す「熱戦」が繰り広げられた。彼女たちの涙・表情・振る舞い・言葉は、例年のインカレ等の最後の公式戦で見られる「悔し涙」ではないように見えた。そうではなく、コ

ナ禍で失われるかもしれない「終わりの場」を得た「充実の涙」「安堵の涙」であったように見えた。

この大会全体を振り返ると、ソフトボールを楽しむ、大学ソフトボールの「終わりの場」を得られたのも、本大会が開催されたからこそに他ならない。4年間、必死に努力を続けてきた選手らに、「有終の美」を授ける場を設けていただいた全日本大学ソフトボール連盟、そして岩手県ソフトボール協会はじめ関係各位に、東北連盟の理事長として改めて感謝申し上げるとともに、大会に参加した学生諸君には、このような方々に「感謝の気持ち」を持っていただきたい。

2020年新型コロナウイルス感染症の陽性者数（厚生労働省HPより）

新型コロナウイルス感染症の国内発生動向

報告日別新規陽性者数

令和3年2月16日24時時点



※1 都道府県から数日分まとめて国に報告された場合には、本来の報告日別に過去に遡って計上している。なお、重複事例の有無等の数値の精査を行っている。
 ※2 令和2年5月10日まで報告がなかった東京都の症例については、確定日に報告があったものとして追加した。

関東地区

全国大学選抜男女選手権大会に向けた関東地区の取り組み

関東学生連盟理事長 柳田 信也（東京理科大学）

1. 開催に向けて

全国大学選抜男女選手権大会の開催決定を受けて、関東地区では当然のことながら開催地の確保が最初で最大の壁となった。関東地区では通常、Ⅰ部～Ⅲ部に分かれた総当たりのリーグ戦を実施し、その結果を基にインカレ予選を開催するという二段構えの予選方式を取っている。今年度このインカレ予選の開催予定地であった群馬県太田市が、代替措置として女子会場を提供してくださったこと、そして代替大会を見越して事前に清水関東学生連盟副会長が地元・山梨県へ予備的な確保を依頼しておられ、そこを男子会場として確保できたことで、この最初の難関をクリアすることができた。群馬県協会、山梨県協会には感謝の念に堪えない気持ちである。いずれにせよ、組織としての交渉というよりも個人と個人のつながりで保たれている現実を記して残しておきたいと考えている。

2. 新型コロナ対策

大会開催に向けて、全国的にも感染拡大レベルの高い関東地区ではさまざまな面での対策を要した。特に、東京近郊とそれ以外の地域ではこの問題に対する温度差があった時期でもあり、他県への移動についての懸念があった。その点は、群馬県・山梨県共に格別のご高配を賜り、ご容赦いただけたことが開催に踏み切る基盤となったと考え

られる。

そのうえで、具体的な対策としては手洗い、消毒などの一般的な予防対策と共に、以下のようなことを実施した。

- ・14日間の健康チェック、検温をGoogleフォームで実施し、報告
- ・来県者名簿の作成
- ・リストバンドによる関係者の管理

観客については、会場はすべて運動公園内であり、一般の利用者との区別を付けることが困難であることから、来場は原則的に控えていただくことを基本方針としながらも、4年生など最後の機会となる保護者の方のみに制限をするなど、各大学の責任の下で徹底した管理を行い、観客も含め所属チームの関係者であるという扱いとすることで管理体制、リスクの分散を行った。

3. 大会の結果等

さまざまな準備を経て、全国大学選抜男女選手権大会関東地区予選会は、男子5チーム、女子10チームの参加で実施された。やはり、関東地方全体の感染拡大に対する意識が厳しく、国立大学や主たるキャンパスが東京都心にある大学においては参加が認められないケースが散見された。事務局として、参加希望の大学の担当者等とも調整を行うなどしたが、極めて対応が二極化していたと感じられた。



【試合結果】

●男子

期日：2020年9月12日（土）

会場：山梨県北斗市長坂総合スポーツ公園

●女子

期日：2020年9月19日（土）・20日（日）

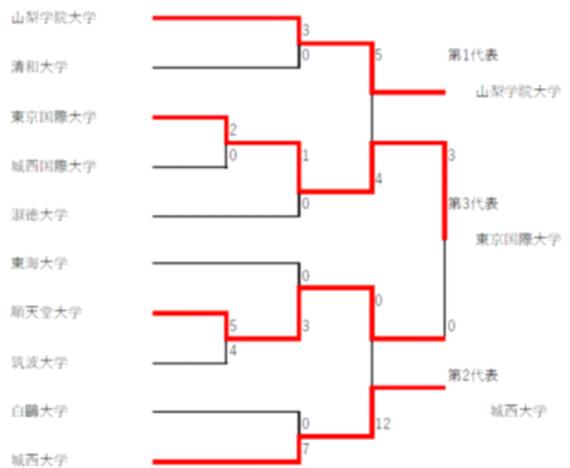
会場：群馬県太田市宝泉スポーツ広場

全国大学選抜ソフトボール選手権大会
関東地区予選会(男子)結果



全国大学選抜ソフトボール選手権大会
関東地区予選会(女子)

期間：2020年9月19日から20日
会場：群馬県太田市宝泉スポーツ広場



北信越地区

コロナ禍の中での北信越地区学連の状況

全日本大学ソフトボール連盟理事長 岩間 英明（松本大学）

令和2年度の北信越地区学連の活動は、他の地区同様、新型コロナウイルスに翻弄された1年間でした。2020年3月13日に新型コロナウイルス対策の特別措置法が成立し、4月16日には全国に緊急事態宣言が発出され、北信越地区学連所属のほとんどの大学が構内立ち入り禁止、遠隔授業、もちろん、課外活動は禁止という状況がしばらく続きました。

そのため、当初、5月16日(土)～5月17日(日)に、男子は新潟県上越市少年野球場を、女子は上越市清里スポーツ公園グラウンドを会場に開催を予定していた「第26回北信越大学男子女子ソフトボール選手権大会（兼）文部科学大臣杯第55回全日本大学選手権大会予選会」（インカレ予選）も延期する他はなく、新潟県ソフトボール協会の皆様にご協力を仰ぎながら、7月開催を目指すことになりました。

しかし、急遽の日程変更は会場の確保が難しく、異例の措置ではありましたが、富山県ソフトボール協会のご理解を賜り、7月11日(土)～12日(日)に富山県岩瀬スポーツ公園で開催予定であった全日本学連後援大会の「北信越オープン」を中止して、北信越選手権を開催することに一旦は決定しました。

ただ、その後も各校のコロナ対策は部活動を再開する状況にはなく、例年実施していた同じく後援大会の「白馬カップ」も中止。さらに、全日本学連が全日本インカレの開催を検討することとなり、その動向を見極める必要が生じたため再延期を決定しました。

夏休みを前後して全日本インカレの中止、代替大会の開催が決定したことで、北信越地区の代表校を決定することとなりました。富山県ソフトボール協会の皆様の献身的なご努力により、9月12

日(土)に富山県岩瀬スポーツ公園において、「第26回北信越大学男子女子ソフトボール選手権大会（兼）全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会予選会」を開催するに至りました。しかし、加盟校の活動状況は厳しいものがあり、結局、男子は富山大学1校のみの参加という寂しい結果となりました。女子は金沢学院大学と松本大学の2校が参加して一発勝負を行い、地力に勝る金沢学院大学が8-0（6回コールド）で勝利をおさめ、優勝、選抜大会の出場権を獲得しました。

金沢学院大学 2 2 0 0 2 2 : 8
松本大学 0 0 0 0 0 0 : 0

後期に入り、ようやくいくつかの加盟校の活動が再開されることとなり、第27回北信越大学男子・女子新人ソフトボール選手権大会を11月7日(土)～8日(日)に男子は白山市松任グリーンパーク多目的広場、女子は金沢市営専光寺ソフトボール場で開催することになりました。大会結果は以下の通りでした。特に男子は各チームとも十分な練習ができているとは言い難く、コンディショニングが難しかったと思いますが、ソフトボールができることの感謝をかみしめながら、真剣勝負の楽しさを味わっているようでした。女子は金沢学院大学が全国大会直前ということもあり、新チームになっていた松本大学を圧倒して、全国大会への勢いをつけたようでした。結果は別紙の通りです。

ただ、この大会に参加できなかった全ての国公立大学のチームは、コロナ禍で新入部員の獲得ができず、部の存続そのものが苦しくなっています。今後、北信越地区の学連として、そうしたチームにどのように支援していけばよいのか、模索の日々が続きます。

第27回北信越大学男子・女子新人ソフトボール選手権大会

【男子の部】

令和2年11月7日(土)～8日(日)
松任グリーンパーク多目的グラウンド A・Bコート

予選Aリーグ

第1試合	富山大学 (富山)	19 — 9	長岡大学 (新潟)
第2試合	福井大学 (福井)	30 — 3	長岡大学 (新潟)
第3試合	福井大学 (福井)	8 — 10	富山大学 (富山)

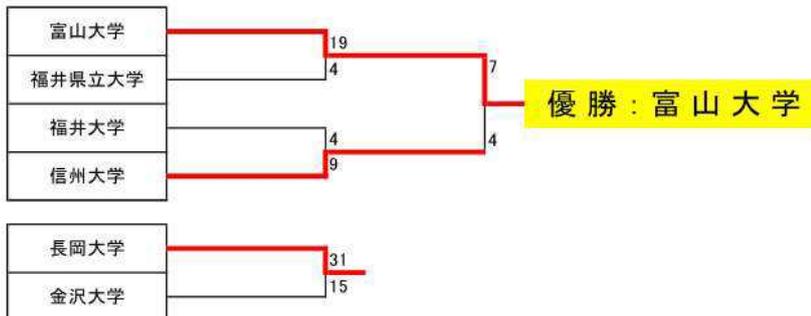
チーム名	富山大学	長岡大学	福井大学	勝ち	負け	引分け	勝点	順位
富山大学 (富山)	○	○	○	2	0	0	4	1
長岡大学 (新潟)	×	○	×	0	2	0	0	3
福井大学 (福井)	×	○	○	1	1	0	2	2

予選Bリーグ

第1試合	福井県立大学 (福井)	21 — 0	金沢大学 (石川)
第2試合	信州大学 (長野)	26 — 4	金沢大学 (石川)
第3試合	信州大学 (長野)	25 — 5	福井県立大学 (福井)

チーム名	福井県立大学	金沢大学	信州大学	勝ち	負け	引分け	勝点	順位
福井県立大学 (福井)	○	×	×	1	1	0	2	2
金沢大学 (石川)	×	○	×	0	2	0	0	3
信州大学 (長野)	○	○	○	2	0	0	4	1

★決勝トーナメント



【女子の部】

令和2年11月7日(土)～8日(日)
金沢市宮専光寺ソフトボール場 第2球場

★決勝戦

第1試合	金沢学院大学 (石川)	5 — 0	松本大学 (長野)
第2試合	金沢学院大学 (石川)	11 — 1	松本大学 (長野)
第3試合	金沢学院大学 (石川)	12 — 1	松本大学 (長野)

東京地区

2020年度 東京都大学ソフトボール連盟 事業報告

理事長：高橋 流星（日本体育大学）

今年度は、2月中旬から異例続きの1年となった。最終的に春季リーグは「中止」となり、インカレ開催の有無によって判断をしなければならぬ状況となり各大学の足並みを揃えることが困難極まりない状況であった。

まず、2020年2月28日新型コロナウイルス感染症に関する対応とお願いを各大学に配布。その後、各大学から活動状況等をまとめる作業を行った。

下記は、中止に至るまで、各大学へのお願いや連盟の方針など、各大学に情報提供した回数である。

【第2報3月16日 第3報4月1日 第4報4月11日 第5報5月22日】

理事会もメール審議やオンライン会議等も実施し、代替大会開催が確定後に、東京都から出場するチーム（男子3、女子3）をどのように決定するかを検討した。

出場枠決定方法

- ・男女共に、1部から選出する
- ・リーグ戦を実施後、特別ページシステムを採用し順位を確定する→ **採用しない**
- ※グラウンド確保および人数等が必要な為

- ・男子は1位、2位、女子は1位、2位、3位まで出場する

↓

理由：

- ①過去、2部、3部からインカレに出場したチームが少ない
- ②出場チームから大学選手権優勝チーム多数輩出：予選で勝利する＝インカレ優勝レベルチーム力必須
- ③2部、3部の練習状況および新入生勧誘状況は1部よりも難しく、強化を図るまでに至っていない。

問題点：2部、3部からは出場することが出来ない状況になる（承知済み）。

会場：2次予選会をする会場等が確定できない（借用困難）

経費：運営費が必要（各大学の負担増）

秋季リーグ開催に向けて

- ・追加細則の作成
- ・ガイドラインの作成
- ・大会参加に向けての健康チェックシート作成
- ・消毒液、マスクなど、感染対策グッズの購入
- ・各会場でのガイドラインや施設利用者名簿等の提出の理解

上記、5点を準備しオンラインにて各大学に説明を実施し大会を開催した。

大会は、無観客としたが、SNSに無観客につ

いての苦情の書き込みも頂戴した。

大きな問題やけが人、感染者を出すこともなく大会を無事に終えることが出来た。

また、2部、3部については、出場不可の大学もあったが、2部、3部の交流オープン戦を実施した。

時期的に感染者が減少傾向であった、10～11月にかけて実施し、大きなけが人や感染者を出すこともなく、無事に交流オープン戦を終えることが出来た。

①第52回秋季リーグ戦兼全国大学選抜選手権大会東京都予選会 結果

【男子一部】予選リーグ順位

会期：2020年9月11日～9月19日 会場：福生野球場、国士舘大学

2020秋	日 体	早稲田	国士舘	中 央	学習院	慶 應	勝	分	敗	得点	失点	順 位
日本体育	○	○	○	—	○	○	4	0	0	26	0	優勝
早 稲 田	●	○	○	—	○	○	3	0	1	21	9	2
国 士 舘	●	●	○	—	○	○	2	0	2	20	17	3
中 央	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学 習 院	●	●	●	—	○	●	0	0	4	6	45	5
慶應義塾	●	●	●	—	○	○	1	0	3	21	23	4

※コロナウイルス感染症拡大の影響により、中央大学が出場辞退

【女子一部】予選リーグ順位

会期：2020年9月17日～9月21日

会場：大田区ガス橋グラウンド、シクラメンスポーツ公園、福生野球場、東京富士大学など

2020秋	東女体	日 体	早稲田	東富士	国士舘	日女体	勝	分	敗	得点	失点	順 位
東京女子	○	○	○	○	○	○	5	0	0	19	0	優勝
日本体育	●	○	○	○	○	○	4	0	1	28	1	2
早 稲 田	●	●	○	○	○	○	3	0	2	13	16	3
東京富士	●	●	●	○	○	●	1	0	4	10	12	5
国 士 舘	●	●	●	●	○	●	0	0	5	2	39	6
日 女 体	●	●	●	○	○	○	2	0	3	15	19	4

【男子一部最終順位】

優勝	日本体育大学	全国大学選抜選手権大会出場
準優勝	早稲田大学	全国大学選抜選手権大会出場
3位	国士舘大学	全国大学選抜選手権大会出場
4位	慶應義塾大学	
5位	学習院大学	



※中央大学は出場辞退

【女子一部最終順位】

優勝	東京女子体育大学	全国大学選抜選手権大会出場
準優勝	日本体育大学	全国大学選抜選手権大会出場
3位	早稲田大学	全国大学選抜選手権大会出場
4位	日本女子体育大学	
5位	東京富士大学	
6位	国士舘大学	

今年度はリーグ戦による順位の昇降格は行わないこととした。

※尚、春リーグ及び東日本大学選手権大会はコロナウイルス感染拡大の影響により、中止となった。

②第52回秋季リーグ戦兼オープン戦 結果

【男子二部・三部】

会期：2020年11月1日～11月22日

会場：大類ソフトボールパーク、福東球場 他

2020秋	東 学	明 治	立 教	桜美林	東 京	勝	分	敗	得点	失点	順位
東京学芸	△ 10-10	● 5-12	● 2-13	● 8-9	0	1	3	25	4	5	
明 治	△ 10-10	○ 12-0	● 3-8	● 5-13	1	1	2	20	21	4	
立 教	○	●	○	○	2	0	2	15	21	3	
桜美林	○	○	○	●	3	0	1	16	15	2	
東 京	○ 9-8	○ 13-5	● 2-11	○ 8-1	3	0	1	23	17	優勝	

オープン戦

10月31日 成蹊大1-9東京大 成蹊大1-16東京大学

11月15日 桜美林大11-3東京大 桜美林大6-7成蹊大 立教大15-1成蹊大

【女子二部】

2020秋	学 芸	学習院	日 本	慶 應	中 央	東 洋	勝	分	敗	得点	失点	順 位
東京学芸	○ 13-0	○ 11-3	○ 7-2	○ 3-11	○ 2-7	○ 1-9	2	0	0	24	3	優勝
学 習 院	○ 13-0	○ 11-3	○ 7-2	○ 3-11	○ 2-7	○ 1-9	—	—	—	0	0	—
日 本	○ 13-0	○ 11-3	○ 7-2	○ 3-11	○ 2-7	○ 1-9	—	—	—	0	0	—
慶應義塾	○ 13-0	○ 11-3	○ 7-2	○ 3-11	○ 2-7	○ 1-9	1	0	1	7	15	2
中 央	○ 13-0	○ 11-3	○ 7-2	○ 3-11	○ 2-7	○ 1-9	0	0	2	5	18	3
東 洋	○ 13-0	○ 11-3	○ 7-2	○ 3-11	○ 2-7	○ 1-9	—	—	—	0	0	—

※コロナウイルス感染症拡大の影響により、学習院大学、日本大学、東洋大学が出場辞退

【女子三部】

2020秋	実 践	明 治	桜美林	成 蹊	勝	分	敗	得点	失点	順 位
実践女子	● 3-6	○ 9-1	○ 12-3	○ 1-9	1	0	1	12	7	2
明 治	● 3-6	○ 9-1	○ 12-3	○ 1-9	—	—	—	0	0	—
桜美林	● 3-6	○ 9-1	○ 12-3	○ 1-9	2	0	0	18	6	優勝
成 蹊	● 3-6	○ 9-1	○ 12-3	○ 1-9	0	0	2	4	21	3

※コロナウイルス感染症拡大の影響により、明治大学が出場辞退

オープン戦

11月21日 慶應大22-7成蹊大 慶應大8-6実践女子大

11月22日 中央大6-2成蹊大 中央大14-9実践女子大

東海地区

全国大学選抜男女選手権大会に向けた東海地区の取り組み

東海地区大学ソフトボール連盟理事長 二瓶 雄樹（中京大学）

1. 全日本インカレ中止を受けての対応

文部科学大臣杯第55回全日本大学ソフトボール選手権大会の中止が決まった7月25日、東海地区はその丁度1ヶ月後に延期していた春季リーグ戦の代替大会として、変則トーナメント戦を予定していた。そのトーナメントは、Ⅰ、Ⅱ部の全てのチームに上位4位、つまり全日本インカレへの出場権が得られる可能性がある形式のものとなっていた。前述した全日本インカレの中止を受け、代替大会のチーム数は減らされることが決まっており、この時点で大会の形式を見直しを迫られた。同日の午後に第3回目となる東海地区大学連盟の臨時理事会をネット会議で開催し、男女ともに今大会では上位1チームにのみ出場権を与えることを確認した。そして、残りの枠については、全日本学連の報告を受けてから追加の大会を企画し、出場権を決定することを申し合わせた。また万が一、新型コロナウイルスに感染した選手が生じた場合の対応についても詳しく話し合われた。

2. 追加大会の企画

8月8日の全日本学連臨時常任理事会の決定を受け、東海地区としては出場権が2枠であることが報告された。同月12日に第4回東海地区大学臨時理事会を開催し、追加の大会として春季トーナメントの2位～5位の4チームによるページシステム方式の出場権決定戦を企画することを決定した。会場や審判団については、事前に豊田市協会に相談させていただいたためスムーズにことが進んだ。男女ともにソフトボール場1会場で行うもので、男女の試合間でフェンスの張り替えを行うという今までにない形式の大会となった。

3. 新型コロナ対策

全日本大学連盟から周知された、新型コロナウ

イルス感染症対策・対応・対処ガイドラインおよびマニュアルに沿った中でそれぞれの大会を開催した。春季トーナメントでは、女子会場の安城市が管理の問題から無観客による開催となった。男子各務原会場は、全ての来場者に市独自のチェックシートを記載することにより観戦することが可能となった。追加大会となった代表決定戦では、学連独自のチェックシートを準備し、感染対策を講じた中で観戦者を動員して開催された。また東海地区独自の取り組みとして、施設や共有する道具などの洗浄、消毒マニュアルを作成し、大会運営を行った。さらに、山本副会長（朝日大学）のもとそれらを取りまとめる委員会を組織し感染予防に取り組んだ。

4. 大会の結果等

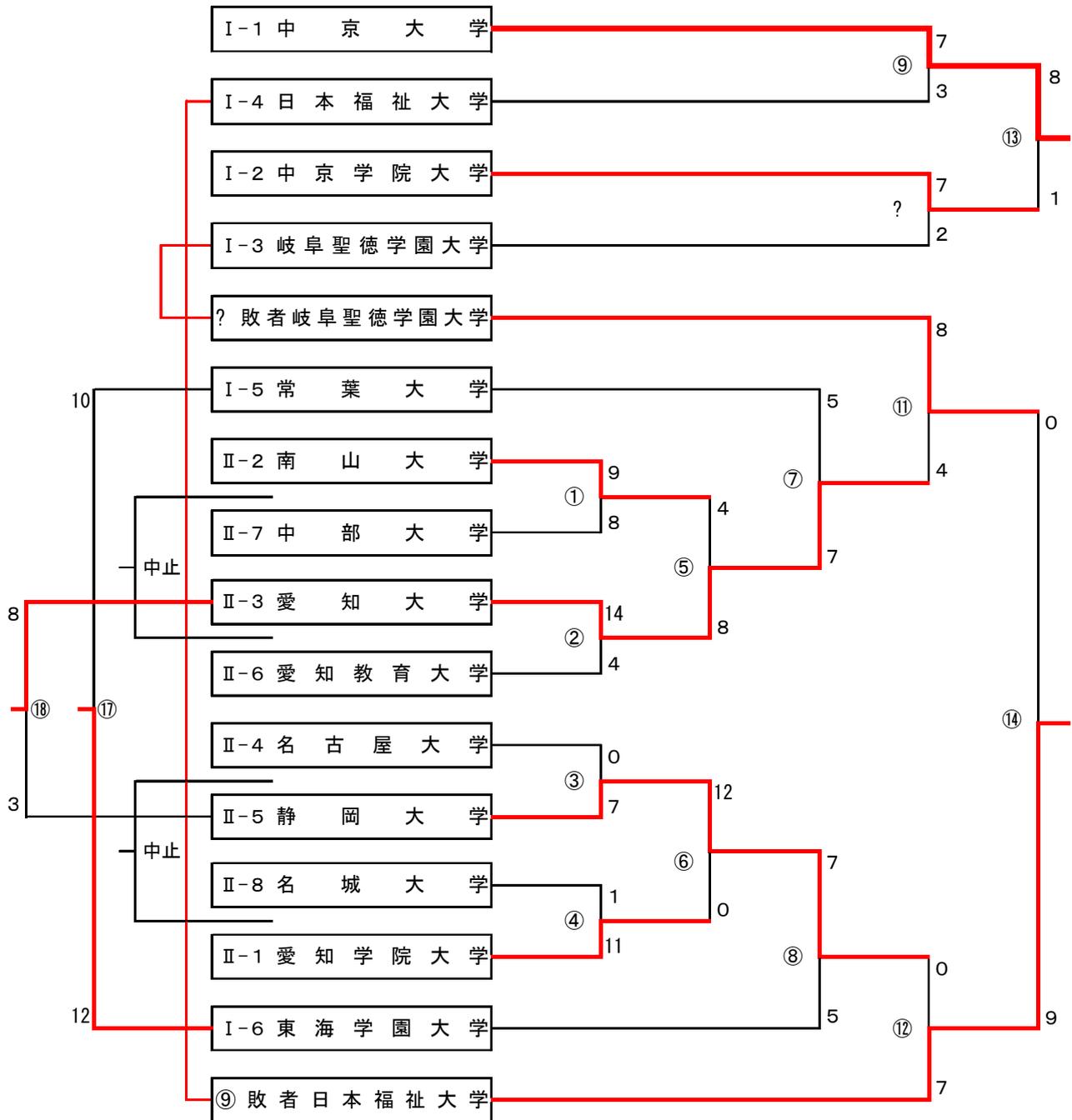
男女ともに1校ずつ、大学側からの許可が得られないということで大会直前で不参加となってしまいうチームがでてしまった。その他、女子大会では感染に関するトラブルや事件もなく滞りなく大会を終えることができた。一方、男子の春季トーナメント戦では、一大学の学生に発熱者が生起してしまい途中で大会に参加できない事態となってしまった。そのため、男子のトーナメント戦での最終順位は全て決定することができなかった。

二つの大会の結果、男子では中京大学と中京学院大学が、女子では中京大学と東海学園大学が全国大学選抜大会への出場権を得ることができた。大会を開催させていただいた、岐阜県各務原市、愛知県安城市、愛知県豊田市の協会および関係者の皆様に心から感謝申し上げます。また代表決定戦のページシステムでの取り組みでは、男女が同時に同じ会場で実施するという新たな試みにも取り組み、男女ともに注目度をあげる方法の一つとして価値ある大会となったと思います。

【試合結果】

令和2年度春季第86回東海地区大学男子ソフトボールトーナメント戦

期 間 令和2年8月29日(土)、9月4日(金)、5日(土)、予備日6日(日) 第1試合：09：00～
 会 場 岐阜県各務原市総合運動公園A・B球場、予備日はB・C球場 第2試合：11：30～
 第3試合：14：00～



※ I-1～II-8は84回春季リーグ戦の順位
 中京大学の優勝は、リーグ戦と通算して2季ぶり51回目の優勝
 2位：中京学院大学 3位：日本福祉大学 4位：岐阜聖徳学園大学
 5位：愛知大学 6位：静岡大学 7位：東海学園大学
 8位：常葉大学 9位：南山大学・愛知学院大学

令和2年度春季第75回東海地区大学女子ソフトボールトーナメント戦

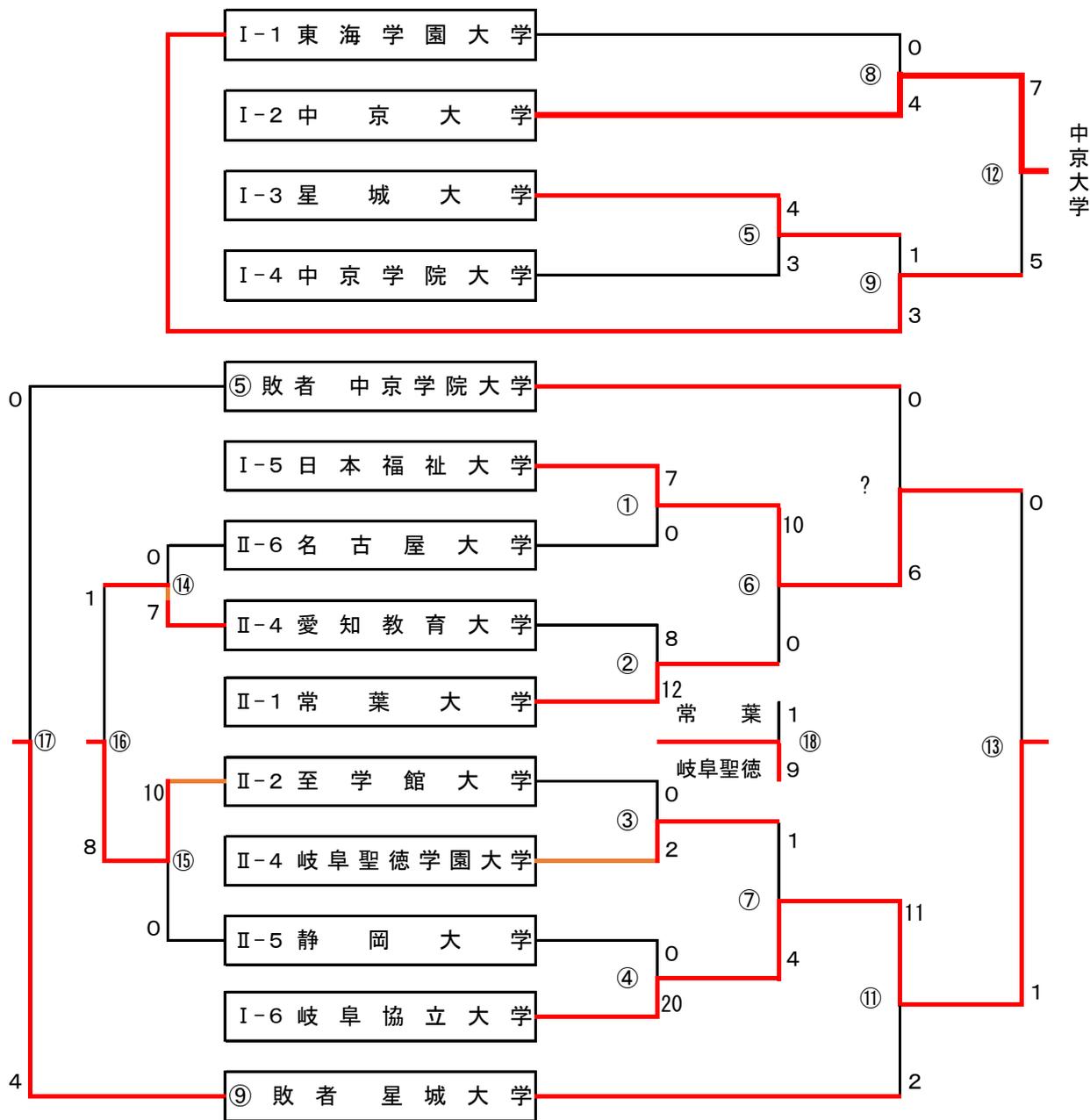
期 間 令和2年8月26日(水)、27日(木)、28日(金)

会 場 DENSO BRIGHT PEGASUS STADIUM A・B球場 (安城市総合運動公園)

第1試合：09：00～

第2試合：11：30～

第3試合：14：00～



※ I-1～II-8は74回秋季リーグ戦の順位

中京大学の優勝は、リーグ戦と通算して2季ぶり40回目の優勝

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 2位：東海学園大学 | 3位：岐阜協立大学 | 4位：日本福祉大学 |
| 5位：星城大学 | 6位：中京学院大学 | 7位：岐阜聖徳学園大学 |
| 8位：常葉大学 | 9位：至学館大学 | 10位：愛知教育大学 |
| 11位：静岡大学 | | |

全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会（代替大会）東海地区代表決定戦大会結果

●期日：9月21日(月)・22日(火)

●会場：愛知県豊田市運動公園ソフトボール場

●男子1回戦

日本福祉大学 1 0 2 0 2 0 4 : 9
中京学院大学 0 0 0 0 0 0 0 : 0

岐阜聖徳学園大学 1 5 0 0 0 2 4 : 12
愛知大学 1 0 0 0 0 1 0 : 2

●女子1回戦

東海学園大学 1 0 2 0 0 3 0 : 6
岐阜協立大学 0 0 0 0 0 0 0 : 0

星城大学 0 0 0 0 0 0 0 : 0
日本福祉大学 0 0 0 1 1 0 x : 2

●女子3位決定戦

日本福祉大学 0 0 3 1 1 1 0 : 6
岐阜協立大学 0 0 0 0 0 0 0 : 0 (3位)

●女子代表決定戦

東海学園大学 0 0 0 2 0 0 2 : 4
日本福祉大学 0 0 0 0 0 0 0 : 0

●男子3位決定戦

中京学院大学 1 1 2 0 5 : 9
岐阜聖徳学園大学 0 0 2 0 0 : 2

●男子代表決定戦

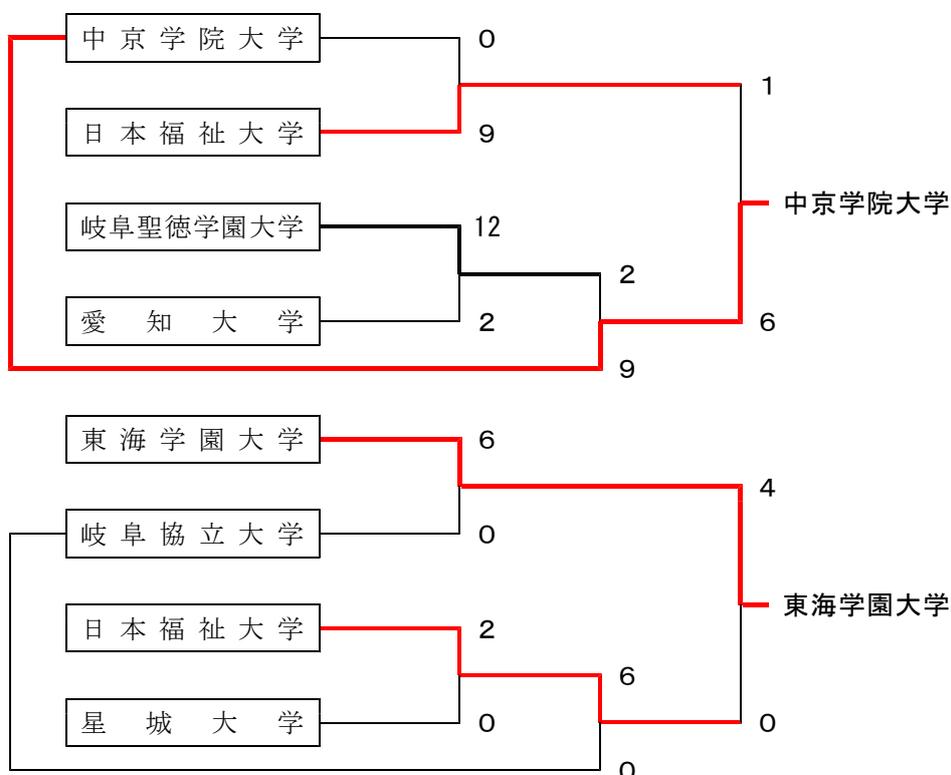
中京学院大学 0 0 2 1 2 0 1 : 6
日本福祉大学 0 0 0 1 0 0 0 : 1

●男子代表権獲得校

中京大学（春季トーナメント戦優勝校）中京学院大学（代表決定戦1位）

●女子代表権獲得校

中京大学（春季トーナメント戦優勝校）東海学園大学（代表決定戦1位）



※本大会はコロナ禍のもと感染防止対策を講じ、豊田市・同市ソフトボール協会をはじめとする関係機関のご理解とご協力を得て開催できました。また、多くの観客の皆様からご声援をいただきました。記して御礼申し上げます。

近畿地区

激動の2020年を振り返って〈男・女〉活動報告

近畿地区常任理事 森田啓之（兵庫教育大学）

関西学生ソフトボール連盟では例年4月中旬頃より春季リーグ戦が開幕する。2020(令和2)年は新型コロナウイルス感染が広がる兆しを見せつつあったが、例年通り2月初旬から開催準備をしていた。ところが、2月下旬に政府から「新型コロナウイルス感染拡大に備えた政府の基本方針」が発表され、各大学や競技団体は活動の中止・延期・規模縮小などを検討する必要が生じてきた。

そのような中、関西学連は今年新たに就任した吉末和也理事長（関西大学）のもと、3月14日付け文書により、「加盟チームの課外活動に対してどのような指示が所属大学から出されているかのアンケート調査を実施し、情報収集を行った上で、2020年春季リーグ戦の対応策を検討する」こととなった。その調査の結果は、大学の課外活動に対する方針は、「全面禁止」から「条件付可（日常の活動は認めるが遠征や合宿は禁止）」まで様々であった。さらに、政府指針で大人数での会議は回避することが求められていたため、最終的な決議については、特例措置として関西学生ソフトボール連盟役員（会長、副会長（2名）、理事長、副理事長（2名）の7名に決議を委任してもらい、3月29日に「学生の健康と安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染拡大の抑制に社会的責任を果たすために、春季リーグを延期するとともに、男子リーグ・女子リーグともに連休明け5月9日の開幕を目指す。なお、春季リーグ開催に当たっては無観客試合とする。」ことを決定・周知した。併せて、今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、会場校等がグラウンドを提供できるかの確認、さらに審判・記録員の派遣について各都道府県協会との調整等が必要となるため、予定日にリーグ戦を開幕できるかどうかは、臨時役員会を招集・協議（結果的に12日と26日に開催）し、

開催予定日2週間前の4月26日に再び判断をすることとなった。

学連としてこのような動きをする一方で、学生たちはもちろん役員一同が感染拡大の収まりに望みを託していたが、その期待も虚しく、4月7日に「緊急事態宣言」が発出され、本連盟の加盟大学においても休講期間や授業開始時期が更に延期され、遠隔による授業を実施する以外は、ほとんどの大学で緊急事態宣言解除予定の5月6日、あるいは5月末までの学内への立ち入りが禁止された。当然のことであるが、課外活動は、原則「活動停止」という措置が行われるようになってしまった。したがって、4月26日の役員会では、「緊急事態宣言が解除され、大学の授業や課外活動が通常通り実施できるようになるまでは春季リーグは開催できないこと、さらに、緊急事態宣言が解除される・されないにかかわらず、加盟大学からは新たな方針が5月6日以降に出されるため、それについての情報収集したうえで決断をしていく」ことが確認された。すなわち、加盟大学の措置内容を把握した上で、5月17日の臨時役員会で春季リーグ開催の最終決議を行うとの結論に至った。

その後、連休明けの5月14日には全国一斉の緊急事態宣言は解除されたものの、リーグ戦が開催される兵庫や大阪など「特定警戒都道府県」では、これまでと同様に生活や健康の維持のために必要なもの以外は自粛が要請され、特にイベントなどについては、すべての都道府県で引き続き開催自粛の要請がなされた。特に、全国的かつ大規模なもので感染リスクへの対応が整わない場合は、中止や延期など慎重な対応が求められていた。また、加盟大学に対して実施した第2回目のアンケート調査の結果は、ほとんどの大学が引き続き授業を

遠隔で行っており、緊急事態宣言が解除されるまでは、課外活動の活動停止の措置が引き続き行われていること等の状況が把握できた。

このような芳しくない状況を総合的に踏まえて、臨時役員会では、緊急事態宣言が解除されても、課外活動の活動制限は段階的にしか解除されないものと判断し、春学期中に加盟大学・チームの足並みを揃えるのは難しいという認識を持つとともに、何よりも選手はもとより大会関係者の安全・安心を確保することを最優先に考えて慎重に審議を行なった。その結果、春季リーグを何とか開催したいとの強い思いで継続的に検討を重ねてきたが、これ以上、結論を先送りにはすることは適当ではないと判断し、第52回の春季リーグ戦はやむを得ず中止とすることを決定した。以下、吉末理事長が学生向けに発信した文章を記しておく。

「加盟大学の学生にとっては、今回のリーグ開催中止がどれほどの痛みを伴うものかは十分に承知しているつもりです。特に、最高学年である学生の気持ちを察すると無念でなりません。学生はもとより審判員をはじめとする大会関係者の安全・安心、そして何よりも人の生命を守ることを最優先した決断であります。」

その後、6月に入ってから、夏及び秋の公式戦開催を検討する動きを男女ともスタートさせていった。男子は10月開幕の秋季リーグ開催に向けて、女子は8月お盆明けからの公式戦（統一リーグ）の可能性に向けて、役員一同が心と頭を切り替えて準備に取り掛かり始めた。しかし、コロナ禍での大会開催にあたり最も頭を悩ませたのは、「グラウンド確保」であった。特に、女子は長年にわたり公式戦のすべてを加盟大学の施設（グラウンド）に頼ってきたが、コロナ感染防止により使用ができなくなったのである。急に公共施設を一定期間連続で借用することは極めて困難であるとともに、使用料金も相当かかってくる。まさにコロナ禍で条件の合うグラウンドを見つけるのは至難の業であった。そのため、女子については春と秋を統一したリーグの開催をあきらめ、大会日程がリーグ戦よりも少ないトーナメント方式の大

会（「関西学生女子チャンピオンカップ」）を9月7～10日で開催することにした。男子についてはここ数年来お世話になっている泉南市の理解と支援もあり、例年通り10月初旬にリーグ戦を開催する見込みとなった。

ところで、関西学連でのこのような検討に検討を重ねた結果もリーグ戦開催には結びつかなかったものの、学生にとってもう一つの大きな目標である「全日本大学ソフトボール選手権大会（全日本インカレ）」に関しては、まだ開催の可能性が残されていた（ちなみに西日本インカレは5月に中止と決定）。全日本大学ソフトボール連盟では全日本インカレについて議論が継続的になされており、「最終的な開催可否については7月下旬に決定する」ことが5月末時点で関西地区でも情報共有されていた。いよいよその期限が迫ってきた折、5月でおおよそ収まった感染の第一波が7月になって再び第二波として猛威をふるうようになっていた。全日本学連は「当初予定していた全日本インカレは見送ること、その代わりとして、感染防止対策を十分に行うことができるコンパクトサイズ（チーム数と日程等を縮小）で代替大会を学連単独主催で実施する。また、どのような方法で選出をするかについては地区として合意を図った上で、代表を出してほしい。」との決定を下した。

これを受けて、関西学生ソフトボール連盟は男女とも代替大会（正式名称「全国大学選抜選手権大会」男子は9月30日・10月1日、女子は11月10・11・12日）に向けた代表チームの選出を急遽行う必要が出てきた。男子は10月開幕予定のリーグ戦とは別に、代替大会に間に合わせる形で9月中・下旬に急遽トーナメントによる予選会が実施できることになった。一方で、女子はグラウンドをさらに確保することができなかったため、前述の「関西学生女子チャンピオンカップ」を代替大会の予選会と兼ねて実施せざるをえなかった。このような紆余曲折を経てであったが、代替大会予選会が無事に開催でき（男子は10月開幕のリーグ戦も実施できた）、その結果、男子は立命館大学・

神戸学院大学・関西大学の3チームが、女子は園田学園女子大学・神戸親和女子大学・太成学院大学・立命館大学の4チームが出場権を獲得した。ただ、9月になっても大学の事情等により、男女とも数大学が参加できなかったことは残念であり、役員としても申し訳なく感じた次第である。

さて、最後にこの大会開催に向けて、学生や役員が奮闘努力した点を忘れてはならないので記しておく。まず、大会開催に向けて、(公財)日本スポーツ協会並びに(公財)日本ソフトボール協会のガイドライン等を参考にして、「関西学生連盟用のガイドライン」を作成し、加盟大学及び関係者に周知徹底をした。また、大会参加にあたってはすべての関係者(選手・指導者・顧問等)に2週間前からの健康チェックの実施を求めた。このチェックシートの提出がなければ試合への参加は不可とするなど、健康管理には徹底して気を配った(特に、女子はグーグルフォームで健康チェック

シートを作成)。さらに、男女とも「観戦者」については最上級生の保護者に限り可として、来場者をできるだけ少なくして無観客という措置をとらないようにした。

最後に、もう一つ付け加えて結びとしたい。男女ともに例年以上に学生のみんなの協力がなされたこと、特に女子では大会に残念ながら参加できなかった「びわこ成蹊スポーツ大学」の選手たちが個人的に救護スタッフとして大会をサポートしてくれたことは今後にもつながるうれしいことであった。さらに、いつも以上に感染防止に気を配りつつ、お世話になった大阪ソフトボール協会の審判や記録の皆様には心からお礼を申し上げたい。

誰も経験したことのない激動の2020年。学生はもちろんのことすべての関係者が、普通にソフトボールをできる・させてもらえる有り難みを痛感したと思う。今回の経験を糧にして、より発展する関西学生ソフトボール連盟でありたい。

《特別寄稿》

コロナ禍での大会開催

—試合できることに関係者全員が感激、感謝—

大阪府ソフトボール協会理事長 増田 恭

全日本インカレの「延期」⇒「中止」⇒「代替大会開催」

4月の第1報で春リーグの延期が発出された。さらに、7月下旬には全日本インカレ大会の中止が判断され、既に春リーグ、西日本インカレの中止が決定されていたこともあり、4年生は実質的に引退の宣告を受けることになった。

と同時に、代替大会についての一報も入った。先の見えない中、会場確保もまったく白紙の状態、

大学によっては学内への立ち入りが厳しく制限され全体練習もままならない状況下で、3年生の学連委員たちはさぞかし慌ただしく準備に取り掛からざるをえなかっただろう。

代替大会予選の開催

「代替大会の日程が10月下旬に正式決定したので、予選会を9月20日頃までに完了したい。何とかグラウンドを確保して欲しい。」と不安そうな電話を8月中旬に学生委員長から受けた。どの程度

の参加があるのかも手探りの中であったが、2018年から主会場を泉南市に移行していたこともあり、地元の泉南市協会に最大限の協力を仰ぎながら、土日祝日にグラウンド確保をすることができた（その後に、21校がエントリーしたと聞いた）。結果として、9月12～21日の連休を挟んで3ブロックに分け予選を行い、立命館大学・神戸学院大学・関西大学の3校を何とか選出することができた。

統一（秋季）リーグ戦の開幕

代替大会の準備・開催とともに、平行して秋リーグの開催準備も進めなければならない。同じ関西学生ソフトボール連盟の女子リーグは、それまでが大学構内のグラウンドでの開催であったため、コロナ禍で適わず、急遽グラウンド探しに奔走したものの限界があり、春季に続き秋季リーグ開催も断念したと聞いた。

幸いにも泉南市の会場は平成9年第52回なみはや国体で成年男子種別を開催し、サザンスタジアム・なみはやグラウンドと芝生会場に外野ネットを張って、3面同時進行できる利点がある。地元協会の全面的な協力を得て、中止した春と秋を合わせた「統一リーグ」として10月12日に開幕し、18日には参加25校が集った開会式も実施できた。そして、1カ月後の11月3日には1部・神戸学院大学、2部・四天王寺大学 3部・関西学院大学の優勝で全日程を消化し、無事に閉幕を迎えることができた。

感染症対策

聞けば、学生たちは自粛期間中、殆どの大学でオンライン授業と個人練習、加えて全く今後の大会状況が分からない不安感もあり、これまでにな

い苦しい体験をしたようだ。

地元泉南市協会では、グラウンド確保に加え、ファウルボール探しのためにと周辺の草刈りまでして、選手を温かく迎えてくれた。

そのような中、いざ大会が始まればガイドラインを基に消毒液や健康管理表の準備、ベンチを広く確保するなど、日毎に学生役員や選手達の手慣れた感が増すことに驚いた。リーグ戦も中盤に差し掛かる頃には試合自体にも、また選手個々の動きにも4カ月間のブランクをまったく感じさせない動きに変化していた。

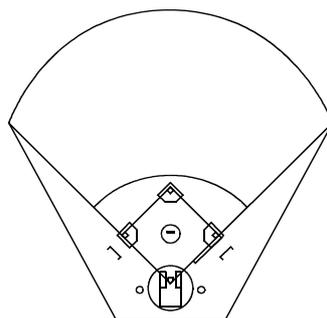
感激！感謝！

大学生の真剣に試合に取り組む姿勢を目の当たりにすれば、上半期の苦しい思いは消え失せ、本当に協力できた悦びに浸れる満足感が満ち溢れてきた。

苦渋の決断を迫られた学連理事の先生方、全面的にバックアップを頂いた大阪府ソフトボール協会審判員の皆さん、会場提供に奔走された開催地泉南市ソフトボール協会の皆さんのご協力により、それまでは当たり前であった試合を選手の皆さんに思う存分に楽しんで貰うことができた。関係各位にただただ感謝の言葉を並べるしか今の気持ちを表すことができない。

来季に向けて

コロナの状況は再度予断を許さない状況となっている。しかし、来る令和3年度の春季リーグ戦は新4年生に精一杯の試合を思う存分楽しんで貰いたい。そして昨年までの日常を取り戻しつつ、卒業しても皆さんの若い力をソフトボール界のために少しでもお貸し頂ければと願うばかりである。

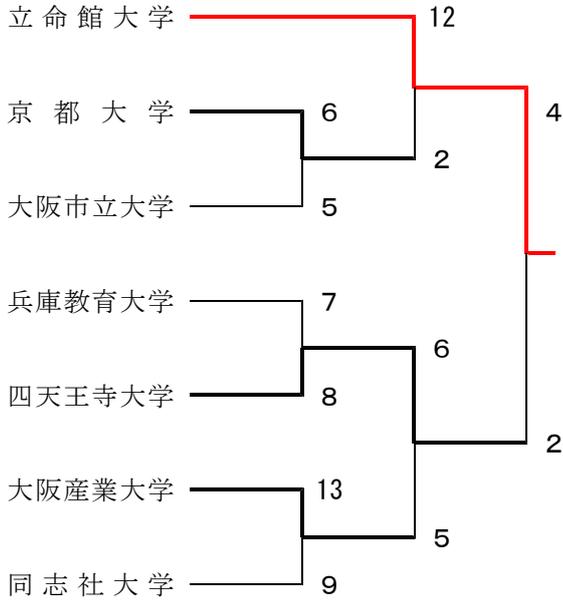


2020全国大学選抜選手権大会《近畿男子》予選結果

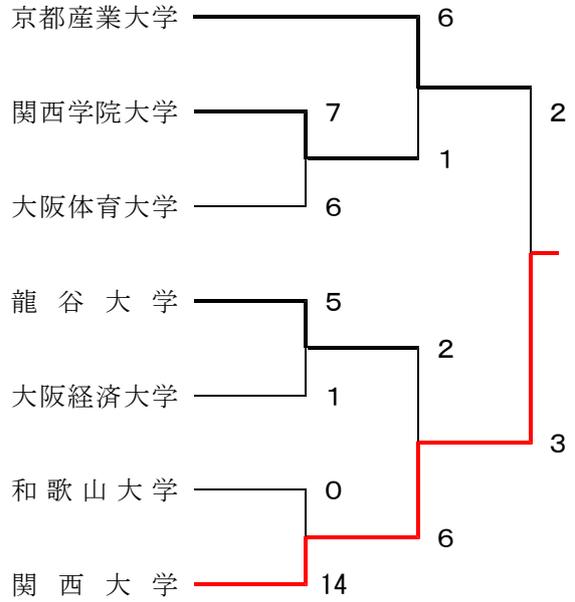
期日：9月12日～22日

会場：泉南市サザンスタジアム、なみはやグラウンド

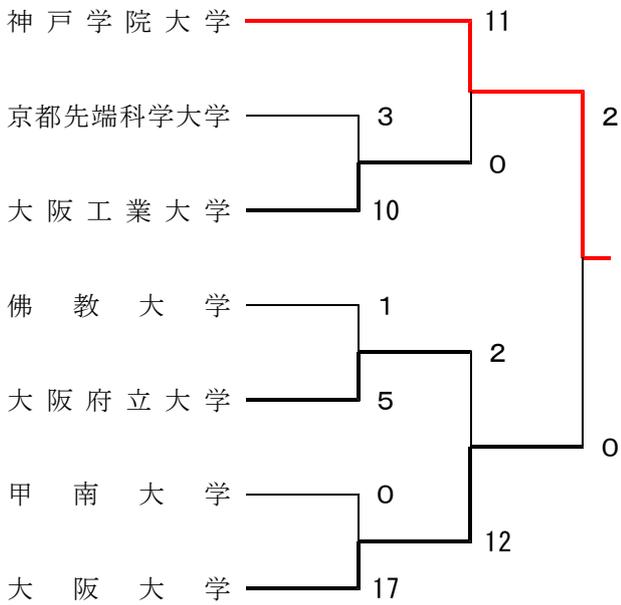
Aブロック



Cブロック



Bブロック



近畿地区代表：立命館大学・神戸学院大学・関西大学



令和2年 関西学生女子ソフトボールチャンピオンカップ

1日目

- ・第1試合 11:00~
- ・第2試合 13:00~
- ・第3試合 15:00~

2日目以降

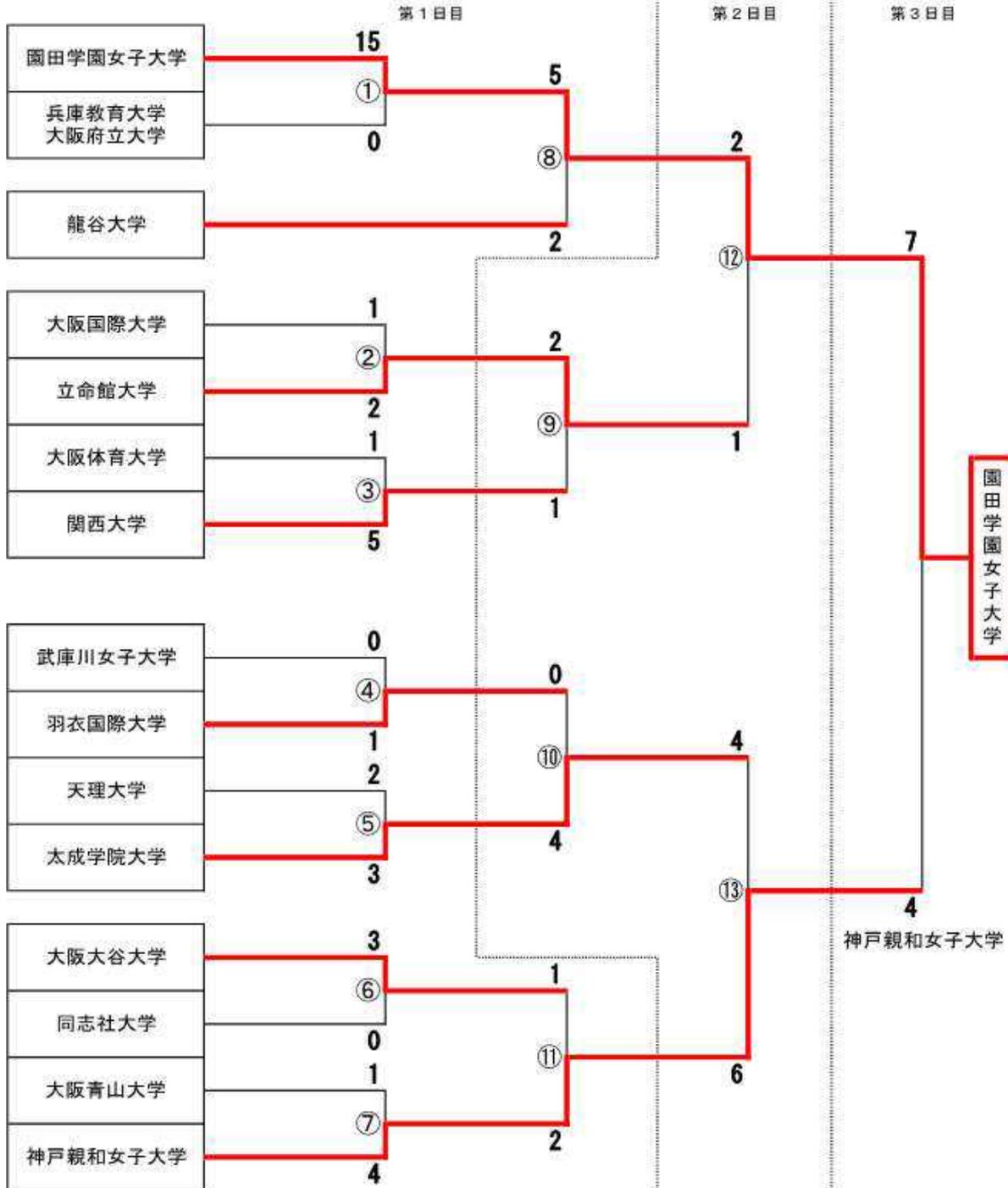
- ・第1試合 10:00~
- ・第2試合 12:00~
- ・第3試合 14:00~

A: ソフトボール場A

B: ソフトボール場B

C: 硬式野球場A

D: 健康ひろば野球場1



優勝 : 園田学園女子大学
 準優勝 : 神戸親和女子大学
 第3位 : 立命館大学
 太成学院大学

令和2年度(2020)関西学生ソフトボール連盟男子 統一(秋季)リーグ戦

会期:10月10日~11月5日

会場:大阪府泉南市/サザンスタジアム・なみはやグラウンド、大阪市/柴島スポーツグラウンド

1部リーグ戦

チーム	神戸学院	京都産業	大 阪	立 命 館	同 志 社	関 西	勝	分	敗	順 位
神戸学院	-	○3-2	△4-4	○5-3	○9-1	○7-1	4	1	0	1位
京都産業	●2-3	-	○6-1	○7-6	○15-2	△5-5	3	1	1	2位
大 阪	△4-4	●1-6	-	●0-8	○9-2	○8-0	2	1	2	4位
立 命 館	●3-5	●6-7	○8-0	-	○11-3	○5-4	3	0	2	3位
同 志 社	●1-9	●2-15	●2-9	●3-11	-	○3-10	0	0	5	6位
関 西	●0-7	△5-5	●0-8	●4-5	○10-3	-	1	1	3	5位

2部リーグ戦

2部A	四天王寺	大阪工業	近 畿	大阪経済	神 戸	勝	分	敗	点	順 位
四天王寺	-	○10-0	○5-0	○5-1	○8-0	4	0	0	12	1位
大阪工業	●0-10	-	○14-5	●0-9	○5-4	2	0	2	6	2位
近 畿	●0-5	○14-5	-	○5-1	●13-0	1	0	3	3	4位
大阪経済	●1-5	○9-0	●1-5	-	●2-5	1	0	3	3	5位
神 戸	●0-8	●4-5	○13-0	○5-2	-	2	0	2	6	3位

2部B	大阪体育	佛 教	大阪府立	京 都	龍 谷	勝	分	敗	点	順 位
大阪体育	-	○8-0	●2-5	●2-5	●0-11	1	0	3	3	4位
佛 教	●0-8	-	●2-4	●0-6	●0-6	0	0	4	0	5位
大阪府立	○5-2	○4-2	-	●3-10	△8-8	2	1	2	7	3位
京 都	○5-2	○6-0	○10-3	-	○11-8	4	0	0	12	1位
龍 谷	○11-0	○6-0	△8-8	●8-11	-	2	1	1	7	2位

- ◎1部2部入れ替え戦 関西大学12-2京都大学 ☆関西は1部に昇格
- ◎2部ブロック決勝 四天王寺大学3-1京都大学 ☆四天王寺は1部に自動昇格
- ◎2部最下位決定戦 大阪経済大学3-7佛教大学(棄権) ★大阪経済大学は3部に自動降格

3部リーグ戦

3部A	兵庫教育	兵庫県立	大阪市立	関西学院	勝	分	敗	点	順位
兵庫教育	●14-5	●10-2	●1-11	0	0	3	0	4位	
兵庫県立	○14-5	●4-6	●2-7	1	0	2	3	3位	
大阪市立	○10-2	○6-4	●4-8	2	0	2	6	2位	
関西学院	○11-1	○7-2	○8-4	3	0	0	9	1位	

3部B	和歌山	甲南	大阪産業	和歌山	甲南	大阪産業	勝	分	敗	順位
和歌山	○18-8	●1-6	○30-12	●4-7	2	0	2	2位		
甲南	●8-18	●0-10	●12-30	●2-17	0	0	4	3位		
大阪産業	○6-1	○10-0	○7-4	○17-2	4	0	0	1位		

3部C	京都先端	大阪経法	京都先端	大阪経法	京都先端	大阪経法	勝	分	敗	順位
京都先端	●3-5	●3-12	●5-12	0	0	3	2位			
大阪経法	○5-3	○12-3	○12-5	3	0	0	1位			

- ◎ 3部ブロック決勝 関西学院大学0-6大阪産業大学 大阪産業大学13-6大阪経済法科大学
 関西学院大学3-1大阪経済法科大学 ☆大阪産業大学は2部に自動昇格
- ◎ 2部3部入れ替え戦 佛教大学2-12関西学院大学

現職時代、担当していた健康管理概論の講義で、「感染症の逆襲」を扱ったことがあった。当時はAIDSやSARSが蔓延し、エボラ出血熱と新型インフルエンザの発生が危惧されていた。しかし、天然痘の撲滅によって人類は感染症に勝利したと安堵し、学生達は種痘すら知らなかった。インカ帝国は天然痘によって滅亡し、第1次世界大戦は発生源がアメリカであるスペインインフルエンザによって終結した。これらの話は学生達の興味を引くものではなかった。パンデミックの変換ミスで「パンでミック」とプリントに表記されていたことだけが笑いを誘った。免疫の仕組みや予防接種による集団免疫の獲得に関する問題の解答もよくなかった。学内で結核や麻疹が発生したときも関心は低かった。若者達はこの清潔な現代日本において、感染症が蔓延するなど考えも及ばなかったのだろう。酒は細菌がなくては造れない。ウィルスがいなかったら赤潮は解消しない。人類は細菌やウィルスと共生しているのである。そして、感染して回復した人は、未感染者を守ってくれる最強の防波堤である。(記録席)

中国地区

2020年度コロナ禍における中国地区の活動について

中国地区常任理事 西村 信紀(環太平洋大学)

2020年の中国地区は、男子・広島国際学院大学加藤理事、女子・岡山美作大学土谷理事にお願いし各大学へ情報を発信して連絡を取り合って活動しました。

男女を通じて、3月より活動自粛が相次ぎ時間の経過に連れて感染が拡大して、大学より活動禁止や県外への移動禁止命令が出て予選も危ぶまれました。また、卒業式と入学式がコロナのため自粛となり、新入部員の確保が難しく活動ができない大学もありました。

男子大学について、中国地区は特に国立大学の存在が大きく新入部員の確保が出来なくて活動自粛となりました。また、ほとんどの大学の授業がオンラインとなる中では当然集まっての部活動禁止の大学が多く、私立大学については何とか検温の実施や小人数での活動や練習時間の短縮などで活動をつないできました。

女子大学については、加盟大学が私立大学多くて検温の実施や小人数での自主練習や活動時間に

差をつけるなど工夫をしての練習で活動していました。

代替大会予選については、試合に伴う宿泊の禁止や活動時間の制約（活動時間3時間以内）や県外への移動禁止など、各大学の取り組みにも違いがあり残念ながら参加できない大学もありました。

今後の見通しについて

- ・原則活動禁止の大学
- ・活動の見通しの立っていない大学
- ・感染対策を徹底して活動可能な大学
- ・特に規制のない大学
- ・移動に関しては（未定・許可が必要）
- ・遠征・合宿禁止の大学
- ・対外試合は、公式戦に限り許可など

2021/1/29現在は、非常事態宣言により内容に変更がある大学もあると思われます。

中国地区男子 活動状況のまとめ(2020年12月22日付)

大学名	授業について	活動状況	今後の見通し
環太平洋大学	オンライン授業。	少人数での自主練習を中心とした活動。	2月までは対外試合、移動禁止。
広島国際学院大学	原則オンライン授業。	原則全面禁止。	年明けに今後の見通しが示される予定。
広島経済大学	現在は対面授業。 1月4～19日まではオンライン授業	感染症対策を徹底したうえで練習可能。対外試合、遠征は禁止。公式戦は状況に応じて許可。	今後の状況次第では活動全面禁止もあり得る。
広島工業大学	12月16日からオンライン授業。	12月16日から禁止。	オンライン授業継続中は活動禁止の見込み。
	原則オンライン授業。	12月14日より原則活動禁	学内より感染者も出てお

広島修道大学		止。	り、今後の見通しは立ってはいない。
近畿大学工学部	オンライン授業と対面授業を交互に行っている。	特に規制なし。	今後の見通しは大学より示されてはいない。
広島大学	オンライン授業と一部対面授業。	12月2日より禁止。	学内で感染者が相次いでおり、今後の見通しが立たない。
岡山大学	オンライン授業が大半。一部対面授業。	感染症対策をしつつ、活動中。	今後、活動規制もありうる。
岡山理科大学	実験等、必要に応じて対面授業。オンライン授業もある。	特に規制なし。	今後の見通しは大学より示されてはいない。
島根大学	対面授業とオンライン授業を併用。	特に規制なし。県外移動は許可が必要。	今後の見通しは大学より示されてはいないものの、感染拡大地域への帰省自粛は呼びかけられている。
鳥取大学	キャンパスによっては全面オンライン授業。オンライン授業と対面授業を併用。	県外移動は原則禁止。活動は可能。	感染症対策を講じていれば禁止はない見通し。

中国地区女子 活動状況のまとめ(2020年12月22日付)

大学名	授業について	活動状況	今後の見通し
IPU環太平洋大学	対面授業とオンラインの併用、年始のみ一週間全てオンライン授業に変更	練習については通常通り。対外試合・宿泊合宿については2月末まで禁止(公式戦を除く)	全国的な動向にもよりますが、3月からは緩和されると予測されます。
美作大学	通常授業	練習については通常通り。対外試合・宿泊合宿については当面禁止	不明
中国学園大学	通常授業	毎日、検温等健康チェックをしながら活動中。	全国の感染者数が落ち着くまでは他チーム等との接触は避け、本学の部員だけの練習。詳しくはこれから検討。
鳥取大学	授業は基本オンライン、対面でないとできない授業に関しては対面。	体調などに気を使って活動しています。	人数が足りていないので新入生が入ってくるまでは試合はできない。
安田女子大学	通常授業	県外移動は原則禁止。活動は可能。	感染症対策を講じていれば禁止はない見通し。
広島大学	対面とオンラインの両方で行われている。	12月に広島大学の部活生からコロナ感染者がでたことで、12月2日から活動が中止。	部活再開の見通しが一切たっていないため、未定。

四国地区

四国地区の取組について

四国地区常任理事 伊勢 幸広（高知工科大学）

このたび、コロナ禍の影響を受け、各地区の取組の様子を記しておきたいとの考えのもと、整理しました。

1. 地区の状況について

登録チームは、男子7チーム、女子2チームという状況で、かつ、比較的、国公立大学の割合が高い地区でもあると考えている。（男子は7チーム中5チーム、女子は2チーム中1チーム、合計9チーム中6チームが該当。）

緊急事態宣言が発出されたのちは、大学独自の基準に基づく判断というよりも、国あるいは県といったレベルでの決定に即した対応が見受けられ、私立大学に比べ、課外活動が十分にできない、または、禁止されているといった期間が、非常に長かったのではないかと感じる。四国地区は、関東や関西と比較した場合、全国的にも新型コロナウイルス感染症の感染者数としては少ない地区として感じていたが、大学での対応はそれに準じたものではなかったとも思われる。

なお、代替大会（全国大学選抜ソフトボール選手権大会）への出場チームの選出を行う際にも、その大学ごとでの決定の違いが大きく影響することとなった。その影響もあり、予選会を実施することなく、代表チームを選出することにもつながった。

また、四国4県のソフトボール協会（主管：香川県ソフトボール協会）のご協力やご支援を受け、10月4日（日）の1日のみではあったが秋季大会を開催することができ、男子の全7チームが感染症対策を講じながらではあったが大会への参加が叶った。

2. 代替大会（全国大学選抜ソフトボール選手権

大会）への出場チームの選考について

8月初旬に、「全国大学選抜ソフトボール選手権大会」の詳細が決定され、それを踏まえ、四国地区の各チームの代表者と数回に渡り、オンラインでの会議を実施し、各大学の状況や出場への意思を確認することとする。

具体的な日程（9月中旬）を示し、予選会を開催した場合に、1. 一部の県のみが著しい活動制限がかけられていること、2. 大学からの活動も制限が課せられており、対外試合への参加が難しいなどの状況であったチームとしては出場したいとの意向を示しても大学からの許可が下りず、参加がどうしても叶わない大学ができることが容易に想定されることから、予選会を実施しての代表チームを選出すること自体が適当ではないとの意見などが挙げられ、再度、大学の各チームでの選手の意向などを丁寧に確認し、出場チームを選出したいとの議論となった。

最終的には、8月25日の会議にて、各大学に出場する機会が少しでも与えられる方法での選考が好ましいとの考えから、過去の実績（3年間の勝利を勝ち点で計算）での推薦順位を決定し、各チーム内の意向や大学からの支援の在り方などを踏まえ、地区での選出チームを決定することとなった。

そののち、代表チームの推薦順位は、1位から、高知工科大学、香川大学、徳島大学、松山大学、高知大学、愛媛大学、四国大学の順となったが、各チームの大学からの支援の状況やチーム内での検討を踏まえた結果、9月2日の会議にて、香川大学を四国地区代表チームとして決定した。

3. 秋季大会について

当初の予定では、男子7チームが2日間で変

則リーグ戦形式での試合を行う予定であったが、各県における新型コロナウイルス感染症の感染状況や大学の支援など、様々な状況を鑑みて、10月4日(日)の1日のみでトーナメント形式での開催となった。

実際に、大会実施の2週間前から健康チェックシートにて、検温や体調変化の記録を残し、体調不良者は出場を見合わせ、2週間以内に県外移動をした関係者はチームに同行しないなど、大会開始前からの取組も徹底し、開催にこぎつけた。

また、その対策における指針や感染症対策を示すガイドラインを各チームの代表者たちと作成するなどし、大会の実施に向けて、各大学の選手たちが主体となり、香川県ソフトボール協会の皆様をはじめ、関係者へ対し、ご理解とご協力を仰ぐ形での開催となった。

4. 大会記録

1) 代替大会予選について

・男子チーム

協議の結果、香川大学男子ソフトボール部を四国地区代表とする。

・女子チーム

割り当てなし。

2) 秋季大会(男子のみ)について

大会名：令和2年度四国地区大学男子ソフトボール秋季大会

日 時：令和2年10月4日(日)

場 所：香川県坂出市総社グラウンド

参加数：7チーム(愛媛大学、松山大学、香川大学、徳島大学、四国大学、高知大学、高知工科大学)

結 果

優 勝：高知工科大学

準優勝：徳島大学

第三位：香川大学、愛媛大学

資料

四国地区秋季大会開催におけるガイドラインについて

愛媛大学ソフトボール部
松山大学ソフトボール部
香川大学男・女ソフトボール部
徳島大学ソフトボール部
四国大学ソフトボール部
高知大学ソフトボール部
高知工科大学ソフトボール部
四国地区大学連盟 役員

このたび、四国地区大学ソフトボール連盟(四国地区に所属している各チームの学生を含む)は、新型コロナウイルス感染症への感染及び感染拡大を予防しつつ、大会開催に向けてご尽力いただいているソフトボール協会の皆様、また、審判及び記録員をはじめとする関係者の皆様へのご理解やご協力をお願いするにあたって、各チームが取り組むべき対策を検討し、ガイドラインとして取りまとめました。

各チームが大会開催の可否に関わらず、本ガイドラインを遵守し、このコロナ禍の環境下においても

全力を尽くすことに努めます。

1. 大会開催の基準について（大会中止の要件）

以下の項目に当てはまる場合は、四国地区大学ソフトボール連盟において、開催の可否について協議を行うこととする。

- 1) 四国地区における登録チームの半数以上のチームがエントリーできなかった場合。
- 2) 各県において、県を越える行動制限が課せられた場合。
- 3) 開催都道府県（香川県）において、大会前日までに、1週間当たり人口10万人に2.5人以上の感染者数が確認された場合。また、香川県を含まない他の複数県において同様の感染者数が確認された場合。（※データ参照：JX通信社/FASTALERT）
- 4) 大会に参加する大学の校内でクラスターが発生した場合。

2. 大会開催期間前における感染予防対策について

- 1) 各チームにおける大会参加予定者は、大会開催2週間前から健康観察期間を設け、体調管理に留意する。

※1日1回、必ず検温し、健康観察記録をつける。

なお、その記録がない者は大会当日チームに同行できないこととする。

- 2) 外出する際は必ずマスクを着用するようにする。アルコールによる手指消毒、手洗いをを行う。
- 3) 人が集まる可能性のある場所（繁華街など人気の多い場所）へ行くことを控える。
- 4) 練習以外、大人数（5人以上）での集まりは避ける。
- 5) 大会2週間前には県外への移動や帰省を行わない。（県外で滞在していても、二週間前には戻るようにする）。
- 6) 帰省している友人と会わない。

3. 大会開催当日の移動について（※移動時は、必ずマスクを着用することとする。各チームアルコール消毒液も所持しておく。）

- 1) 県を越えての移動となる場合であっても、公共交通機関は使用しない。
- 2) 集合場所で検温をする。
- 3) チームでの集合後は、速やかに大会開催されるグラウンドへ移動する。
- 4) サービスエリアなどの休憩所においても、チーム関係者以外との接触は限りなく避けるようにし、事前に計画的に行動するようにする。（感染者が出た際のために行動を記録しておく）。
- 5) 食事や試合時における必要物品の購入においても、チームの移動開始前（県を越える前）に行っただうえで大会開催県に入り、速やかにグラウンドへ移動する。
- 6) マスクを着用し、車での移動時なども安全を確保したうえで、定期的に換気を行いながら移動する。

4. 大会開催時（グラウンド）での行動について（試合前）

- 1) グラウンド到着後は、速やかに大会本部へ到着の報告を行い、その指示に従う。
- 2) 試合開始までは、他のチーム同士が接触を行わないよう行動する。
- 3) 試合中と同様に同チーム内でも接触をなるべく避ける。
- 4) グラウンド内でも可能な限り、マスクを着用する。

また、会話も必要最低限のものに留める（試合に関する事のみ）。

5) ベンチへの入場及び退場は速やかに行う。

5. 大会開催時（グラウンド）での行動について（試合中）

- 1) 試合の開始や終了（挨拶等）については、審判の指示に従う。
- 2) ベンチ内では、可能な限りソーシャルディスタンス（推奨2m、最低1m）を保つように配慮する。
- 3) 出場選手も含めベンチ内では可能な限り、マスクを着用する。
- 4) 選手は指をなめないように十分に注意する。目や目元を触れる場合には、手を洗うか消毒するなどして行う。
- 5) バットはなるべく同一の選手が回収を行う。回収後には、そのバットを適切に消毒することを推奨する。
- 6) イニング終了時など、適宜、ヘルメットやバットの消毒を行う。
- 7) 打ち合わせ（タイム）の際は、常にソーシャルディスタンスを保つよう配慮する。
- 8) ベンチ内の飲水用コップ、タオル、ロジンバック、メガホン等は共用しない。
- 9) 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体接触を避ける。
- 10) 試合終了時にはベンチを消毒する。

6. 大会開催時（グラウンド）での行動について（試合後）

- 1) 試合の終了後は、速やかにグラウンドから移動し、各チームが自県に戻るよう行動する。
- 2) 帰省途中での休憩所や食事の購入のための立ち寄りも可能な限り控え、チーム関係者以外との接触は限りなく避けるようにする。
(万が一、陽性者との接触が認められた場合、保健所の判断によるが、大会参加者全員の行動把握が必要になるケースも想定し、行動を行う。)
- 3) マスクを着用し、車での移動時なども安全を確保したうえで、定期的に換気を行いながら移動する。
- 4) 大会後大人数（5人以上）での打ち上げは避ける。

7. その他

- 1) 厚生労働省が開発した「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA：COVID-19 Contact Confirming Application）」を各チーム関係者がインストールし、活用することとする。
- 2) 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染の症状がでた場合は、速やかに四国地区大学連盟に報告することとする。



九州地区

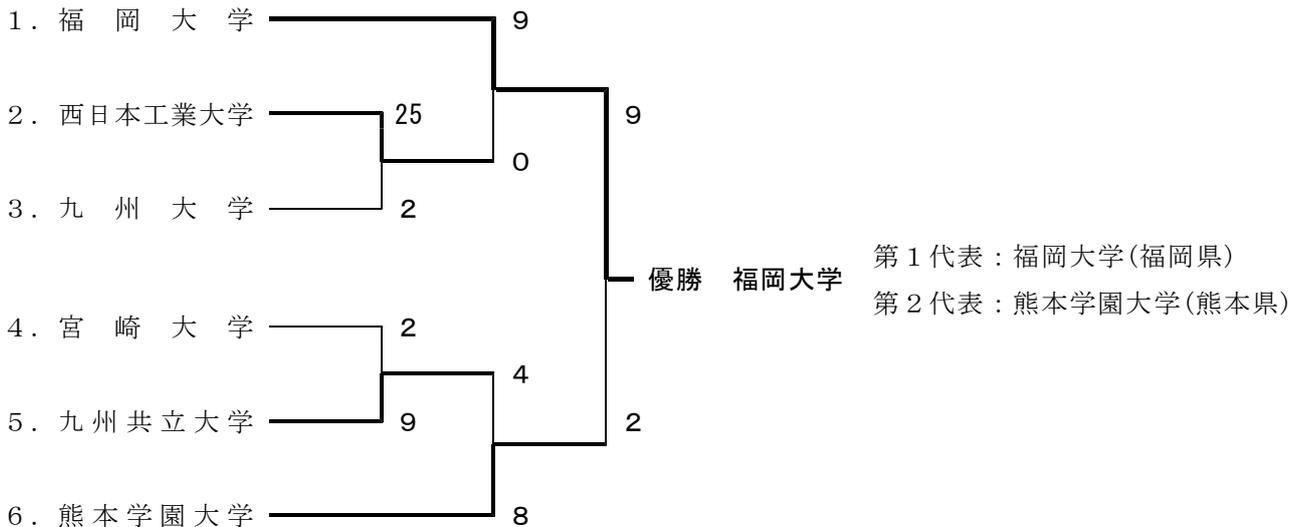
全国大学選抜男女選手権大会九州地区予選

九州地区大学常任理事 濱 貴一（熊本学園大学）

【男子】

日程：令和2年9月20日（日）

会場：福岡県京都郡みやこ町犀川運動公園運動場



【女子】

日程：令和2年9月26日（土）

会場：日本文理大学ソフトボール場

チーム	日本文理	福岡	九州共立	勝	分	敗	順位
日本文理大学	○	○10-0	○1-0	2	0	0	1
福岡大学	●0-10	○	●0-4	0	0	2	3
九州共立大学	●0-1	○4-0	○	1	0	1	2

代表：日本文理大学(大分県)

第20回九州地区大学（男子・女子）ソフトボール秋季大会

会 期：令和2年11月7日(土)～8日(日)

会 場：福岡県北九州市ひびきコスモス運動場

【男子】

予選リーグ戦

Aパート	福 岡	大 分	宮 崎	順位
福 岡	-	○ 7-0	○ 18-0	1
大 分	● 0-7	-	○ 10-5	2
宮 崎	● 0-18	● 5-10	-	3

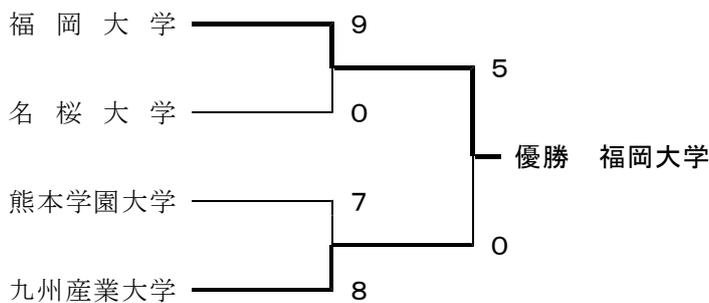
Bパート	九 州	共 立	産 業	順位
九 州	-	● 7-16	● 0-9	3
九州共立	○ 16-7	-	● 1-4	2
九州産業	○ 9-0	○ 4-1	-	1

Cパート	熊 学	名 桜	西日本	順位
熊本学園	-	○ 3-2	○ 6-1	1
名 桜	● 2-3	-	○ 6-3	2
西日本 工 業	● 1-6	● 3-6	-	3

※上位4チーム決定方法

- (1)各パートの1位大学
- (2)各パートの2位大学で総失点が少ない大学
- (3)(2)で決まらない場合は得失点差が多い大学

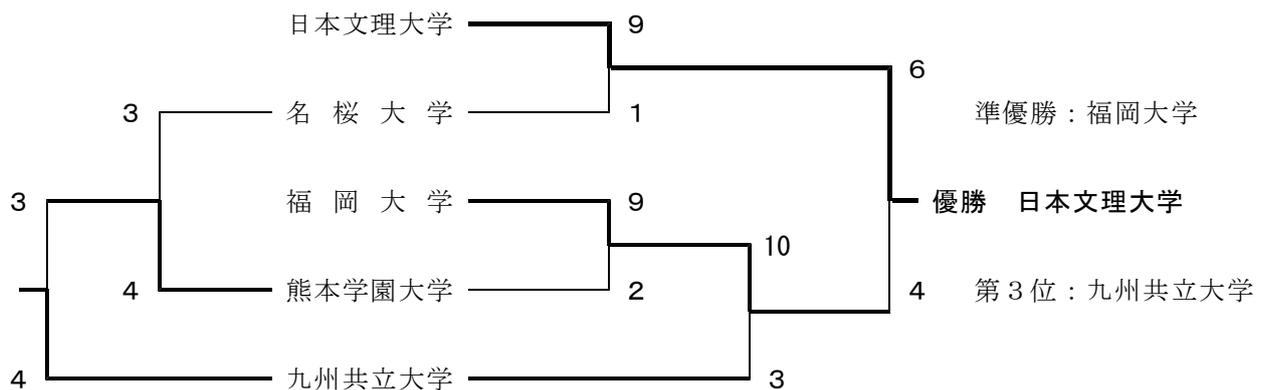
決勝トーナメント



準優勝：九州産業大学

第3位：名桜大学・熊本学園大学

【女子】



準優勝：福岡大学

優勝：日本文理大学

第3位：九州共立大学

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

大会概要

副理事長（男子担当）柳田 信也

1. 開催に向けて

全日本大学選手権大会（インカレ）の延期、中などの審議を続けていた7月の段階で、既に富山県協会竹島正隆副会長、廣瀬修理事長は10月31日・11月1日の会場が確保できている旨を伝えてくださっていた。結論から申し上げれば、このことが核心的に大きなポイントであったと考えている。男子大会の開催においては、細かい調整、当然のことながらの感染症対策が求められたことは、ここに記するまでもない事象であるが、極めて早い段階から富山県協会が大会を“実施する”強い意志と後押しをくださっていたことが開催を実現できた根幹であると今振り返っても強く胸に響くことである。富山県協会の熱意には感謝の念に堪えないばかりではなく、ソフトボールに携わる者として敬服するばかりである。

冒頭より、このようなことを述べるのは忍びない気持ちも聊か感じられるものの、正直なところでいえば、開催に向けた最も大きな障壁は運営費の捻出であった。私自身もこれまでのインカレにおいて、毎年の会計報告に目を通してはいながらも、現実的なこととして受け止めていなかった部分は否めないが、この規模の大会を実施する上では、これほどまでに人・物、何よりも資金の動きが必要なものと痛感した次第である。

準備を開始した当初、大学男子ソフトボールに対するスポンサーが集まるのか？というような悲観的な意見も多く見られた。しかし、私の個人的な考えとしては「学連男子にはいわゆる難関校、名門校が多く存在し、巣立っていったOB諸氏が大きな力になっているはずだ」と漠然と思うところがあった。折しもそのタイミングで、岡野孝祐氏（埼玉県庁クラブ・立命館大学OB）から、「イン

カレが中止になったと聞いた。現役をサポートしたい。」と感涙の連絡を受け、個人的につながりのある石村寛氏（愛媛ウエスト監督・関西大学OB）、吉村啓氏（平林金属監督・中京大学OB）にご協力を頂き、一気に学連OBによる支援体制が拡大し、その輪は保護者の皆様やソフトボール愛好家、日頃から私たちを支えてくださっている審判員や記録員の方々にまで広がりを見せ、大会開催に向けた大きな原資を得ることができた。実際的な安堵と共に、学連の歴史を極めて肯定的に捉えることができることができ、新型コロナがもたらしたポジティブな事象であったのではないかと感じている。

このOBを中心とした支援に加え、今大会はメインスポンサーとして住吉グループ、住吉工業株式会社に想像を絶するご支援を頂いている。担当した私自身が申し上げることを憚る思いも強いが、この社会的混乱下で日本ソフトボール協会の資金的な援助がなく、この大会が開催できた裏には住吉グループの存在があるということを広く、そして後世にも残しておくべきだと強く感じるが故に、記しておくこととする。住吉グループ・住吉工業株式会社は実業団として男子ソフトボールチームを持ち、全日本総合選手権本戦を勝ち進んだこともある強豪でもある。その社長であられる中村成志氏、ソフトボール部監督であられる坂口博行氏のソフトボール、ひいては“スポーツ全体に対する貢献”という強く、熱い気持ちがこの大会の原動力であった。また併せて、大学連盟全体へご協賛をいただいた戸田中央医科グループからのご支援も、本大会の運営にあたって大きな支えとなった。ここに記して深謝の意を表したい。いずれにせよ、この大学男子OBの力、企業力は今後の学連運営において極めて重要な事象であり、平常に戻ったとしてもコロナからのレジリエンスとして生かしていきたいことであると考えている。

2. 現地での対応、対策等を含めた開催中の様子について

非常に雄大な敷地を要する富山市岩瀬スポーツ公園において、もっとも困難なことは人の流れの制御であったと考えている。結果的にはロープで広く規制線をはり、フェンスで囲まれた試合場内へは関係者以外の立ち入りを禁止することでゾーンニングを行い、大会を実施した。このことは、専用のスタジアムが極めて少ないソフトボール競技において、今後の有料化、有観客試合等を検討する上でも重要な試金石になると考えている。

その他、一般的な感染予防対策については受付の検温や来場者管理も極めてスムーズに進んでいたと感じられ、一般利用者も含めたトラブル等はむしろ例年よりも少なかったのではないかとすら思えた。関係者全員が高い意識の中で協力体制を取ってくれたと感謝している。また、各地の予選会等で感染予防を施しながらの試合運営を経験した上での大会であったこともこのスムーズさに大きく貢献していたと感じている。

3. 試合内容について

今大会の競技としての総括は、何よりも試合中継をUNIVASからの委託でご担当いただいた製作会社の方の、「今年はレベルが高いですね」の一言に集約されると考えている。これは昨年の中継を担ったうえでの感想であることは言うまでもないことであり、大学男子ソフトボールの競技レベルを再考しなければならない重要な意見であると受け止めている。

試合については、新型コロナによる活動自粛をすべてのチームが経験し、例年よりも練習量が少ない状態であった中で、小山投手（日本体育大学）、海邊投手（福岡大学）などアンダーカテゴリーから日本代表として活躍を続けている選手たちが順当な力量を発揮した。これは一貫した育成体制の効果を感じられ、非常に喜ばしいことである。また、環太平洋大学の景山投手、国際武道大学の中島投手など光り輝くルーキーの登場もあり、絶対的な存在であった“小山玲央”の後を継ぐ学連のスターとして成長していったほしいと期待し

ている。

日本体育大学の実質的な4連覇という快挙は賞賛するばかりであるが、それに続くライバルの存在なくして、全体の強化は図れないと考えられるため、各地区で対策を実施していかねばならないだろう。そして、まさに『Postコロナ』として、新たな時代のスタートを感じさせる今大会であったと数年後に感じられるようにしていきたいものである。

大会講評

広報記録部長 水谷 博

本大会は、(公財)日本ソフトボール協会と全日本大学ソフトボール連盟の共催で毎年夏に開催されている文部科学大臣杯全日本大学男子ソフトボール選手権大会がコロナ禍の元で中止されたため、その代替大会として開催されたものである。そこにこぎ着けるまでの道のりは決して平坦ではなかったが、(一社)富山県ソフトボール協会の男子ソフトボールに対する熱い思いと強い意志があり、学連役員らの努力とそれを支えた選手達の熱意があった。さらに、学連OBや選手の保護者などの大きく暖かい支援もあった。また、スポーツ庁・富山県・富山市などの行政機関や新聞社・放送局などの多くの報道機関のご理解やご協力があったはじめて開催できたものと思われる。記して感謝申し上げます。

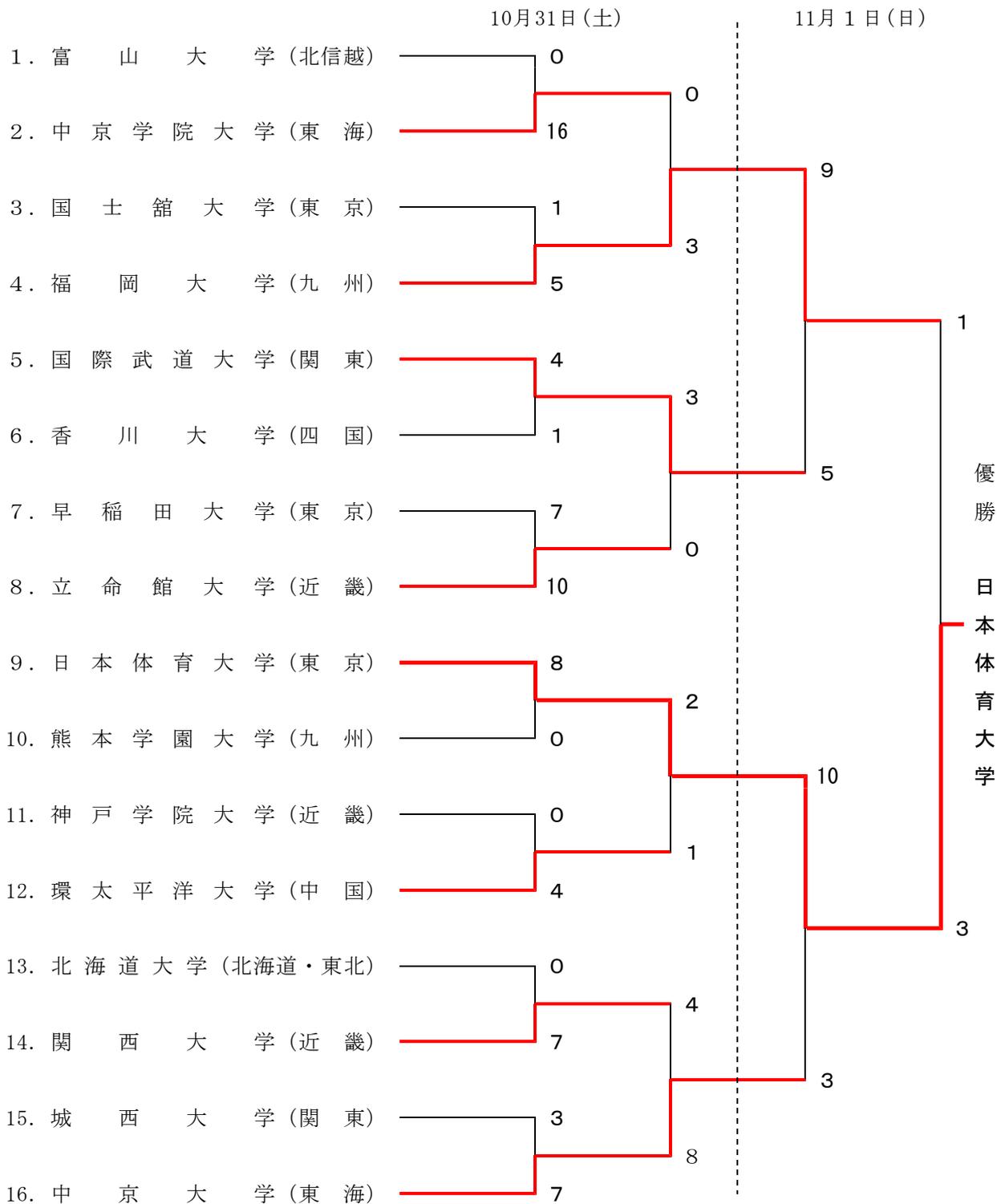
大会の監督会議はリモート、開会式はなし、出場チームはインカレの半分の16、大会期間も2日間、やや寂しい大会になるかと思われたが、1回戦が始まると大会は一気に盛り上がった。そこには男子ソフトボールに求められるスピードと力強さはもとより、何より必死に1球を追う選手達の真摯な姿があった。

中でも、2回戦の日本体育大学×環太平洋大学戦は、0-0でタイブレークにもつれ込む接戦となり、8回に両チームが1点を挙げて10回に日体大がサヨナラ勝ちを収めた。両投手の熱投と何とか得点しようとする打者と走者、それを必死に食い止めようとする守備は長く記憶に留まるだろう。

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

会期：令和2年10月31日(土)～11月1日(日)

会場：富山県富山市／岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場



全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 1

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	A
開始時間 : 08時30分	終了時間 : 10時07分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間37分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	得点差コールド
中京学院大学	1	2	5	0	8										16	
富山大学	0	0	0	0	0										0	

	中京学院大学	富山大学		中京学院大学	富山大学
バッテリー	(投手) ○田上 順也	(投手) ●森康 希	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本) 森 紀世彦 池端 謙太 貫野 隼一郎	
	(捕手) 森 紀世彦 三島 隆輝	(捕手) 宮崎 航輔		(三) 高木 頌太 池端 謙太 (二) 寶田 優斗 南村 海斗 三島 隆輝	

戦評

中京学院大学、長打8本で圧勝

中京学院大学は先発全員安打を記録、5回表には本塁打2本、三塁打2本、二塁打2本などで大量8点を奪い試合を決めた。

富山大学は一回一死一・二塁の好機を掴むも後続が絶たれ得点できず完封を喫してしまった。

球審	高桜 才知	副審1	篠原 和夫
一塁塁審	村上 伸夫	副審2	梅田 利弘
二塁塁審	作内 星児	記録員	松村智佐代
三塁塁審	水井真由美	放送員	武田 奈々

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 2

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	A
開始時間: 10時39分	終了時間: 12時52分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 02時間13分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
福岡大学	0	1	0	0	0	1	3								5
国土館大学	0	0	0	0	0	1	0								1

	福岡大学	国土館大学		福岡大学	国土館大学
バッテリー	(投手) ○海邊 和也	(投手) ●揚村 大誠	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)根津 祐作 (二)堀内 章吾 山下 太一	(二)外間 建雄 河本 悠司
	(捕手) 根津 祐作	(捕手) 星 直輝			

戦評

福岡大学、16奪三振で逃げ切る

福岡大学は、2回根津の右越え本塁打で先制。6回に1点を加点、7回には山下の左翼線二塁打を足掛りの3得点でダメ押し、試合を決めた。

国土館大学は、6回河本が左翼二塁打で出塁、星の右前タイムリーで1点差に詰め寄るの相手投手海邊の好投に力尽きた。

球審	金平 恭一	副審1	作内 星児
一塁塁審	濱田 宏一	副審2	水井真由美
二塁塁審	丸山 幹男	記録員	加藤 慎吉
三塁塁審	山崎 豊次	放送員	武田 奈々

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 3

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	B
開始時間 : 08時29分	終了時間 : 10時09分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間40分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
国際武道大学	0	2	2	0	0	0	0								4
香川大学	1	0	0	0	0	0	0								1

	国際武道大学	香川大学		国際武道大学	香川大学
バッテリー	(投手) ○田中 裕海	(投手) ●内 伸泰	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(三)西浦 龍	
	(捕手) 西浦 龍	(捕手) 中嶋 響士		(二)菅野 博和	

戦評

国際武道大学 逆転で準々決勝進出

国際武道大学は、1点を追う2回山本、伊藤が四球を選び無死一・二塁から送りバントなどで同点、さらに山崎の犠飛で逆転。3回には西浦の中越え三塁打などで2点を加点し勝利した。

香川大学は、1回に内の四球での出塁から守備の乱れに乗じて先制したものの逆転された、田中投手は4回以降無失点で粘り、自軍の反撃を待ったが相手投手の前になすすべがなく敗れた。

球審	清水 清和	副審1	笹原日出男
一塁塁審	丸田 信夫	副審2	松井 光雄
二塁塁審	石坂 彰弘	記録員	石田 稔
三塁塁審	武内 文男	放送員	三鍋 恵子

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 4

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	B
開始時間: 10時40分	終了時間: 13時13分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 02時間33分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
立命館大学	0	1	0	0	1	5	3								10
早稲田大学	3	2	0	0	0	2	0								7

	立命館大学	早稲田大学		立命館大学	早稲田大学
バッテリー	(投手) ○佐藤 夏己	(投手) 山内 壮起 ●松下 直矢 山内 壮起	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(二)成房 龍樹 山本倫大朗 倉澤 尚吾	(三)浅田 剛志
	(捕手) 成房 龍樹	(捕手) 澤 優輝			

戦評

立命館大学、終盤に逆転

立命館大学は、同点に追いつかれて迎えた7回表佐藤・橋本の連続タイムリーヒットで勝ち越し勝利した。

早稲田大学は、立命館の投手佐藤の立ち上がりを捉えて2回までに5点を奪うなど有利に試合を運んだに見えたが、粘る立命館大学に力尽き涙を飲んだ。

球審	原井 清和	副審1	石坂 彰弘
一塁塁審	作道 國幸	副審2	武内 文男
二塁塁審	山本 秀夫	記録員	宮本 純子
三塁塁審	位寄 貴光	放送員	三鍋 恵子

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 5

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	C
開始時間 : 08時29分	終了時間 : 09時56分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間27分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	得点差コールド
熊本学園大学	0	0	0	0	0										0	
日本体育大学	3	0	1	4	X										8	

	熊本学園大学	日本体育大学		熊本学園大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ●松永 総司 出水 淳貴	(投手) ○福地 廉 野本 誠士	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)濱田 慎 調 和政②	
	(捕手) 村上 隆生	(捕手) 調 和政			

戦評

日本体育大学 3本の本塁打で圧勝

日本体育大学は、1回濱田の左翼越え3点本塁打で先制。4回には調のこの日2本目となる左翼越え本塁打などで4点を加え試合を決定付けた。

熊本大学は、5回に代打の福田、坂本の内野安打で一死一二塁と得点圏にランナーを進めるも、後続が絶たれ完封負けを喫した。

球審	岡田 清人	副審1	中川 外明
一塁塁審	青木 実	副審2	行平 憲一
二塁塁審	浜井 明	記録員	安達 和輝
三塁塁審	倉田 宗平	放送員	牧野理香奈

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 6

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	C
開始時間: 10時32分	終了時間: 12時31分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間59分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
環太平洋大学	1	0	0	0	0	0	3								4
神戸学院大学	0	0	0	0	0	0	0								0

	環太平洋大学	神戸学院大学		環太平洋大学	神戸学院大学
バッテリー	(投手) ○井上裕太郎	(投手) ●奥田 拓海	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本) 岩松 近良	
	(捕手) 岩松 近良	(捕手) 檀上 芳希		(三) 谷口 将隆	

戦評

環太平洋大学 1 1 奪三振で完封

環太平洋大学は、1回谷口の左翼線への三塁打で先制、7回一死一・二塁から岩松右翼越え3点本塁打でダメ押しで勝利を手にした。

神戸学院大学は、7回久田の三遊間への安打、森中の右翼前打で無死一・二塁の好機を作るも後続を絶たれ奥田投手を援護することが出来なかった。

球審	三浦 勇	副審1	浜井 明
一塁塁審	荒木 政雄	副審2	濱田 宏一
二塁塁審	朝野 悦男	記録員	村井 慎吾
三塁塁審	利田 敏夫	放送員	牧野理香奈

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 7

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	D
開始時間 : 08時30分	終了時間 : 09時50分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間20分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	得点差コールド
北海道大学	0	0	0	0	0										0	
関西大学	5	0	0	2	X										7	

	北海道大学	関西大学		北海道大学	関西大学
バッテリー	(投手) ●佐藤雄太郎	(投手) ○和田 龍馬	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(三) 田中 大輝	大輝
	(捕手) 吉田 新佑	(捕手) 田中 大輝		(二) 栗井 朋弥	朋弥
				藤井 浩貴	浩貴

戦評

関西大学 1回打者 1巡の猛攻で試合を決める。

関西大学は、1回栗井の左翼二塁打、田中の右翼三塁打、藤井の二塁強襲安打など5安打で大量5点を挙げる。4回にも2点を加点し試合を決めた。

北海道大学は、和田投手に11三振を奪われ、なす術なく敗れた。

球審	山下今朝夫	副審1	坂井多鶴夫
一塁塁審	渡辺 幸浩	副審2	森 克己
二塁塁審	宮ヶ丁 治	記録員	中陣 和代
三塁塁審	五十嵐和敏	放送員	井村小百合

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 8

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	D
開始時間: 10時24分	終了時間: 12時56分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 02時間32分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京大学	0	3	0	0	1	2	1								7
城西大学	1	0	1	0	1	0	0								3

	中京大学	城西大学		中京大学	城西大学
バッテリー	(投手) ○守屋ダニエル 湯浅彰一郎	(投手) ●工藤 駿 後藤 真誓	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(三)菊川 智己 (二)中谷 玖都	(本)島田 真尋 (二)石井 海士
	(捕手) 産屋敷尚哉	(捕手) 佐藤 青鷹			

戦評

中京大学、小刻みに加点し逃げ切る。

中京大学は、1点先制されて迎えた2回中谷の二塁打などで3点を奪い逆転。その後両チームが小刻みに点を重ねるが2回以降リードを保ち逃げ切った。

城西大学は、初回島田が守谷投手から本塁打で先制し、その後も粘りを見せるが、勝利には届かなかった。

球審	石田 浩	副審1	宮ヶ丁 治
一塁塁審	二塚 敦	副審2	五十嵐和敏
二塁塁審	山岸 秋雄	記録員	齊藤 まり
三塁塁審	仲本 良一	放送員	井村小百合

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 9

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	準々決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	A
開始時間 : 13時35分	終了時間 : 14時55分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間20分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京学院大学	0	0	0	0	0	0	0								0
福岡大学	0	1	0	0	2	0	X								3

	中京学院大学	福岡大学		中京学院大学	福岡大学
バッテリー	(投手) 田上 順也 ● 寶田 優斗 (捕手) 森 紀世彦	(投手) ○ 海邊 和也 (捕手) 根津 祐作	長打 (本塁打・三塁打・一塁打)		(三) 日高 慶明

戦評

福岡大学、1安打完封。

福岡大学は、2回山川のタイムリーヒットで手堅く1点を奪い先制、5回には相手チームの守備の乱れを誘い2点を加点し勝利した。

中京大学の打線は、好投手海邊の前に奮闘かなわず1安打に抑えられてしまった。

球審	中澤 亨	副審1	丸山 幹男
一塁塁審	笹野 雄治	副審2	山崎 豊次
二塁塁審	篠原 和夫	記録員	松村智佐代
三塁塁審	梅田 利弘	放送員	武田 奈々

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 10

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	準々決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	B
開始時間 : 13時52分	終了時間 : 15時27分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間35分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
立命館大学	0	0	0	0	0	0	0								0
国際武道大学	0	0	2	1	0	0	X								3

	立命館大学	国際武道大学		立命館大学	国際武道大学
バッテリー	(投手) ●佐藤 夏己	(投手) ○中島 翼	長打 (本塁打・三塁打・一塁打)		(二)西浦 龍
	(捕手) 成房 龍樹	(捕手) 西浦 龍			

戦評

国際武道大学、粘り強く接戦を制す。

国際武道大学は3回2死から2番西浦の二塁打で先制、さらに相手の守備の乱れもありこの回2点を挙げる。4回にも四球で出塁したランナーを7番石井のタイムリーヒットで1点追加。少ないチャンスを生かし勝利を掴んだ。

立命館大学は相手投手中島に9三振を奪われるなど3安打に抑え込まれ得点できなかった。

球審	山口 哲央	副審1	山本 秀夫
一塁塁審	田中 一昭	副審2	位寄 貴光
二塁塁審	笹原日出男	記録員	石田 稔
三塁塁審	松井 光雄	放送員	増田由美子

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 11

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	準々決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	C
開始時間 : 13時16分	終了時間 : 15時42分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 02時間26分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
環太平洋大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					1
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1X					2

	環太平洋大学	日本体育大学		環太平洋大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ●景山 蓮	(投手) 福地 廉 ○小山 玲央	長打 (本塁打・三塁打・一塁打)		(三)西本 奈生
	(捕手) 岩松 近良 宮平 大空	(捕手) 調 和政			

戦評

日本体育大学、接戦を制す。

両チーム一步も譲らず、タイブレーカーに入った。日本体育大学は、10回裏タイブレーカー走者が三塁へ進むと古敷谷の内野安打で決着を付けた。

環太平洋大学は、昨年の王者をあと一步まで追い込んだが、勝利には手が届かなかった。

両チームの投手が合わせて30奪三振と手に汗握る投手戦は見応えがあった。

球審	花木 勲	副審1	朝野 悦男
一塁塁審	中川 外明	副審2	利田 敏夫
二塁塁審	倉田 宗平	記録員	山澤 隆弘
三塁塁審	中村 清志	放送員	牧野理香奈

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 12

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	準々決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	D
開始時間 : 13時40分	終了時間 : 15時55分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 02時間15分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京大学	1	1	0	0	3	0	3								8
関西大学	0	0	0	0	0	1	3								4

	中京大学	関西大学		中京大学	関西大学
バッテリー	(投手) ○守屋ダニエル 湯浅彰一郎 久本 廉	(投手) ●辰巳 大樹 和田 龍馬	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)菊川 智己 (二)高瀬 錬	(三)藤井 浩貴 (二)中岸 健登
	(捕手) 産屋敷尚哉 田辺 隼 産屋敷尚哉	(捕手) 田中 大輝			

戦評

中京大学、終盤に試合を決める

中京大学は、序盤に2点先制、5回に中押し3点、7回にも菊川の走者一掃の3点本塁打でダメ押しと理想的な展開で勝利した。

関西大学は、中盤まで打線が振るわず、7回に藤井の三塁打を含む4連続安打で3点を還すがあと一歩及ばず、涙を飲んだ。

球審	竹田 亮成	副審1	山岸 秋雄
一塁塁審	渡辺 満雄	副審2	仲本 良一
二塁塁審	坂井多鶴夫	記録員	松本 明夫
三塁塁審	森 克己	放送員	井村小百合

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 13

会場所在地: 富山県

第2日	2020年11月01日	準決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	D
開始時間 : 09時01分	終了時間 : 11時18分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 02時間17分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
国際武道大学	0	0	0	0	0	5	0								5
福岡大学	0	0	0	5	0	4	x								9

	国際武道大学	福岡大学		国際武道大学	福岡大学
バッテリー	(投手) 中島 翼 田中 裕海 ●中島 翼	(投手) 海邊 和也 廣藤 健徳 ○海邊 和也	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(二)中瀬 将輝	(本)平山 純也 金子 京介 (二)実松 悠仁
	(捕手) 西浦 龍	(捕手) 根津 祐作			

戦評

福岡大学、終盤に追いつかれるも振り切る

福岡大学は、同点に追いつかれて迎えた6回裏一死二・三塁から金子の2点本塁打など3連続安打で4点を奪い突き放した。

国際武道大学は、6回安藤の中前安打を足掛りに4本の安打で5点を還し同点としたが、救援の海邊投手を攻略することが出来ず苦杯をなめることになった。

球審	倉田 宗平	副審1	岡田 清人
一塁塁審	作道 國幸	副審2	山下今朝夫
二塁塁審	寺田 修康	記録員	曾田 朋子
三塁塁審	濱田 宏一	放送員	武田 奈々

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 14

会場所在地: 富山県

第2日	2020年11月01日	準決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	A
開始時間 : 09時00分	終了時間 : 10時57分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間57分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	得点差コールド
中京大学	3	0	0	0	0	0									3	
日本体育大学	2	0	1	0	3	4X									10	

	中京大学	日本体育大学		中京大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ●守屋ダニエル 湯浅彰一郎 (捕手) 産屋敷尚哉	(投手) 福地 廉 ○小山 玲央 (捕手) 調 和政	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)久本 廉 菊川 智己	(三)メンスジエラン秀吉 古敷谷 宗 中原 雄大 調 和政 (二)小山 玲央 中原 雄大

戦評

日本体育大学、終盤に打線爆発

日本体育大学は、先行されるものの3回までに追いつき、5回に古敷谷の走者一掃の三塁打で3点勝ち越し、6回にも長打3本を連ね決着を付けた。

中央大学は、1回先頭の久本が初球を中越え本塁打、4番菊川の2点本塁打で3点を先制したものの、2番手で登板した小山投手から追加点を奪うことが出来ず敗退となった。

球審	丸田 信夫	副審1	村上 伸夫
一塁塁審	田中 一昭	副審2	原井 清和
二塁塁審	利田 敏夫	記録員	松本 明夫
三塁塁審	中川 外明	放送員	牧野理香奈

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 15

会場所在地: 富山県

第2日	2020年11月01日	決 勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	A
開始時間 : 12時20分	終了時間 : 14時17分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間57分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
日本体育大学	0	0	0	0	3	0	0								3
福岡大学	0	0	0	0	1	0	0								1

	日本体育大学	福岡大学		日本体育大学	福岡大学
バッテリー	(投手) 野本 誠士 ○小山 玲央 (捕手) 調 和政	(投手) ●海邊 和也 (捕手) 根津 祐作	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(二)濱田 慎② 小山 玲央 古敷谷 宗	(二)重乗 寛人

戦評

4年間の集大成、日体大頂点へ！

日本体育大学は、5回表 調と濱田の連続タイムリーヒットで3点を奪い、投げても小山投手が福岡大学打線を10奪三振、被安打4本に抑え優勝の栄冠を手にした。

福岡大学の海邊投手は6回まで毎回走者を出しながら、10個の三振を奪う奮闘したが、打線がランナーは出すものの攻め手につけ1得点にとどまり勝利に手が届かなかった。

球審	笹野 雄治	副審1	利田 敏夫
一塁塁審	竹田 亮成	副審2	中川 外明
二塁塁審	村上 伸夫	記録員	林 雅子
三塁塁審	原井 清和	放送員	井村小百合

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 1

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	A
開始時間 : 08時30分	終了時間 : 10時07分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間37分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	得点差コールド
中京学院大学	1	2	5	0	8										16	
富山大学	0	0	0	0	0										0	

	中京学院大学	富山大学		中京学院大学	富山大学
バッテリー	(投手) ○田上 順也	(投手) ●森康 希	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本) 森 紀世彦 池端 謙太 貫野 隼一郎	
	(捕手) 森 紀世彦 三島 隆輝	(捕手) 宮崎 航輔		(三) 高木 頌太 池端 謙太 (二) 寶田 優斗 南村 海斗 三島 隆輝	

戦評

中京学院大学、長打8本で圧勝

中京学院大学は先発全員安打を記録、5回表には本塁打2本、三塁打2本、二塁打2本などで大量8点を奪い試合を決めた。

富山大学は一回一死一・二塁の好機を掴むも後続が絶たれ得点できず完封を喫してしまった。

球審	高桜 才知	副審1	篠原 和夫
一塁塁審	村上 伸夫	副審2	梅田 利弘
二塁塁審	作内 星児	記録員	松村智佐代
三塁塁審	水井真由美	放送員	武田 奈々

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 2

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	A
開始時間: 10時39分	終了時間: 12時52分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 02時間13分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
福岡大学	0	1	0	0	0	1	3								5
国土館大学	0	0	0	0	0	1	0								1

	福岡大学	国土館大学		福岡大学	国土館大学
バッテリー	(投手) ○海邊 和也	(投手) ●揚村 大誠	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)根津 祐作 (二)堀内 章吾 山下 太一	(二)外間 建雄 河本 悠司
	(捕手) 根津 祐作	(捕手) 星 直輝			

戦評

福岡大学、16奪三振で逃げ切る

福岡大学は、2回根津の右越え本塁打で先制。6回に1点を加点、7回には山下の左翼線二塁打を足掛りの3得点でダメ押し、試合を決めた。

国土館大学は、6回河本が左翼二塁打で出塁、星の右前タイムリーで1点差に詰め寄るの相手投手海邊の好投に力尽きた。

球審	金平 恭一	副審1	作内 星児
一塁塁審	濱田 宏一	副審2	水井真由美
二塁塁審	丸山 幹男	記録員	加藤 慎吉
三塁塁審	山崎 豊次	放送員	武田 奈々

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 3

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	B
開始時間 : 08時29分	終了時間 : 10時09分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間40分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
国際武道大学	0	2	2	0	0	0	0								4
香川大学	1	0	0	0	0	0	0								1

	国際武道大学	香川大学		国際武道大学	香川大学
バッテリー	(投手) ○田中 裕海	(投手) ●内 伸泰	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(三)西浦 龍 (二)菅野 博和	
	(捕手) 西浦 龍	(捕手) 中嶋 響士			

戦評

国際武道大学 逆転で準々決勝進出

国際武道大学は、1点を追う2回山本、伊藤が四球を選び無死一・二塁から送りバントなどで同点、さらに山崎の犠飛で逆転。3回には西浦の中越え三塁打などで2点を加点し勝利した。

香川大学は、1回に内の四球での出塁から守備の乱れに乗じて先制したものの逆転された、田中投手は4回以降無失点で粘り、自軍の反撃を待ったが相手投手の前になすすべがなく敗れた。

球審	清水 清和	副審1	笹原日出男
一塁塁審	丸田 信夫	副審2	松井 光雄
二塁塁審	石坂 彰弘	記録員	石田 稔
三塁塁審	武内 文男	放送員	三鍋 恵子

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 4

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	B
開始時間: 10時40分	終了時間: 13時13分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 02時間33分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
立命館大学	0	1	0	0	1	5	3								10
早稲田大学	3	2	0	0	0	2	0								7

	立命館大学	早稲田大学		立命館大学	早稲田大学
バッテリー	(投手) ○佐藤 夏己 (捕手) 成房 龍樹	(投手) 山内 壮起 ●松下 直矢 山内 壮起 (捕手) 澤 優輝	長打 (本塁打・三塁打・一塁打)	(二)成房 龍樹 山本倫大朗 倉澤 尚吾	(三)浅田 剛志

戦評

立命館大学、終盤に逆転

立命館大学は、同点に追いつかれて迎えた7回表佐藤・橋本の連続タイムリーヒットで勝ち越し勝利した。

早稲田大学は、立命館の投手佐藤の立ち上がりを捉えて2回までに5点を奪うなど有利に試合を運んだに見えたが、粘る立命館大学に力尽き涙を飲んだ。

球審	原井 清和	副審1	石坂 彰弘
一塁塁審	作道 國幸	副審2	武内 文男
二塁塁審	山本 秀夫	記録員	宮本 純子
三塁塁審	位寄 貴光	放送員	三鍋 恵子

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 5

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	C
開始時間 : 08時29分	終了時間 : 09時56分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間27分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	得点差コールド
熊本学園大学	0	0	0	0	0										0	
日本体育大学	3	0	1	4	X										8	

	熊本学園大学	日本体育大学		熊本学園大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ●松永 総司 出水 淳貴	(投手) ○福地 廉 野本 誠士	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)		(本)濱田 慎 調 和政②
	(捕手) 村上 隆生	(捕手) 調 和政			

戦評

日本体育大学 3本の本塁打で圧勝

日本体育大学は、1回濱田の左翼越え3点本塁打で先制。4回には調のこの日2本目となる左翼越え本塁打などで4点を加え試合を決定付けた。

熊本大学は、5回に代打の福田、坂本の内野安打で一死一二塁と得点圏にランナーを進めるも、後続が絶たれ完封負けを喫した。

球審	岡田 清人	副審1	中川 外明
一塁塁審	青木 実	副審2	行平 憲一
二塁塁審	浜井 明	記録員	安達 和輝
三塁塁審	倉田 宗平	放送員	牧野理香奈

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 6

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	C
開始時間: 10時32分	終了時間: 12時31分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間59分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
環太平洋大学	1	0	0	0	0	0	3								4
神戸学院大学	0	0	0	0	0	0	0								0

	環太平洋大学	神戸学院大学	環太平洋大学	神戸学院大学
バッテリー	(投手) ○井上裕太郎	(投手) ●奥田 拓海	(本) 岩松 近良 (三) 谷口 将隆	
	(捕手) 岩松 近良	(捕手) 檀上 芳希	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	

戦評

環太平洋大学 1 1 奪三振で完封

環太平洋大学は、1回谷口の左翼線への三塁打で先制、7回一死一・二塁から岩松右翼越え3点本塁打でダメ押しで勝利を手にした。

神戸学院大学は、7回久田の三遊間への安打、森中の右翼前打で無死一・二塁の好機を作るも後続を絶たれ奥田投手を援護することが出来なかった。

球審	三浦 勇	副審1	浜井 明
一塁塁審	荒木 政雄	副審2	濱田 宏一
二塁塁審	朝野 悦男	記録員	村井 慎吾
三塁塁審	利田 敏夫	放送員	牧野理香奈

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 7

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	D
開始時間 : 08時30分	終了時間 : 09時50分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間20分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	得点差コールド
北海道大学	0	0	0	0	0										0	
関西大学	5	0	0	2	X										7	

	北海道大学	関西大学		北海道大学	関西大学
バッテリー	(投手) ●佐藤雄太郎	(投手) ○和田 龍馬	長打 (本塁打・三塁打・一塁打)	(三) 田中 大輝	(二) 栗井 朋弥
	(捕手) 吉田 新佑	(捕手) 田中 大輝		(二) 栗井 藤井	藤井 浩貴

戦評

関西大学1回打者1巡の猛攻で試合を決める。

関西大学は、1回栗井の左翼二塁打、田中の右翼三塁打、藤井の二塁強襲安打など5安打で大量5点を挙げる。4回にも2点を加点し試合を決めた。

北海道大学は、和田投手に11三振を奪われ、なす術なく敗れた。

球審	山下今朝夫	副審1	坂井多鶴夫
一塁塁審	渡辺 幸浩	副審2	森 克己
二塁塁審	宮ヶ丁 治	記録員	中陣 和代
三塁塁審	五十嵐和敏	放送員	井村小百合

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 8

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	1回戦	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	D
開始時間: 10時24分	終了時間: 12時56分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 02時間32分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京大学	0	3	0	0	1	2	1								7
城西大学	1	0	1	0	1	0	0								3

	中京大学	城西大学		中京大学	城西大学
バッテリー	(投手) ○守屋ダニエル 湯浅彰一郎	(投手) ●工藤 駿 後藤 真誓	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(三)菊川 智己 (二)中谷 玖都	(本)島田 真尋 (二)石井 海士
	(捕手) 産屋敷尚哉	(捕手) 佐藤 青鷹			

戦評

中京大学、小刻みに加点し逃げ切る。

中京大学は、1点先制されて迎えた2回中谷の二塁打などで3点を奪い逆転。その後両チームが小刻みに点を重ねるが2回以降リードを保ち逃げ切った。

城西大学は、初回島田が守谷投手から本塁打で先制し、その後も粘りを見せるが、勝利には届かなかった。

球審	石田 浩	副審1	宮ヶ丁 治
一塁塁審	二塚 敦	副審2	五十嵐和敏
二塁塁審	山岸 秋雄	記録員	齊藤 まり
三塁塁審	仲本 良一	放送員	井村小百合

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 9

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	準々決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	A
開始時間 : 13時35分	終了時間 : 14時55分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間20分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京学院大学	0	0	0	0	0	0	0								0
福岡大学	0	1	0	0	2	0	X								3

	中京学院大学	福岡大学		中京学院大学	福岡大学
バッテリー	(投手) 田上 順也 ● 寶田 優斗 (捕手) 森 紀世彦	(投手) ○ 海邊 和也 (捕手) 根津 祐作	長打 (本塁打・三塁打・一塁打)		(三) 日高 慶明

戦評

福岡大学、1安打完封。

福岡大学は、2回山川のタイムリーヒットで手堅く1点を奪い先制、5回には相手チームの守備の乱れを誘い2点を加点し勝利した。

中京大学の打線は、好投手海邊の前に奮闘かなわず1安打に抑えられてしまった。

球審	中澤 亨	副審1	丸山 幹男
一塁塁審	笹野 雄治	副審2	山崎 豊次
二塁塁審	篠原 和夫	記録員	松村智佐代
三塁塁審	梅田 利弘	放送員	武田 奈々

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 10

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	準々決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	B
開始時間 : 13時52分	終了時間 : 15時27分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間35分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
立命館大学	0	0	0	0	0	0	0								0
国際武道大学	0	0	2	1	0	0	X								3

	立命館大学	国際武道大学		立命館大学	国際武道大学
バッテリー	(投手) ●佐藤 夏己	(投手) ○中島 翼	長打 (本塁打・三塁打・一塁打)		(二)西浦 龍
	(捕手) 成房 龍樹	(捕手) 西浦 龍			

戦評

国際武道大学、粘り強く接戦を制す。

国際武道大学は3回2死から2番西浦の二塁打で先制、さらに相手の守備の乱れもありこの回2点を挙げる。4回にも四球で出塁したランナーを7番石井のタイムリーヒットで1点追加。少ないチャンスを生かし勝利を掴んだ。

立命館大学は相手投手中島に9三振を奪われるなど3安打に抑え込まれ得点できなかった。

球審	山口 哲央	副審1	山本 秀夫
一塁塁審	田中 一昭	副審2	位寄 貴光
二塁塁審	笹原日出男	記録員	石田 稔
三塁塁審	松井 光雄	放送員	増田由美子

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 11

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	準々決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	C
開始時間 : 13時16分	終了時間 : 15時42分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 02時間26分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
環太平洋大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0					1
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1X					2

	環太平洋大学	日本体育大学		環太平洋大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ●景山 蓮	(投手) 福地 廉 ○小山 玲央	長打 (本塁打・三塁打・一塁打)		(三)西本 奈生
	(捕手) 岩松 近良 宮平 大空	(捕手) 調 和政			

戦評

日本体育大学、接戦を制す。

両チーム一步も譲らず、タイブレーカーに入った。日本体育大学は、10回裏タイブレーカー走者が三塁へ進むと古敷谷の内野安打で決着を付けた。

環太平洋大学は、昨年の王者をあと一步まで追い込んだが、勝利には手が届かなかった。

両チームの投手が合わせて30奪三振と手に汗握る投手戦は見応えがあった。

球審	花木 勲	副審1	朝野 悦男
一塁塁審	中川 外明	副審2	利田 敏夫
二塁塁審	倉田 宗平	記録員	山澤 隆弘
三塁塁審	中村 清志	放送員	牧野理香奈

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 12

会場所在地: 富山県

第1日	2020年10月31日	準々決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	D
開始時間 : 13時40分	終了時間 : 15時55分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 02時間15分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京大学	1	1	0	0	3	0	3								8
関西大学	0	0	0	0	0	1	3								4

	中京大学	関西大学		中京大学	関西大学
バッテリー	(投手) ○守屋ダニエル 湯浅彰一郎 久本 廉	(投手) ●辰巳 大樹 和田 龍馬	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)菊川 智己 (二)高瀬 錬	(三)藤井 浩貴 (二)中岸 健登
	(捕手) 産屋敷尚哉 田辺 隼 産屋敷尚哉	(捕手) 田中 大輝			

戦評

中京大学、終盤に試合を決める

中京大学は、序盤に2点先制、5回に中押し3点、7回にも菊川の走者一掃の3点本塁打でダメ押しと理想的な展開で勝利した。

関西大学は、中盤まで打線が振るわず、7回に藤井の三塁打を含む4連続安打で3点を還すがあと一歩及ばず、涙を飲んだ。

球審	竹田 亮成	副審1	山岸 秋雄
一塁塁審	渡辺 満雄	副審2	仲本 良一
二塁塁審	坂井多鶴夫	記録員	松本 明夫
三塁塁審	森 克己	放送員	井村小百合

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 13

会場所在地: 富山県

第2日	2020年11月01日	準決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	D
開始時間 : 09時01分	終了時間 : 11時18分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 02時間17分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
国際武道大学	0	0	0	0	0	5	0								5
福岡大学	0	0	0	5	0	4	x								9

	国際武道大学	福岡大学		国際武道大学	福岡大学
バッテリー	(投手) 中島 翼 田中 裕海 ●中島 翼	(投手) 海邊 和也 廣藤 健徳 ○海邊 和也	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(二)中瀬 将輝	(本)平山 純也 金子 京介 (二)実松 悠仁
	(捕手) 西浦 龍	(捕手) 根津 祐作			

戦評

福岡大学、終盤に追いつかれるも振り切る

福岡大学は、同点に追いつかれて迎えた6回裏一死二・三塁から金子の2点本塁打など3連続安打で4点を奪い突き放した。

国際武道大学は、6回安藤の中前安打を足掛りに4本の安打で5点を還し同点としたが、救援の海邊投手を攻略することが出来ず苦杯をなめることになった。

球審	倉田 宗平	副審1	岡田 清人
一塁塁審	作道 國幸	副審2	山下今朝夫
二塁塁審	寺田 修康	記録員	曾田 朋子
三塁塁審	濱田 宏一	放送員	武田 奈々

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 14

会場所在地: 富山県

第2日	2020年11月01日	準決勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	A
開始時間 : 09時00分	終了時間 : 10時57分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間57分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	得点差コールド
中京大学	3	0	0	0	0	0									3	
日本体育大学	2	0	1	0	3	4X									10	

	中京大学	日本体育大学		中京大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ●守屋ダニエル 湯浅彰一郎 (捕手) 産屋敷尚哉	(投手) 福地 廉 ○小山 玲央 (捕手) 調 和政	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)久本 廉 菊川 智己	(三)メンスジエラン秀吉 古敷谷 宗 中原 雄大 調 和政 (二)小山 玲央 中原 雄大

戦評

日本体育大学、終盤に打線爆発

日本体育大学は、先行されるものの3回までに追いつき、5回に古敷谷の走者一掃の三塁打で3点勝ち越し、6回にも長打3本を連ね決着を付けた。

中央大学は、1回先頭の久本が初球を中越え本塁打、4番菊川の2点本塁打で3点を先制したものの、2番手で登板した小山投手から追加点を奪うことが出来ず敗退となった。

球審	丸田 信夫	副審1	村上 伸夫
一塁塁審	田中 一昭	副審2	原井 清和
二塁塁審	利田 敏夫	記録員	松本 明夫
三塁塁審	中川 外明	放送員	牧野理香奈

全国大学選抜男子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 15

会場所在地: 富山県

第2日	2020年11月01日	決 勝	岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場	A
開始時間 : 12時20分	終了時間 : 14時17分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間57分	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
日本体育大学	0	0	0	0	3	0	0								3
福岡大学	0	0	0	0	1	0	0								1

	日本体育大学	福岡大学		日本体育大学	福岡大学
バッテリー	(投手) 野本 誠士 ○小山 玲央 (捕手) 調 和政	(投手) ●海邊 和也 (捕手) 根津 祐作	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(二)濱田 慎② 小山 玲央 古敷谷 宗	(二)重乗 寛人

戦評

4年間の集大成、日体大頂点へ！

日本体育大学は、5回表 調と濱田の連続タイムリーヒットで3点を奪い、投げても小山投手が福岡大学打線を10奪三振、被安打4本に抑え優勝の栄冠を手にした。

福岡大学の海邊投手は6回まで毎回走者を出しながら、10個の三振を奪う奮闘したが、打線がランナーは出すものの攻め手につけ1得点にとどまり勝利に手が届かなかった。

球審	笹野 雄治	副審1	利田 敏夫
一塁塁審	竹田 亮成	副審2	中川 外明
二塁塁審	村上 伸夫	記録員	林 雅子
三塁塁審	原井 清和	放送員	井村小百合

「真価」を求めた4年間

日本体育大学男子ソフトボール部主将 小山 玲央

大学ソフトボールを振り返って、充実した4年間というより苦しい4年間。勝って当たり前と思われて戦う試合は、とても苦しかったです。しかし、その中で達成した4連覇は素直に嬉しく、心の底から喜ぶことができました。

1年生のインカレ決勝、国士舘大学との壮絶な試合で劇的なサヨナラ勝利、そこから始まった4連覇への道だったのです。チームとして注目される一方、個人としても注目されるようになりました。こうして、注目されることで競技力を落としてはいけないと常に自問自答し、毎日練習するようになりました。チームの状態が悪いとチームの雰囲気も悪くなり、その雰囲気に流されて自分自身の調子が落ちることも多々ありました。そんな中でも、多くの先輩や指導者に支えられて3連覇を達成することが出来ました。そして、迎えたインカレ4連覇を目指す最後の年。自分自身もキャプテンに就任し、より一層気合いが入っていたのですが、新型コロナウイルスの影響で全体練習も出来なくなってしまったのです。インカレ4連覇、全日本総合王座奪還という目標を掲げて新チームをスタートしたにもかかわらず、様々な大会が中止になってしまいチームとしてはもちろんのこと、個人としても目標を見失いかけていました。それでも、キャプテンとして落ち込むわけにはいかないと、自粛期間中は、近くの公園で身体を動かしていました。そして、約3ヶ月の自粛期間を経てようやく全体練習が出来るようになりました。練習再開後は、やはりチームが同じ目標に向かっていようには見えずまとめることが難しく、唯一残されたインカレ4連覇という目標をチームに再確認させ、練習に取り組むように促しました。ようやくチームとしてもまとまってきた時に、悲報が流れてきたのです。インカレの中止。自分自

身も東京オリンピックが1年延期になった時点で、覚悟は出来てはいましたが、いざ中止になると中々立ち直ることが出来ませんでした。なぜ自分たちの学年でこのようなことになってしまうのかと悔しい気持ちでいっぱいだったのが正直な気持ちでした。そんな中でも、全日本大学連盟の先生方をはじめ、多くの方々のご尽力でインカレの代替大会が開催されることになったのです。4年生全体にも最後までしっかりとやり抜くように言い聞かせ、練習にも取り組みました。代替大会が近づくにつれて、4年生全員の最高学年としての自覚が芽生えてチーム状態も良い方向に向いていきました。そして、迎えたインカレ代替大会当日。チームは試合を重ねる度にチームとしても個人としても大きく成長していることを実感しました。厳しい試合もありましたが最後は優勝。インカレ4連覇ではないかもしれませんが、それに匹敵するほど嬉しかったです。4年間を振り返ってみると、苦しいことの方が本当に多かったですが、最後は全てが報われた気がしました。そして、試合に勝利する勝ちよりも、ソフトボールを通じて多くの価値を得ることが出来たと思いますし、私たちの学年でしか味わえない、「真価」を得ることが出来たと思います。

最後になりますが、インカレの代替大会を開催して下さった、全日本大学連盟の先生方をはじめ、関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、苦しい時に支えて下さった先生方や同期、後輩、物心両面で支えてくれた保護者にも感謝しています。

大学ソフトボールを通じていろいろなことを学び、大きく成長することが出来ました。そして、「真価」も得ることが出来ました。大学卒業後もソフトボールを続け、この競技の魅力や奥深さを多く

の子供たちに伝え、競技の普及発展に尽力していきたく思います。また、後輩達には自分たちができなかったインカレ4連覇を成し遂げていただきたいと思ひます。

4年間、私に大きな「学び」を与えてくれた、このソフトボール競技には本当に感謝していますし、全日本大学連盟の更なる発展を切望しています。

男子大会打撃ベスト15 (規定打席数8以上)

順位	補殺	刺殺	失策	守備率	氏名	チーム名	打席数	打点	安打	得点	犠牲打				四球	死球	三振	盗塁	残塁	打撃妨害	出塁	打率	本塁打	三塁打	二塁打	出塁率	試合数
											B	F	球	球													
1	0	3	0	1.000	平山 純也	福岡大学	8	8	4	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.500	1	0	0	0.500	3
1	0	0	0		菊川 智己	中京大学	11	10	5	4	5	0	0	1	0	0	0	1	0	6	0.500	2	1	0	0.545	3	
3	2	28	0	1.000	調 和政	日本体育大学	11	11	5	3	5	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0.455	2	1	0	0.455	3	
4	6	1	1	0.875	金子 京介	福岡大学	11	9	4	2	2	1	0	1	0	2	0	3	0	5	0.444	1	0	0	0.500	3	
4	2	4	0	1.000	日高 慶明	福岡大学	10	9	4	0	1	1	0	0	0	0	0	4	0	4	0.444	0	1	0	0.444	3	
4	0	17	0	1.000	西浦 龍	国際武道大学	10	9	4	2	2	1	0	0	0	3	0	0	0	4	0.444	0	1	1	0.444	3	
7	0	9	0	1.000	高木 頌太	中京学院大学	8	7	3	1	1	0	1	0	0	2	0	2	0	3	0.429	0	1	0	0.375	2	
7	1	3	1	0.800	池端 謙太	中京学院大学	8	7	3	2	3	0	0	1	0	0	1	2	0	4	0.429	1	1	0	0.500	2	
7	4	2	0	1.000	山本倫大朗	立命館大学	8	7	3	0	3	0	1	0	0	0	0	3	0	3	0.429	0	0	1	0.375	2	
10	0	2	0	1.000	山下 太一	福岡大学	11	10	4	3	0	0	0	1	0	0	0	3	0	5	0.400	0	0	1	0.455	3	
10	0	0	0		堀内 章吾	福岡大学	11	10	4	4	1	0	0	1	0	1	0	0	0	5	0.400	0	0	1	0.455	3	
10	1	3	1	0.800	中瀬 将輝	国際武道大学	10	10	4	3	0	0	0	0	0	2	3	3	0	4	0.400	0	0	1	0.400	3	
10	1	21	1	0.957	メンズジェーソン秀吉	日本体育大学	11	10	4	3	1	0	0	1	0	1	1	0	0	5	0.400	0	1	0	0.455	3	
10	5	2	0	1.000	中原 雄大	日本体育大学	11	5	2	5	0	1	0	4	1	1	2	2	0	7	0.400	0	1	1	0.700	3	
15	0	1	0	1.000	倉澤 尚吾	立命館大学	8	8	3	1	2	0	0	0	0	3	0	2	0	3	0.375	0	0	1	0.375	2	

男子大会投手成績ベスト6 (規定投球イニング数9以上)

順位	氏名	チーム名	投球回数	打者数	打点	被安打	失点	自責点	犠牲打		与四球	与死球	奪三振	被本塁打	暴投	不正投	打撃妨害	投球数	防御率	勝利数	敗戦数	勝利率	試合数	
									B	F														
1	小山 玲央	日本体育大学	14	1/3	51	45	5	1	0	1	0	3	2	21	0	0	0	0	189	0.00	2	0	1.000	2
1	景山 蓮	環太平洋大学	9	1/3	35	31	7	2	0	2	0	2	0	13	0	1	0	0	139	0.00	0	1	0.000	1
3	海邊 和也	福岡大学	20	2/3	72	68	7	1	1	1	0	3	0	36	0	0	0	0	303	0.34	3	0	1.000	3
4	中島 翼	国際武道大学	11	2/3	51	47	12	9	6	0	1	2	1	10	2	0	0	0	173	3.60	1	1	0.500	2
5	守屋ダニエル	中京大学	15	1/3	67	58	16	10	10	0	0	9	0	17	1	5	0	0	281	4.57	2	1	0.667	3
6	佐藤 夏己	立命館大学	13		58	53	17	10	9	0	1	3	1	10	0	1	0	0	217	4.85	1	1	0.500	2



全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

大会概要

副理事長（女子担当） 二瓶 雄樹

1. 開催に向けて

女子会場の愛知県安城市とは、2019年からの聖地化事業の折、神谷学市長と全日本学連との間で覚書を交わしている。また別組織である愛知県協会、安城市協会の多大なるご尽力のもと現計画として2024年まで大会が継続して開催できる運びとなっている。しかし、今回新型コロナウイルス感染症という世界的なパンデミックを迎えた中、全日本インカレが中止となったにも関わらず、代替大会となる全国大学選抜女子選手権を本大会を延期する形で受け入れていただいたことは「英断」であったという他ない。7月上旬に代替大会になる可能性を伝えさせていただき、空きがない予約状況の中、11月の平日にも関わらずご対応いただいたこと、そしてこれらイリガリーな状況に対して毎回前向きにご対応いただいたことに心から感謝の意を表します。

8月上旬には期日を決し、4度の対面での打ち合わせを経た後に大会を開催させることができた。観戦者を動員することが決まった際には、動員の方法や動線の確保など現場レベルで動いていただいた安城市スポーツ課の皆様には、感謝してもしきれない思いです。また別の投稿記事『中止—開催』で書かせていただいたが、予算の確保においては多くの企業や個人の方々にご協賛いただいた。そこで書ききれなかった企業として、女子大会に限り宿泊やお弁当を一手に引き受けていただいた名鉄観光サービス(株)様、短い期間でプログラムを作成していただいた中埜総合印刷(株)様の両企業様からもご尽力いただいただけではなくご協賛いただいたことに改めて感謝させていただきます。このような、数多くのご支援をいただいて、本大会が成功裏に終えられたことはまさにお陰様であり、“かげ”の部分でご尽力、ご協力、ご協賛いただ

いた皆様の賜物であると思います。

2. 試合について

初戦の8試合のうち、5試合が一点差、2試合が二点差という拮抗したゲームが初日から展開された。また全15試合中、コールドゲームとなったのはわずか1試合のみであった。試合会場は初日2会場で、二日目からはメイン球場のみで開催された。拮抗した面白い試合をコンパクトかつ素晴らしい会場で実施することができたこと、そして会場を減らしたことによりUNIVASが実施した中継も例年以上に手厚く実施することができ“みるスポーツ”としての可能性を大きく感じた大会であった。ベスト4には、創部以来最上位となる結果となった城西大、昨年のインカレで同様にベスト4に輝いた金沢学院大が入った。準優勝には、実質的に三連覇を狙った絶対的女王の日本体育大、そして優勝は二度目の全国制覇となった中京大が輝いた。最優秀選手賞には、優勝した中京大の投手：西川沙希（3年）、優秀選手賞には準優勝の日本体育大の遊撃手：宮本怜実（3年）が獲得した。来年こそインカレで各チームが躍動することを期待したい。

大会講評

大会記録長 佐藤 晴美

昨年からはまった安城での全日本大学女子選手権大会がコロナ禍によって中止になり代替大会として開催された本大会は、全国から選ばれた16チームが熱い戦いを繰り広げた。

新型コロナウイルス感染予防の一環として観客と選手の入口を別々にしたり、観客の入場制限をしたり、全試合をライブ配信をして自宅で観戦できるように配慮をしたりと様々な工夫を凝らし観に行きたくても来られない方々の為に様々な工夫と努力をしていただき大会が開催された。

試合の方では、初日の一回戦は1点を争う僅差の試合が多く、昨年決勝戦に残った園田学園女子大学が東京女子体育大学に1点及ばず初戦で敗退するなど劇的な試合が多く見受けられ、ソフトボールを心から楽しみ、プレイできることの喜びがひしひしと伝わる雰囲気会場は満たされていた。

大会二日目になると今大会最長試合時間となる2時間26分に渡る激闘があったり、逆転サヨナラ勝利があったりと益々激しさを増し、金沢学院大学、日本体育大学、中京大学、城西大学の4校が準決勝へと勝ち上がった。三日目の準決勝戦は第一試合の日本体育大学 対 金沢学院大学では日本体育大学の藤村綺良々が本塁打を含む3安打、白石千晴の本塁打など今大会最多安打となる11安打で先制し逃げ切り金沢学院大学の追撃を振り切った。続く第二試合の中京大学 対 城西大学の試合では中盤までは3対2と僅差の試合だったが6回に打者12人10打数6安打一挙7点の得点を挙げ城西大学を一気に引き離し決勝戦へと駒を進めた。

そしていよいよ決勝戦、先攻を選んだ中京大学先発投手の西川沙希は4回まで日本体育大学打線を1安打に抑える好投で順調な立ち上がりを見せた。西川の好投に応えるように初回先頭打者からの連続安打で2点を先制、その後4回と6回には四番打者武富沙耶が2点本塁打をこの試合で2本叩き出し西川も100球を超える力投で完投完封し勝利を決めた。惜しくも準優勝となった日本体育大学も長打になりそうな当たりを遊撃手宮本怜実の巧みな守備で追加点を阻止したり、本塁打になりそうな飛球をフェンスぎりぎりの所で左翼手白石千晴が好捕したりと要所要所での活躍があったが、打撃の面でのつながりが上手いかず得点を挙げる事が出来なかった。

優勝が決まった後の中京大学の選手の歓喜の輪の中、采配を振った二瓶雄樹監督の男泣きの涙が大会関係者でもある彼の今大会に向けての苦労と努力も物語っていた。

JSAソフトボール第436号より抜粋

標記大会は男子同様、新型コロナウイルスの影響を受け、開催の中止を余儀なくされた「文部科学大臣杯第55回全日本大学ソフトボール選手権大会」（※インカレ）の代替大会として11月10～12日の3日間にわたり、愛知県安城市・安城市総合運動公園デンソーブライトペガサススタジアムを主会場に開催された。

本来であれば「文部科学大臣杯第55回全日本大学ソフトボール選手権大会」8月28日～30日の3日間、ここ愛知県安城市で開催されるはずであったが、猛威を振るう新型コロナウイルスの影響で大会の開催を断念せざるを得ない状況に……。

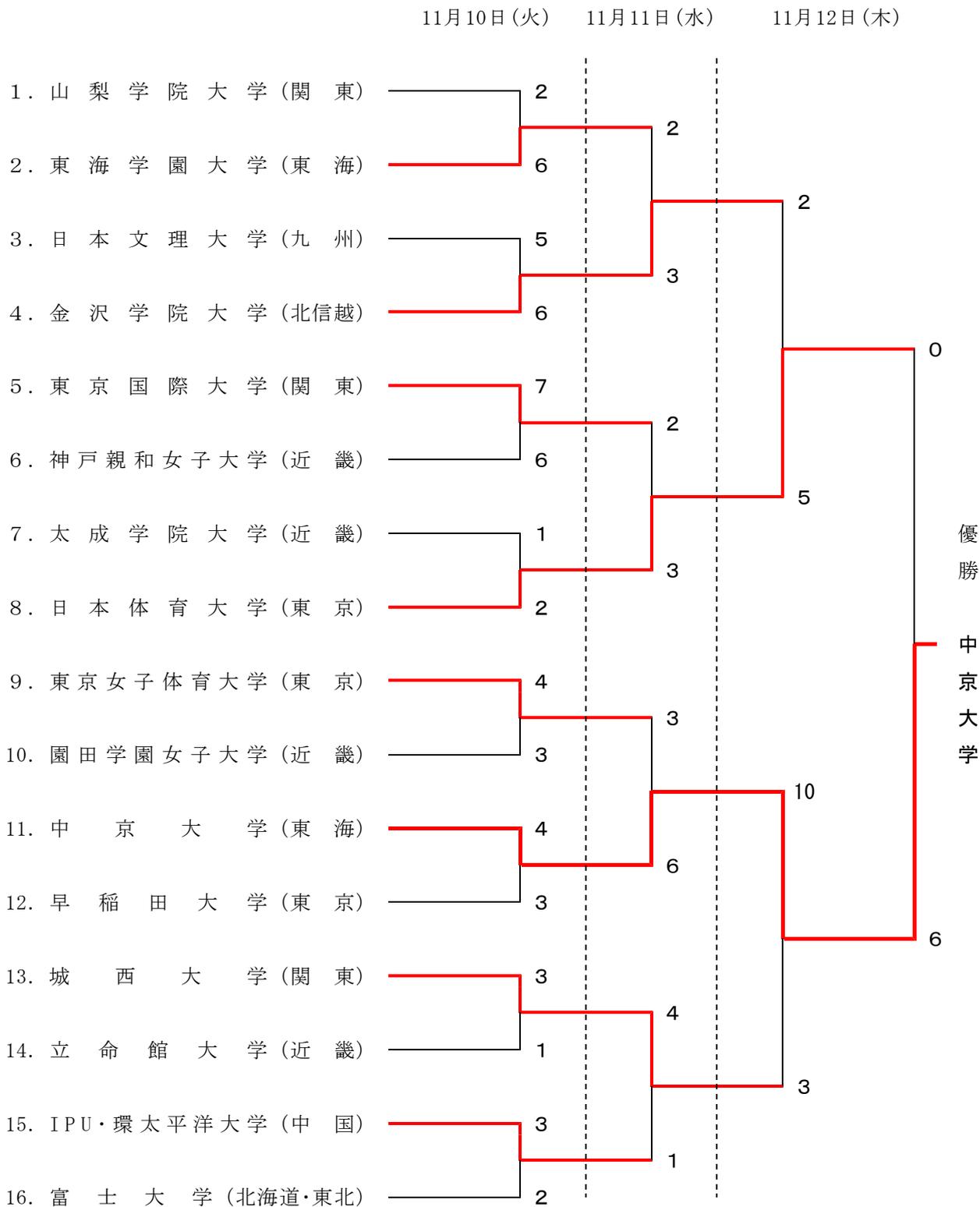
しかし、主催者である全日本大学ソフトボール連盟は各地域における感染状況や大学の対応等を考慮しながら、限られた条件の中で「伝統あるインカレの灯を消してはならない」また「最終学年となる4年生に何か『思い出』を残してやりたい」……こうした思いから、今回、全日本大学選手権大会の「代替大会」として「全国選抜男子女子選手権大会」を実施するに至ったのである。主催者の全日本大学ソフトボール連盟と開催地の愛知件安城市がコロナ禍での大会開催に万全に配慮・対応し、また大学生の「思い出」に残る大会にしようと、多くの協賛・支援を得て開催された。

女子の部も全国9ブロック（北海道・東北、関東、北信越、東京、東海、近畿、中国、四国、九州）から16チームが出場。地区によっては予選への参加校チーム自体が少なかったり、4年生が引退し、新チームとして臨むチームもある等、様々な状況下で行われた本大会は本来のインカレの半分となる16チームで頂点を競う形となった。しかし、誰もが経験したことのない“コロナ禍”にあって何とか大会の開催にこぎつけ、各チーム、選手が「仲間とともに全国の舞台上で戦える喜び」を噛みしめ、今大会に臨んでいる姿が非常に印象的であった。

全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

会期：令和2年11月10日(火)～11月12日(木)

会場：愛知県安城市／総合運動公園デンソーブライトペガサスタジアムA球場・野球場



2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 1

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	デンソーブライトペガサススタジアムA球場
開始時間 : 09時03分	終了時間 : 10時52分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間49分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
東海学園大学	5	0	0	0	0	0	1								6
山梨学院大学	0	0	0	0	0	2	0								2

	東海学園大学	山梨学院大学		東海学園大学	山梨学院大学
バッテリー	(投手) ○三上 愛香 藤本 恵未 (捕手) 田淵 奈央 豊島 彩宇	(投手) ●信田 沙南 (捕手) 菊池 朋美	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(二)原 磨海 田淵 奈央	

戦評

追撃許さず、東海学園大学初戦突破！！

東海学園大学は初回一死後上村から始まる三連続安打や田淵（奈）の右中間二塁打等打者11人6安打の猛攻でこの回に5点を挙げ逃げ切った。

山梨学院大学も終盤6回に四球で出塁した走者を足場に菊池、岡崙の連続安打で2点を返したが追いつくことができず敗退した。

球審	椎原 親志	副審1	北村 政彦
一塁塁審	岡田 光	副審2	
二塁塁審	渡邊 英裕	記録員	笠牟田満男
三塁塁審	杉原 恒雄	放送員	庄村 瑠衣

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 2

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	デンソーブライトペガサススタジアムA球場
開始時間: 11時25分	終了時間: 13時06分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間41分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
日本文理大学	3	1	0	1	0	0	0	0							5
金沢学院大学	0	0	4	0	0	1	0	1x							6

	日本文理大学	金沢学院大学		日本文理大学	金沢学院大学
バッテリー	(投手) ●今村みなみ (捕手) 森田 京	(投手) 福田 莉花 ○上田萌々香 (捕手) 氏丸 陽南	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)川畑 真愛 (二)堀口 佳乃	(本)本村 夏穂② (二)遠藤 滯②

戦評

金沢学院大学、本村の2本塁打、打点4で8回タイブレークサヨナラ勝ち

初めは先制を許した金沢学院大学だったが3回遠藤の右翼線二塁打で得点圏に走者を置くと原の右翼前適時打本村の中越え2点本塁打で同点に追いついた。取られたら取り返す粘りを見せタイブレークに持ち込んだ8回裏氏丸の左翼越え適時打でサヨナラ勝ちを制した。

日本文理大学も初回到川畑の中越え3点本塁打で先制点を奪い、その後も追加点を挙げ優勢を保っていたが同点に追いつかれた後半、タイブレークの走者を本塁に返すことができず惜敗した。

球審	森下 豊	副審1	杉原 恒雄
一塁塁審	杉浦 真一	副審2	
二塁塁審	岡田 雅和	記録員	中根 登
三塁塁審	北村 政彦	放送員	松井 佑佳

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 3

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	デンソーブライトペガサススタジアムA球場
開始時間: 13時39分	終了時間: 15時38分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間59分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
神戸親和女子大学	0	6	0	0	0	0	0								6
東京国際大学	2	3	0	0	2	0	x								7

	神戸親和女子大学	東京国際大学		神戸親和女子大学	東京国際大学
バッテリー	(投手) 碓氷 英里 ●有元 茜 山口千沙澄 (捕手) 山口 歩	(投手) ○鈴木りりか (捕手) 馬場日花里	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)		(二)菊地 香乃

戦評

序盤の失点にも諦めず東京国際大学逆転の勝利

2点を先制した2回表、投手の立ち上がりを攻められた東京国際大学は6点を失うがその裏の先頭打者が四球で出塁すると吉田、川口の重盗、馬場の盗塁と足を使った攻撃で走者を進め1点差まで追いつけた。更に5回にも盗塁や犠打を織り交ぜ走者を進め川口の中前安打で逆転に成功した。

神戸親和女子大学も2回の大量得点の後、さらに追加点を奪おうとしたが有元、山口の好投に遮られあと1点が挙げられず惜敗し涙を吞んだ。

球審	岡田 光	副審1	岡田 雅和
一塁塁審	椎原 親志	副審2	
二塁塁審	渡邊 英裕	記録員	谷口 謙一
三塁塁審	杉原 恒雄	放送員	庄村 瑠衣

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 4

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 16時05分	終了時間: 17時39分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間34分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
太成学院大学	0	0	0	1	0	0	0								1
日本体育大学	0	0	0	1	1	0	x								2

	太成学院大学	日本体育大学		太成学院大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ●岡 真里流	(投手) ○長谷川 鈴夏 中山日 菜子 浅井 茉琳	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(二) 藤田 直	(本) 山田 柚葵 (三) 内田小百合
	(捕手) 金橋 郁美 山内 純怜	(捕手) 山田 柚葵			

戦評

内田の痛烈な三塁打が決勝打点に！日本体育大学初戦突破

試合が動いたのは打者一巡した後の4回だった。太成学院大学に先制を許した日本体育大学は1打席目にも安打で出塁した山田、二死走者無しの場合から山田が放った打球は外野フェンスを越えた、同点に追いつき更に反撃に出た日本体育大学は「このままでは終わらない」と5回二死走者一塁の場合で内田の一塁手の横を抜ける痛烈な三塁打で逆転に成功し勝利した。対する太成学院大学も藤田の左翼越え二塁打で先制したがその後に走者を出すことができず敗退した。

球審	杉浦 真一	副審1	渡邊 英裕
一塁塁審	森下 豊	副審2	
二塁塁審	岡田 雅和	記録員	伊藤 富栄
三塁塁審	北村 政彦	放送員	松井 佑佳

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 5

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	安城市総合運動公園野球場A球場
開始時間 : 09時05分	終了時間 : 10時51分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間46分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
園田学園女子大学	0	1	1	0	1	0	0								3
東京女子体育大学	0	0	3	0	1	0	x								4

	園田学園女子大学	東京女子体育大学		園田学園女子大学	東京女子体育大学
バッテリー	(投手) 横谷 瑞希 ●秋豆 朱音 (捕手) 平岡 花	(投手) 柳橋 里奈 ○佐々木さくら 久本 美波 (捕手) 井上 葉菜	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)藤森 捺未	(本)高島 歩 (三)瀧野 琉香 (二)瀧之上果菜

戦評

東京女子体育大学追いつかれるも逃げ切り勝利する

東京女子体育大学は2点リードされた3回裏、一死、二、三塁でレフトへの犠飛で1点を返しさらに高島の本塁打で逆転した。その後も同点にされた直後に三塁打で出塁した瀧野をライトゴロで返し、勝ち越し点を挙げて逃げ切った。

一方の園田学園大学は2回に3安打で1点を先制、3回にも石野のレフトオーバーの本塁打で加点し優位に進め5回には四球から同点に追いつく粘りを見せたが惜敗した。

球審	草本 光伯	副審1	二宮 辰雄
一塁塁審	有福 和彦	副審2	
二塁塁審	久保 能之	記録員	安達 正明
三塁塁審	清水 規高	放送員	山口 夏奈

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 6

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	安城市総合運動公園野球場A球場
開始時間: 11時22分	終了時間: 13時25分	中断時間: 00時間06分	試合時間: 01時間57分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京大学	2	0	1	0	1	0	0								4
早稲田大学	0	1	0	0	0	0	2								3

	中京大学	早稲田大学		中京大学	早稲田大学
バッテリー	(投手) ○西川 沙希 坪野 三咲	(投手) ●増田 侑希 新宮 怜美	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)高瀬 沙羅 (二)武富 沙耶 川口 茉菜	(二)反町 結佳②
	(捕手) 安山 涼香	(捕手) 渡邊 佳子			

戦評

僅差の試合、効率よい長打で中京大学が勝利

初回一死から片岡が塁に出ると四番打者武富が中越え二塁打で、さらに川口の適時打でそれぞれの走者を返し2点を先制した。その後も川口の左中間二塁打、高瀬の左翼越本塁打で追加点を挙げ試合を優位に進めた。追いかける形になった早稲田大学だったが走者が三塁まで進んでもなかなか本塁を踏むことができず最終回の先頭打者が四球で出塁後、反町の左翼越二塁打で一死二、三塁の好機に三番堀の遊撃安打で1点差まで追い詰めたがあと1本が続かず惜敗した。

球審	安藤 元伸	副審1	清水 規高
一塁塁審	柴田 孝広	副審2	
二塁塁審	内藤 繁	記録員	高須 久美
三塁塁審	二宮 辰雄	放送員	横地 栞

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 7

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	安城市総合運動公園野球場A球場
開始時間: 13時55分	終了時間: 15時12分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間17分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
立命館大学	0	0	1	0	0	0	0								1
城西大学	0	1	0	2	0	0	x								3

	立命館大学	城西大学		立命館大学	城西大学
バッテリー	(投手) 小實 千尋 ● 本田 明梨	(投手) 大平 綾子 ○ 遠藤 光姫	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(二) 二宮 杏奈	(二) 小嶋 楓 藤原 奈実
	(捕手) 二宮 杏奈	(捕手) 小嶋 楓			

戦評

城西大学4回に3本の安打と犠打で貴重な追加点をを挙げ勝利

同点で迎えた4回、城西大学は四番今田の安打で出塁後、六番小暮の犠飛で逆転に成功しさらに藤原の二塁打、小島の適時打で追加点を挙げ勝利した。

惜しくも敗れた立命館大学は3回の小八木、井口、中村の安打による貴重な1点以降、走者を三塁に進めることができなかった

球審	有福 和彦	副審1	内藤 繁
一塁塁審	草本 光伯	副審2	
二塁塁審	久保 能之	記録員	日野 倫子
三塁塁審	清水 規高	放送員	山口 夏奈

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 8

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	安城市総合運動公園野球場A球場
開始時間: 15時46分	終了時間: 17時25分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間39分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
富士大学	0	2	0	0	0	0	0	0							2
IPU・環太平洋大学	0	0	2	0	0	0	0	1x							3

	富士大学	IPU・環太平洋大学		富士大学	IPU・環太平洋大学
バッテリー	(投手) ●井上あやめ	(投手) ○後藤明日香	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(三)渡辺 翠	(二)井田 芽衣
	(捕手) 加藤 花澄	(捕手) 女鹿田千紘			

戦評

IPU環太平洋大学、タイブレークにもつれ込みサヨナラ勝利

序盤に2点を先制されたIPU・環太平洋大学だったがその裏九番小寺がバント安打で出塁すると相手の守備の乱れに乗り同点に追いついた。その後は両チームともに打線が続かずタイブレークにもつれ込んだ8回裏の無死満塁の場面で田村の中飛球が犠牲打となりサヨナラ勝利を収めた。

対する富士大学も渡辺の右翼越三塁打で先制点を奪ったがその後の追加点が挙げられず惜しくも敗れた。

球審	柴田 孝広	副審1	久保 能之
一塁塁審	安藤 元伸	副審2	
二塁塁審	内藤 繁	記録員	近藤美由紀
三塁塁審	二宮 辰雄	放送員	横地 栞

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 9

会場所在地: 愛知県安城市

第2日	2020年11月11日	2回戦	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間 : 09時04分	終了時間 : 10時57分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間53分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
東海学園大学	0	0	0	0	0	2	0								2
金沢学院大学	0	0	1	0	0	0	2x								3

	東海学園大学	金沢学院大学		東海学園大学	金沢学院大学
バッテリー	(投手) ●藤本 恵未 (捕手) 豊島 彩宇	(投手) 上田萌々香 ○田畑 七海 (捕手) 氏丸 陽南	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)		(二)松井ひとみ

戦評

投手戦を制し金沢学院大学サヨナラ勝ちで準決勝進出へ

先制をした金沢学院大学は途中で逆転を許してしまうが最終回の先頭打者が死球で出塁すると、この試合代打で打席に入った松井が左翼線二塁打を放ち同点に追いつき一番遠藤の一塁を抜ける適時打でサヨナラ勝利をもぎ取った。東海学園大学は4回まで安打が出ず打ちあぐねていたが終盤6回に上村が中前安打で出塁し福本の内野安打で2点を返し逆転に成功した。しかし最後まで守り切ることが出来ず惜敗した。

球審	安藤 元伸	副審1	草本 光伯
一塁塁審	北村 政彦	副審2	
二塁塁審	椎原 親志	記録員	谷口 謙一
三塁塁審	柴田 孝広	放送員	庄村 瑠衣

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 10

会場所在地: 愛知県安城市

第2日	2020年11月11日	2回戦	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 11時24分	終了時間: 13時13分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間49分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
東京国際大学	1	0	0	0	0	1	0								2
日本体育大学	0	0	0	0	1	0	2x								3

	東京国際大学	日本体育大学		東京国際大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ●鈴木りりか (捕手) 馬場日花里	(投手) 中山日菜子 浅井 茉琳 ○長谷川鈴夏 (捕手) 山田 柚葵	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(三)菊地 香乃	(二)山田 柚葵 宮本 怜実

戦評

二死からの底力魅せた！！日本体育大学、宮本の二塁適時打でサヨナラ勝利

中盤までは走者を出しても相手の好守備に阻まれ得点が挙げられなかった日本体育大学だったが、その守備の選択によって出塁した川上が塁に出ると九番舟阪が中前安打を打ち同点に追いついた。しかしその後再び逆転を許してしまう。だがそこから最後まで諦めない日本体育大学の底力、二死二塁から再び舟阪の適時打で同点に追いつくと宮本の左中間二塁打でサヨナラ勝利を決めた。

初回の守備の乱れで1点を先取し、その後も安打を打たせず踏ん張ってきた東京国際大学だったが最後の最後に抑えることが出来ず惜しくも敗れた

球審	中川 孝義	副審1	柴田 孝広
一塁塁審	草本 光伯	副審2	
二塁塁審	岡田 光	記録員	浜島 美香
三塁塁審	豊阿弥隆昭	放送員	穴井 結夏

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 11

会場所在地: 愛知県安城市

第2日	2020年11月11日	2回戦	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 13時41分	終了時間: 16時07分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 02時間26分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京大学	0	0	2	0	0	4	0								6
東京女子体育大学	0	0	0	1	0	2	0								3

	中京大学	東京女子体育大学		中京大学	東京女子体育大学
バッテリー	(投手) ○西川 沙希 (捕手) 安山 涼香	(投手) ●柳橋 里奈 久本 美波 佐々木 さくら (捕手) 井上 葉菜	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)		

戦評

追撃を振り切り中京大学準決勝進出

1点差で迎えた6回表、中京大学が動き出した。先頭打者川口の安打を筆頭に打者一巡6打数4安打3四死球、常に次を狙う走塁でこの回4点を挙げ試合の流れを掴んだ。投げては西川が力投し投手の頑張りに打者も応える投打が噛み合った試合をし勝利した。対する東京女子体育大学も4回には二死一、三塁からの大川、石野による重盗で貴重な1点をもぎ取りさらに追加点を挙げようと粘ったが終盤に失った4点の重さに泣いた。

球審	北村 政彦	副審1	岡田 光
一塁塁審	椎原 親志	副審2	
二塁塁審	柴田 孝広	記録員	近藤美由紀
三塁塁審	安藤 元伸	放送員	庄村 瑠衣

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 12

会場所在地: 愛知県安城市

第2日	2020年11月11日	2回戦	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 16時33分	終了時間: 17時58分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間25分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
城西大学	0	1	3	0	0	0	0								4
IPU・環太平洋大学	0	0	0	1	0	0	0								1

	城西大学	IPU・環太平洋大学		城西大学	IPU・環太平洋大学
バッテリー	(投手) ○遠藤 光姫 (捕手) 小嶋 楓	(投手) 上村 紗輝 ●遠藤 杏樺 (捕手) 女鹿田千紘	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)永野川 彩 (二)今田 まな 岩佐 美歩	

戦評

永野川の3点中越え本塁打が決勝点に！城西大学ベスト4入り

先取点を奪った城西大学はその後三番岩田の中越え二塁打と今田が四球を選び二死一、二塁とした後、五番永野川の3-2のフルカウントからの中越え3点本塁打が決勝点となり勝利を決めた。

IPU・環太平洋大学は4回に女鹿田の内野安打で1点を返したが遠藤の好投で三安打に抑えられ敗退した。

球審	豊阿弥隆昭	副審1	椎原 親志
一塁塁審	岡田 光	副審2	
二塁塁審	中川 孝義	記録員	日野 倫子
三塁塁審	草本 光伯	放送員	穴井 結夏

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 13

会場所在地: 愛知県安城市

第3日	2020年11月12日	準決勝	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 10時01分	終了時間: 12時05分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 02時間04分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
日本体育大学	2	0	1	0	1	1	0								5
金沢学院大学	0	0	0	0	1	1	0								2

	日本体育大学	金沢学院大学		日本体育大学	金沢学院大学
バッテリー	(投手) ○長谷川鈴夏 浅井 茉琳 新田 茜	(投手) ●上田萌々香 福田 莉花 田畑 七海	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本) 藤村綺良々 白石 千晴 (三) 内田小百合	(本) 奥本 純子 氏丸 陽南 (三) 角平 優
	(捕手) 山田 柚葵	(捕手) 氏丸 陽南			

戦評

金沢学院大学の追い込みを振り切り日本体育大学決勝に進む！！

投手の立ち上がりを攻めた日本体育大学は先頭打者宮本の右翼線安打に始まり内田の強烈な一塁強襲三塁打、亀田の中堅への犠牲飛球、藤村の右中間適時打で2点を奪った、その後も藤村、白石の中越え本塁打と長打で5点を挙げ決勝戦へと駒を進めた。金沢学院大学も安打は出るが打線が続かず九番代打に入った奥本の右翼越え本塁打と四番氏丸の中越え本塁打の2点のみにとどまり反撃することが出来なかった。

球審	岡田 光	副審1	柴田 孝広
一塁塁審	草本 光伯	副審2	
二塁塁審	北村 政彦	記録員	谷口 謙一
三塁塁審	杉浦 真一	放送員	庄村 瑠衣

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 14

会場所在地: 愛知県安城市

第3日	2020年11月12日	準決勝	デンソーブライトペガサススタジアムA球場
開始時間: 12時41分	終了時間: 14時35分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間54分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	得点差コールド
中京大学	0	0	0	3	0	7									10	
城西大学	1	0	1	0	0	1x									3	

	中京大学	城西大学		中京大学	城西大学
バッテリー	(投手) ○坪野 三咲 西川 沙希 坪野 三咲 (捕手) 安山 涼香 出羽 瑞果	(投手) ●遠藤 光姫 大平 綾子 (捕手) 小嶋 楓	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)安山 涼香 (二)安田優莉音 川口 茉菜 本間 友菜 安山 涼香	(本)小暮 沙希 (二)今田 美結 鈴木 美結

戦評

6回の猛攻！一挙7得点で引き離し中京大学決勝戦へ

中京大学打線が火を噴いた！序盤は先制を許した中京大学だったが4回に川口の中堅横二塁打、安山の右中間本塁打で逆転に成功するとさらに6回には打者12人10打数6安打の猛攻で一挙に7点を挙げ点差を8点に引き離した。対する城西大学も初回と3回に今田の二塁打と適時打で先制していたが点差が離された6回裏、小暮の左翼越本塁打で1点を返すのみに留まり悔しい敗戦となった

球審	中川 孝義	副審1	杉浦 真一
一塁塁審	椎原 親志	副審2	
二塁塁審	木戸 浩人	記録員	浜島 美香
三塁塁審	柴田 孝広	放送員	穴井 結夏

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 15

会場所在地: 愛知県安城市

第3日	2020年11月12日	決勝	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 15時13分	終了時間: 17時08分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間55分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京大学	2	0	2	0	2	0	0								6
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	0								0

	中京大学	日本体育大学		中京大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ○西川 沙希 (捕手) 安山 涼香	(投手) ●長谷川 鈴夏 持田 みなみ 浅井 茉琳 (捕手) 山田 柚葵	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)武富 沙耶②	

戦評

武富の2点本塁打2本と西川の完投完封で監督も涙の中京大学優勝

中京大学が着実に点を重ね優勝への階段を上った。

初回には相手の守備の乱れを突き2点を先取した中京大学は3回と6回に四番打者武富が走者を一塁に置いての2点本塁打を叩き出し1試合に2点本塁打2本という快挙を成し遂げ勝利に貢献した。投げては西川が野手を信頼したピッチングで完封完投勝利し最優秀選手に輝いた。惜しくも準優勝となった日本体育大学も随所に野手の好守備があり更なる追加点を抑えたが打線が繋がらず本塁を踏むことが出来なかった。

球審	草本 光伯	副審1	椎原 親志
一塁塁審	岡田 光	副審2	
二塁塁審	北村 政彦	記録員	日野 倫子
三塁塁審	杉浦 真一	放送員	庄村 瑠衣

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 1

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	デンソーブライトペガサススタジアムA球場
開始時間 : 09時03分	終了時間 : 10時52分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間49分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
東海学園大学	5	0	0	0	0	0	1								6
山梨学院大学	0	0	0	0	0	2	0								2

	東海学園大学	山梨学院大学		東海学園大学	山梨学院大学
バッテリー	(投手) ○三上 愛香 藤本 恵未 (捕手) 田淵 奈央 豊島 彩宇	(投手) ●信田 沙南 (捕手) 菊池 朋美	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(二)原 磨海 田淵 奈央	

戦評

追撃許さず、東海学園大学初戦突破！！

東海学園大学は初回一死後上村から始まる三連続安打や田淵（奈）の右中間二塁打等打者11人6安打の猛攻でこの回に5点を挙げ逃げ切った。

山梨学院大学も終盤6回に四球で出塁した走者を足場に菊池、岡崙の連続安打で2点を返したが追いつくことができず敗退した。

球審	椎原 親志	副審1	北村 政彦
一塁塁審	岡田 光	副審2	
二塁塁審	渡邊 英裕	記録員	笠牟田満男
三塁塁審	杉原 恒雄	放送員	庄村 瑠衣

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 2

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	デンソーブライトペガサススタジアムA球場
開始時間: 11時25分	終了時間: 13時06分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間41分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
日本文理大学	3	1	0	1	0	0	0	0							5
金沢学院大学	0	0	4	0	0	1	0	1x							6

	日本文理大学	金沢学院大学		日本文理大学	金沢学院大学
バッテリー	(投手) ●今村みなみ (捕手) 森田 京	(投手) 福田 莉花 ○上田萌々香 (捕手) 氏丸 陽南	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)川畑 真愛 (二)堀口 佳乃	(本)本村 夏穂② (二)遠藤 滯②

戦評

金沢学院大学、本村の2本塁打、打点4で8回タイブレークサヨナラ勝ち

初めは先制を許した金沢学院大学だったが3回遠藤の右翼線二塁打で得点圏に走者を置くと原の右翼前適時打本村の中越え2点本塁打で同点に追いついた。取られたら取り返す粘りを見せタイブレークに持ち込んだ8回裏氏丸の左翼越え適時打でサヨナラ勝ちを制した。

日本文理大学も初回到川畑の中越え3点本塁打で先制点を奪い、その後も追加点を挙げ優勢を保っていたが同点に追いつかれた後半、タイブレークの走者を本塁に返すことができず惜敗した。

球審	森下 豊	副審1	杉原 恒雄
一塁塁審	杉浦 真一	副審2	
二塁塁審	岡田 雅和	記録員	中根 登
三塁塁審	北村 政彦	放送員	松井 佑佳

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 3

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 13時39分	終了時間: 15時38分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間59分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
神戸親和女子大学	0	6	0	0	0	0	0								6
東京国際大学	2	3	0	0	2	0	x								7

	神戸親和女子大学	東京国際大学		神戸親和女子大学	東京国際大学
バッテリー	(投手) 碓氷 英里 ●有元 茜 山口千沙澄 (捕手) 山口 歩	(投手) ○鈴木りりか (捕手) 馬場日花里	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)		(二)菊地 香乃

戦評

序盤の失点にも諦めず東京国際大学逆転の勝利

2点を先制した2回表、投手の立ち上がりを攻められた東京国際大学は6点を失うがその裏の先頭打者が四球で出塁すると吉田、川口の重盗、馬場の盗塁と足を使った攻撃で走者を進め1点差まで追いついた。更に5回にも盗塁や犠打を織り交ぜ走者を進め川口の中前安打で逆転に成功した。

神戸親和女子大学も2回の大量得点の後、さらに追加点を奪おうとしたが有元、山口の好投に遮られあと1点が挙げられず惜敗し涙を吞んだ。

球審	岡田 光	副審1	岡田 雅和
一塁塁審	椎原 親志	副審2	
二塁塁審	渡邊 英裕	記録員	谷口 謙一
三塁塁審	杉原 恒雄	放送員	庄村 瑠衣

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 4

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 16時05分	終了時間: 17時39分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間34分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
太成学院大学	0	0	0	1	0	0	0								1
日本体育大学	0	0	0	1	1	0	x								2

	太成学院大学	日本体育大学		太成学院大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ●岡 真里流	(投手) ○長谷川 鈴夏 中山日 菜子 浅井 茉琳	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(二)藤田 直	(本)山田 柚葵 (三)内田小百合
	(捕手) 金橋 郁美 山内 純怜	(捕手) 山田 柚葵			

戦評

内田の痛烈な三塁打が決勝打点に！日本体育大学初戦突破

試合が動いたのは打者一巡した後の4回だった。太成学院大学に先制を許した日本体育大学は1打席目にも安打で出塁した山田、二死走者無しの場面から山田が放った打球は外野フェンスを越えた、同点に追いつき更に反撃に出た日本体育大学は「このままでは終わらない」と5回二死走者一塁の場面で内田の一塁手の横を抜ける痛烈な三塁打で逆転に成功し勝利した。対する太成学院大学も藤田の左翼越え二塁打で先制したがその後に走者を出すことができず敗退した。

球審	杉浦 真一	副審1	渡邊 英裕
一塁塁審	森下 豊	副審2	
二塁塁審	岡田 雅和	記録員	伊藤 富栄
三塁塁審	北村 政彦	放送員	松井 佑佳

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 5

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	安城市総合運動公園野球場A球場
開始時間 : 09時05分	終了時間 : 10時51分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間46分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
園田学園女子大学	0	1	1	0	1	0	0								3
東京女子体育大学	0	0	3	0	1	0	x								4

	園田学園女子大学	東京女子体育大学		園田学園女子大学	東京女子体育大学
バッテリー	(投手) 横谷 瑞希 ●秋豆 朱音 (捕手) 平岡 花	(投手) 柳橋 里奈 ○佐々木さくら 久本 美波 (捕手) 井上 葉菜	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)藤森 捺未	(本)高島 歩 (三)瀧野 琉香 (二)瀧之上果菜

戦評

東京女子体育大学追いつかれるも逃げ切り勝利する

東京女子体育大学は2点リードされた3回裏、一死、二、三塁でレフトへの犠飛で1点を返しさらに高島の本塁打で逆転した。その後も同点にされた直後に三塁打で出塁した瀧野をライトゴロで返し、勝ち越し点を挙げて逃げ切った。

一方の園田学園大学は2回に3安打で1点を先制、3回にも石野のレフトオーバーの本塁打で加点し優位に進め5回には四球から同点に追いつく粘りを見せたが惜敗した。

球審	草本 光伯	副審1	二宮 辰雄
一塁塁審	有福 和彦	副審2	
二塁塁審	久保 能之	記録員	安達 正明
三塁塁審	清水 規高	放送員	山口 夏奈

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 6

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	安城市総合運動公園野球場A球場
開始時間: 11時22分	終了時間: 13時25分	中断時間: 00時間06分	試合時間: 01時間57分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京大学	2	0	1	0	1	0	0								4
早稲田大学	0	1	0	0	0	0	2								3

	中京大学	早稲田大学		中京大学	早稲田大学
バッテリー	(投手) ○西川 沙希 坪野 三咲	(投手) ●増田 侑希 新宮 怜美	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)高瀬 沙羅 (二)武富 沙耶 川口 茉菜	(二)反町 結佳②
	(捕手) 安山 涼香	(捕手) 渡邊 佳子			

戦評

僅差の試合、効率よい長打で中京大学が勝利

初回一死から片岡が塁に出ると四番打者武富が中越え二塁打で、さらに川口の適時打でそれぞれの走者を返し2点を先制した。その後も川口の左中間二塁打、高瀬の左翼越本塁打で追加点を挙げ試合を優位に進めた。追いかける形になった早稲田大学だったが走者が三塁まで進んでもなかなか本塁を踏むことができず最終回の先頭打者が四球で出塁後、反町の左翼越二塁打で一死二、三塁の好機に三番堀の遊撃安打で1点差まで追い詰めたがあと1本が続かず惜敗した。

球審	安藤 元伸	副審1	清水 規高
一塁塁審	柴田 孝広	副審2	
二塁塁審	内藤 繁	記録員	高須 久美
三塁塁審	二宮 辰雄	放送員	横地 栞

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 7

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	安城市総合運動公園野球場A球場
開始時間: 13時55分	終了時間: 15時12分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間17分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
立命館大学	0	0	1	0	0	0	0								1
城西大学	0	1	0	2	0	0	x								3

	立命館大学	城西大学		立命館大学	城西大学
バッテリー	(投手) 小實 千尋 ● 本田 明梨	(投手) 大平 綾子 ○ 遠藤 光姫	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(二) 二宮 杏奈	(二) 小嶋 楓 藤原 奈実
	(捕手) 二宮 杏奈	(捕手) 小嶋 楓			

戦評

城西大学4回に3本の安打と犠打で貴重な追加点をを挙げ勝利

同点で迎えた4回、城西大学は四番今田の安打で出塁後、六番小暮の犠飛で逆転に成功しさらに藤原の二塁打、小島の適時打で追加点を挙げ勝利した。

惜しくも敗れた立命館大学は3回の小八木、井口、中村の安打による貴重な1点以降、走者を三塁に進めることができなかった

球審	有福 和彦	副審1	内藤 繁
一塁塁審	草本 光伯	副審2	
二塁塁審	久保 能之	記録員	日野 倫子
三塁塁審	清水 規高	放送員	山口 夏奈

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 8

会場所在地: 愛知県安城市

第1日	2020年11月10日	1回戦	安城市総合運動公園野球場A球場
開始時間: 15時46分	終了時間: 17時25分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間39分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
富士大学	0	2	0	0	0	0	0	0							2
IPU・環太平洋大学	0	0	2	0	0	0	0	1x							3

	富士大学	IPU・環太平洋大学		富士大学	IPU・環太平洋大学
バッテリー	(投手) ●井上あやめ	(投手) ○後藤明日香	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(三)渡辺 翠	(二)井田 芽衣
	(捕手) 加藤 花澄	(捕手) 女鹿田千紘			

戦評

IPU環太平洋大学、タイブレークにもつれ込みサヨナラ勝利

序盤に2点を先制されたIPU・環太平洋大学だったがその裏九番小寺がバント安打で出塁すると相手の守備の乱れに乗り同点に追いついた。その後は両チームともに打線が続かずタイブレークにもつれ込んだ8回裏の無死満塁の場面で田村の中飛球が犠牲打となりサヨナラ勝利を収めた。

対する富士大学も渡辺の右翼越三塁打で先制点を奪ったがその後の追加点が挙げられず惜しくも敗れた。

球審	柴田 孝広	副審1	久保 能之
一塁塁審	安藤 元伸	副審2	
二塁塁審	内藤 繁	記録員	近藤美由紀
三塁塁審	二宮 辰雄	放送員	横地 栞

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 9

会場所在地: 愛知県安城市

第2日	2020年11月11日	2回戦	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間 : 09時04分	終了時間 : 10時57分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間53分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
東海学園大学	0	0	0	0	0	2	0								2
金沢学院大学	0	0	1	0	0	0	2x								3

	東海学園大学	金沢学院大学		東海学園大学	金沢学院大学
バッテリー	(投手) ●藤本 恵未 (捕手) 豊島 彩宇	(投手) 上田萌々香 ○田畑 七海 (捕手) 氏丸 陽南	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)		(二)松井ひとみ

戦評

投手戦を制し金沢学院大学サヨナラ勝ちで準決勝進出へ

先制をした金沢学院大学は途中で逆転を許してしまうが最終回の先頭打者が死球で出塁すると、この試合代打で打席に入った松井が左翼線二塁打を放ち同点に追いつき一番遠藤の一塁を抜ける適時打でサヨナラ勝利をもぎ取った。東海学園大学は4回まで安打が出ず打ちあぐねていたが終盤6回に上村が中前安打で出塁し福本の内野安打で2点を返し逆転に成功した。しかし最後まで守り切ることが出来ず惜敗した。

球審	安藤 元伸	副審1	草本 光伯
一塁塁審	北村 政彦	副審2	
二塁塁審	椎原 親志	記録員	谷口 謙一
三塁塁審	柴田 孝広	放送員	庄村 瑠衣

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 10

会場所在地: 愛知県安城市

第2日	2020年11月11日	2回戦	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 11時24分	終了時間: 13時13分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間49分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
東京国際大学	1	0	0	0	0	1	0								2
日本体育大学	0	0	0	0	1	0	2x								3

	東京国際大学	日本体育大学		東京国際大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ●鈴木りりか (捕手) 馬場日花里	(投手) 中山日菜子 浅井 茉琳 ○長谷川鈴夏 (捕手) 山田 柚葵	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(三)菊地 香乃	(二)山田 柚葵 宮本 怜実

戦評

二死からの底力魅せた！！日本体育大学、宮本の二塁適時打でサヨナラ勝利

中盤までは走者を出しても相手の好守備に阻まれ得点が挙げられなかった日本体育大学だったが、その守備の選択によって出塁した川上が塁に出ると九番舟阪が中前安打を打ち同点に追いついた。しかしその後再び逆転を許してしまう。だがそこから最後まで諦めない日本体育大学の底力、二死二塁から再び舟阪の適時打で同点に追いつくと宮本の左中間二塁打でサヨナラ勝利を決めた。

初回の守備の乱れで1点を先取し、その後も安打を打たせず踏ん張ってきた東京国際大学だったが最後の最後に抑えることが出来ず惜しくも敗れた

球審	中川 孝義	副審1	柴田 孝広
一塁塁審	草本 光伯	副審2	
二塁塁審	岡田 光	記録員	浜島 美香
三塁塁審	豊阿弥隆昭	放送員	穴井 結夏

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 11

会場所在地: 愛知県安城市

第2日	2020年11月11日	2回戦	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 13時41分	終了時間: 16時07分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 02時間26分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京大学	0	0	2	0	0	4	0								6
東京女子体育大学	0	0	0	1	0	2	0								3

	中京大学	東京女子体育大学		中京大学	東京女子体育大学
バッテリー	(投手) ○西川 沙希 (捕手) 安山 涼香	(投手) ●柳橋 里奈 久本 美波 佐々木 さくら (捕手) 井上 葉菜	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)		

戦評

追撃を振り切り中京大学準決勝進出

1点差で迎えた6回表、中京大学が動き出した。先頭打者川口の安打を筆頭に打者一巡6打数4安打3四死球、常に次を狙う走塁でこの回4点を挙げ試合の流れを掴んだ。投げては西川が力投し投手の頑張りに打者も応える投打が噛み合った試合をし勝利した。対する東京女子体育大学も4回には二死一、三塁からの大川、石野による重盗で貴重な1点をもぎ取りさらに追加点を挙げようと粘ったが終盤に失った4点の重さに泣いた。

球審	北村 政彦	副審1	岡田 光
一塁塁審	椎原 親志	副審2	
二塁塁審	柴田 孝広	記録員	近藤美由紀
三塁塁審	安藤 元伸	放送員	庄村 瑠衣

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 12

会場所在地: 愛知県安城市

第2日	2020年11月11日	2回戦	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 16時33分	終了時間: 17時58分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間25分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
城西大学	0	1	3	0	0	0	0								4
IPU・環太平洋大学	0	0	0	1	0	0	0								1

	城西大学	IPU・環太平洋大学		城西大学	IPU・環太平洋大学
バッテリー	(投手) ○遠藤 光姫 (捕手) 小嶋 楓	(投手) 上村 紗輝 ●遠藤 杏樺 (捕手) 女鹿田千紘	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)永野川 彩 (二)今田 まな 岩佐 美歩	

戦評

永野川の3点中越え本塁打が決勝点に！城西大学ベスト4入り

先取点を奪った城西大学はその後三番岩田の中越え二塁打と今田が四球を選び二死一、二塁とした後、五番永野川の3-2のフルカウントからの中越え3点本塁打が決勝点となり勝利を決めた。

IPU・環太平洋大学は4回に女鹿田の内野安打で1点を返したが遠藤の好投で三安打に抑えられ敗退した。

球審	豊阿弥隆昭	副審1	椎原 親志
一塁塁審	岡田 光	副審2	
二塁塁審	中川 孝義	記録員	日野 倫子
三塁塁審	草本 光伯	放送員	穴井 結夏

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 13

会場所在地: 愛知県安城市

第3日	2020年11月12日	準決勝	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間 : 10時01分	終了時間 : 12時05分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 02時間04分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
日本体育大学	2	0	1	0	1	1	0								5
金沢学院大学	0	0	0	0	1	1	0								2

	日本体育大学	金沢学院大学		日本体育大学	金沢学院大学
バッテリー	(投手) ○長谷川鈴夏 浅井 茉琳 新田 茜	(投手) ●上田萌々香 福田 莉花 田畑 七海	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)藤村綺良々 白石 千晴 (三)内田小百合	(本)奥本 純子 氏丸 陽南 (三)角平 優
	(捕手) 山田 柚葵	(捕手) 氏丸 陽南			

戦評

金沢学院大学の追い込みを振り切り日本体育大学決勝に進む！！

投手の立ち上がりを攻めた日本体育大学は先頭打者宮本の右翼線安打に始まり内田の強烈な一塁強襲三塁打、亀田の中堅への犠牲飛球、藤村の右中間適時打で2点を奪った、その後も藤村、白石の中越え本塁打と長打で5点を挙げ決勝戦へと駒を進めた。金沢学院大学も安打は出るが打線が続かず九番代打に入った奥本の右翼越え本塁打と四番氏丸の中越え本塁打の2点のみにとどまり反撃することが出来なかった。

球審	岡田 光	副審1	柴田 孝広
一塁塁審	草本 光伯	副審2	
二塁塁審	北村 政彦	記録員	谷口 謙一
三塁塁審	杉浦 真一	放送員	庄村 瑠衣

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 14

会場所在地: 愛知県安城市

第3日	2020年11月12日	準決勝	デンソーブライトペガサススタジアムA球場
開始時間 : 12時41分	終了時間 : 14時35分	中断時間 : 00時間00分	試合時間 : 01時間54分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	得点差コールド
中京大学	0	0	0	3	0	7									10	
城西大学	1	0	1	0	0	1x									3	

	中京大学	城西大学		中京大学	城西大学
バッテリー	(投手) ○坪野 三咲 西川 沙希 坪野 三咲 (捕手) 安山 涼香 出羽 瑞果	(投手) ●遠藤 光姫 大平 綾子 (捕手) 小嶋 楓	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)安山 涼香 (二)安田優莉音 川口 茉菜 本間 友菜 安山 涼香	(本)小暮 沙希 (二)今田 まな 鈴木 美結

戦評

6回の猛攻！一挙7得点で引き離し中京大学決勝戦へ

中京大学打線が火を噴いた！序盤は先制を許した中京大学だったが4回に川口の中堅横二塁打、安山の右中間本塁打で逆転に成功するとさらに6回には打者12人10打数6安打の猛攻で一挙に7点を挙げ点差を8点に引き離した。対する城西大学も初回と3回に今田の二塁打と適時打で先制していたが点差が離された6回裏、小暮の左翼越本塁打で1点を返すのみに留まり悔しい敗戦となった

球審	中川 孝義	副審1	杉浦 真一
一塁塁審	椎原 親志	副審2	
二塁塁審	木戸 浩人	記録員	浜島 美香
三塁塁審	柴田 孝広	放送員	穴井 結夏

2020全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会

《大会速報》 試合番号 15

会場所在地: 愛知県安城市

第3日	2020年11月12日	決勝	デンソーブライトペガサスタジアムA球場
開始時間: 15時13分	終了時間: 17時08分	中断時間: 00時間00分	試合時間: 01時間55分

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中京大学	2	0	2	0	2	0	0								6
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	0								0

	中京大学	日本体育大学		中京大学	日本体育大学
バッテリー	(投手) ○西川 沙希 (捕手) 安山 涼香	(投手) ●長谷川 鈴夏 持田 みなみ 浅井 茉琳 (捕手) 山田 柚葵	長打 (本塁打・三塁打・二塁打)	(本)武富 沙耶②	

戦評

武富の2点本塁打2本と西川の完投完封で監督も涙の中京大学優勝

中京大学が着実に点を重ね優勝への階段を上った。

初回には相手の守備の乱れを突き2点を先取した中京大学は3回と6回に四番打者武富が走者を一塁に置いての2点本塁打を叩き出し1試合に2点本塁打2本という快挙を成し遂げ勝利に貢献した。投げては西川が野手を信頼したピッチングで完封完投勝利し最優秀選手に輝いた。惜しくも準優勝となった日本体育大学も随所に野手の好守備があり更なる追加点を抑えたが打線が繋がらず本塁を踏むことが出来なかった。

球審	草本 光伯	副審1	椎原 親志
一塁塁審	岡田 光	副審2	
二塁塁審	北村 政彦	記録員	日野 倫子
三塁塁審	杉浦 真一	放送員	庄村 瑠衣

逆境をのりこえての日本一

中京大学女子ソフトボール部主将 安山 涼香

優勝した瞬間の気持ちを振り返ると、嬉しいという気持ちもちろんありましたが、それより強かったのは、張り詰めていたものがプツンと切れた安堵感のようなものでした。昨年、同じ場所での大敗に大泣きした自分にとって、その借りを返すと心に決めて挑んだ4試合が終わり、ほっとした気持ちと共に涙が溢れました。代替大会開催に向けて、最後まで可能性を捨てず、尽力して下さった二瓶さんとお互いに泣きながら握手をし、1年間必死にチームを運営した副主将とお互いに泣きながら抱き合いました。スタンドを見上げると、祝福の言葉が聴こえ、嬉しさが込み上げてきました。希望を捨てずにやってきて良かった、結果で恩返しするってこういうことなのかなと感じた瞬間でした。コロナウイルスにより生活が激変した2020年、部活動が学校全体で停止となる期間があり、自分の事とチームの事を抱えたこの1年間は、私にとって本当に長い時間でした。昨年のチーム運営とは大きく異なり、対応力と決断力が求められ、悩みながら進んだキャプテン生活でした。しかし、そんな中でも1つ言えることは、誰も先のことを諦めていなかったということです。特に4年生は就活と両立しながら、しっかりとモチベーションを保ち、日々練習とトレーニングを重ねていたと思います。

インカレ代替大会が始まる直前のチーム状況は、必ずしも最高とは言い切れませんでした。今年の東海地区は秋リーグの日程変更があり、代替大会前に秋リーグが開催されました。インカレ後の秋リーグは新チームで臨みますが、今年は大会が前後したため、4年生はサポートに入ることが多く、インカレ前ではありましたが練習量が減りました。秋リーグが開催される頃には、すでに代替大会まで残り1か月となり、大会までの試合数も少なかったため、私の中ではチームを仕上げていかなけれ

ばならないのという焦りが非常に大きくなっていきました。後輩たちに任せる練習風景を見て、正直、後輩の練習に取り組む姿勢や態度に憤りを感じることもありました。今振り返ると、私の気持ちに気付いていた後輩には気を遣わせて申し訳なかったなと思います。秋リーグが終わると、4年生も合流したチームで再始動しました。そして短い時間の中でチームの弱みを徹底的に潰していき、必要な練習を効率良く行うことができました。この期間での学生からの練習内容への要望を二瓶さんが受け入れてくださったことも、監督と選手との信頼、効率的な練習をすることに繋がったと思います。

代替大会を終え、今年のチームを振り返ると、私は今年ならではの魅力が2つあったと思います。1つは部員の気持ちと芯の強さです。今年のチームは、代替大会の予選も含めて、プレッシャーに負けず、追い込まれた時に結果を出せる選手が非常に多かったです。私も見て嬉しくなるほど、試合中のみんなの表情は輝いていて、ソフトボールを心から楽しんでいるチームでした。負けていても誰も下を向かず、サポートに回ってくれていたメンバー外の子たちのためにも、非常に強い気持ちを持った選手が多かったと思います。もう1つは、4年生のバランス力です。4年生はプレーでチームを引っ張る人の方が少なかったですが、後輩が試合に出ていく悔しさを表には出さず、4年生各々が自分の役割を理解し、最後まで自分の出来ることを精一杯やっていたと思います。姿勢や態度、人間性で引っ張るタイプの同期が、グラウンドでは怒ってばかりの私をフォローしてくれたからこそ、チームが成り立っていたなと改めて感じます。

多くの方のご尽力があり、コロナ禍でもインカレ代替大会が開催されたこと、またこの大会に出

場させていただいたことは今年でなければ経験できなかった、ある意味でとても特別な1年だったなど、本当に感謝しています。また、その色々な想いの詰まった大会で試合をさせていただき、日

本の頂点に立てたことは、私にとっても、チームにとっても、これから先、一生忘れることのない貴重な時間でした。本当に有難うございました。

女子大会打撃ベスト20 (規定打席数8以上)

順位	補殺	刺殺	失策	守備率	氏名	チーム名	打席	打点	安打	得点	犠牲打				盗塁	残塁	打撃妨害	出塁	打率	本塁打	三塁打	二塁打	出塁率	試合数		
											B	F	球	球												
1	6	10	0	1.000	舟阪 育枝	日本体育大学	8	6	4	1	2	1	0	1	0	0	0	3	0	5	0.667	0	0	0	0.714	4
2	1	5	0	1.000	川口 茉菜	中京大学	14	14	9	3	4	0	0	0	0	0	1	8	0	9	0.643	0	0	2	0.643	4
3	3	7	0	1.000	今田 まな	城西大学	9	8	5	2	2	0	0	1	0	0	0	3	0	6	0.625	0	0	2	0.667	3
4	3	22	0	1.000	片岡 僚子	中京大学	16	15	8	5	2	0	0	0	1	1	2	2	0	9	0.533	0	0	0	0.563	4
5	0	31	0	1.000	内田小百合	日本体育大学	13	13	6	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	6	0.462	0	2	0	0.462	4
6	2	15	0	1.000	山田 柚葵	日本体育大学	13	11	5	1	2	0	0	2	0	0	0	3	0	7	0.455	1	0	1	0.538	4
7	1	4	0	1.000	安田優莉音	中京大学	13	10	4	2	5	0	0	3	0	1	0	4	0	7	0.400	0	0	1	0.538	4
7	0	8	1	0.889	鈴木 美結	城西大学	10	10	4	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0	4	0.400	0	0	1	0.400	3
9	2	13	0	1.000	氏丸 陽南	金沢学院大学	10	6	2	2	2	0	0	2	2	0	1	5	0	6	0.333	1	0	0	0.600	3
9	7	5	0	1.000	遠藤 滯	金沢学院大学	12	12	4	2	1	0	0	0	0	4	1	3	0	4	0.333	0	0	2	0.333	3
9	0	3	0	1.000	本村 夏穂	金沢学院大学	9	9	3	2	5	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0.333	2	0	0	0.333	3
9	0	0	0		藤村綺良々	日本体育大学	13	12	4	1	1	0	0	1	0	2	0	2	0	5	0.333	1	0	0	0.385	4
13	2	5	0	1.000	武富 沙耶	中京大学	16	13	4	3	5	0	0	2	1	4	0	2	0	7	0.308	2	0	1	0.438	4
14	0	4	0	1.000	白石 千晴	日本体育大学	12	10	3	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	4	0.300	1	0	0	0.364	4
15	4	8	0	1.000	上村 奈実	東海学園大学	8	7	2	2	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3	0.286	0	0	0	0.375	2
15	7	5	0	1.000	宮本 怜実	日本体育大学	14	14	4	2	1	0	0	0	0	3	1	2	0	4	0.286	0	0	1	0.286	4
15	2	24	0	1.000	安山 涼香	中京大学	15	14	4	1	4	1	0	0	0	4	0	0	4	0.286	1	0	1	0.286	4	
15	0	4	0	1.000	小暮 沙希	城西大学	9	7	2	1	2	0	1	1	0	1	0	3	0	3	0.286	1	0	0	0.333	3
19	10	11	0	1.000	高瀬 沙羅	中京大学	16	13	3	4	1	0	0	2	1	1	4	1	0	6	0.231	1	0	0	0.375	4
20	0	0	0		原 茂那	金沢学院大学	11	9	2	1	1	0	0	1	1	1	0	2	0	4	0.222	0	0	0	0.364	3
20	2	25	0	1.000	中尾 友香	金沢学院大学	10	9	2	0	0	1	0	0	0	1	2	3	0	2	0.222	0	0	0	0.222	3

女子大会投手成績ベスト7 (規定投球イニング数9以上)

順位	氏名	チーム名	投球回数	打者数	打点	被安打	失点	自責点	被犠牲打		与四球	与死球	奪三振	暴投	不正投	打撃妨害	投球数	防御率	勝利数	敗戦数	勝率	試合数		
									B	F														
1	西川 沙希	中京大学	22	2/3	96	85	22	5	5	4	0	4	3	20	1	0	0	0	346	1.54	3	0	1.000	4
2	鈴木りりか	東京国際大学	13	2/3	58	47	11	9	4	3	0	7	1	11	0	1	0	0	238	2.05	1	1	0.500	2
3	長谷川鈴夏	日本体育大学	13	1/3	55	50	12	5	4	1	0	2	2	10	1	0	0	0	214	2.10	3	1	0.750	4
4	遠藤 光姫	城西大学	15	1/3	56	53	9	5	5	1	0	2	0	9	1	0	0	0	217	2.28	2	1	0.667	3
5	上田萌々香	金沢学院大学	11		45	37	9	4	4	3	1	2	2	8	0	0	0	0	138	2.55	1	1	0.500	3
6	浅井 茉琳	日本体育大学	10		42	39	10	5	5	1	0	1	1	4	3	0	0	0	131	3.50	0	0	0.000	4
7	福田 莉花	金沢学院大学	9	2/3	46	41	14	8	8	3	0	1	1	1	3	1	0	0	140	5.79	0	0	0.000	2

「全国大学選抜男子・女子ソフトボール選手権大会」ご協賛者一覧

本大会にご協賛いただきました企業様、チーム様、関係団体様、個人様のご芳名です。振込名を利用しているため、漢字とカタカナが混在した表記となっています。また、皆様の所属名、事前に匿名を希望された方については掲載をしておりません。なお、銀行にも問い合わせをしましたが、お振込名がわからない方もいらっしゃいました。大変申し訳ございませんが、失礼の段、お許しいただきたく存じます。皆様のお力添えで成功裏に大会を終了することができました。ここに記して御礼申し上げます。

住吉グループ	ウエノ ヨシユキ	ハギワラ マナブ	高橋 宏允
戸田中央医科グループ	オオギ アキヒト	橋本 清	三谷 舜
(株)日本旅行	岡野 孝祐	ハゼヤマ リュウジ	山田真一郎
名鉄観光サービス	オカモト アツシ	ハットリ ソウ	山田 裕樹
伊予銀行	オキ ユカコ	ハマダ ヨシオ	柴田 芳樹
S Gホールディングス	オゼキ カツヤ	ハヤシ カズヤ	小川 直文
塩野義製薬	オダ マサヒロ	ハヤシシュウイチロウ	小島 郊正
ホンダ技研工業	カタヤマ マサト	ハヤシ タクヤ	小堀 範行
中埜総合印刷	ガネコ クミコ	フジサキ ヒトシ	小林 麻紀
太陽誘電(株)	カワカミ テツユキ	マエダ タカノリ	松本 尚弥
日本精工(株)	カンノ マサヒロ	マスダ ヒロユキ	乗山 弘誓
トヨタ自動車(株)	キタ タツミ	ヤマザキ タツエイ	石村 寛
(株)豊田自動織機	キタガワ ヒロツグ	ヤマシタ ケイスケ	川合 静江
(株)デンソー	クドウ ハジメ	ヤマモト ユウゾウ	川上 哲行
サミージャパン(株)	ゴトウ ユウタ	ナメカタ	太田 亮介
高崎市役所ソフトボール部	サトウタツヤ	カワグチ ダイ	大越真理子
大阪桃次郎	シゲマツ ユウスケ	マツダ ユウタ	竹添 克幸
ホンダソフトボール部	スズキ マサアキ	ワタナベ タケヒロ	中村 亮介
日本エコシステム	セキネ コウイチ	ノリヤマ セイコ	田岡 幸一
ソフトボールタイムズ	チダ トモコ	カネムラ アキノリ	島内 卓
愛媛ウエスト	チバケイアイコウコウ	カンサ	波多野カズキ
大阪グローバル	ヤマシタ ナメカタ	越野 倫生	平林 久尚
島田クラブ カイケ	チュウタ マコト	角島準之助	木川 学
立命館大学体育会男子	ツチダ ヒロキ	吉形 太佑	野口 義文
ソフトボール部OB会	テラニシ トオル	吉村 啓	林 浩司
日本体育大学OB・OG会	長澤 正子	吉田 遵	林 卓磨
啓新高等学校	ナカダ マサヒロ	橋爪 岳彦	和氣 浩行
アオキ トヨミツ	中津川市消防	近藤 晴彦	
天野 充敏	ナガト ヒロシ	金井 駿樹	※順不同、敬称略
イトウ ケイイチ	ナガノ ケイスケ	金山 大介	※学連役員は除く
	ナゴシ トモカズ	金石 要次	

機関誌ウインドミルの原稿並びに研究企画などの募集

来年度以降も、内容をいっそう充実・発展させていくために、どしどし原稿をお願いします。論説、提言から研究報告、あるいは情報の提供に至るまで、多様なものを期待しています。とともに、こんな研究内容や企画をしてほしい！というようなものがあれば、併せて連絡をくださいますようお願いいたします。特に学生の皆さんから。なお、毎年11月末日が原稿の〆切となりますが、随時受付しておりますので、下記までお問い合わせください。

森 田 啓 之

〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1 兵庫教育大学

TEL&FAX：(0795)44-2227

E-mail:hmorita@hyogo-u.ac.jp

投 稿 規 程

1. 投稿資格

原稿を投稿できる者は、全日本大学ソフトボール連盟に登録された者（理事、監督、コーチ、選手等）に限る。調査・研究委員会が特に必要と認めた者については、この限りではない。

2. 投稿内容

内容はソフトボールに関するものとし、巻頭言、提言、総説、論文（含. 抄録）、実践研究、事例報告、卒・修論、その他などとする。原稿は、原則として一編につき本誌4ページ以内（巻頭言、提言の場合は1ページ以内）とするが、調査・研究委員会が必要と認めた場合はこの限りで

平成11年7月30日交付
はない。なお、未刊行のものが望ましいが、既刊のものであってもよい。

3. 投稿原稿の審査

原則として投稿されたものはすべて受理・採択する。

なお、書式等に問題がある場合は、調査・研究委員会名で修正を求める場合がある。

4. 原稿の提出

原稿は所定の執筆要項に準拠して作成し、総説、論文などの別を指定して、調査・研究委員会へ書留郵便で送付する。投稿の締め切りは特に設けないが、毎年11月30日で区切るものとする。

執 筆 要 項

原稿は以下の事項を厳守されたい。

投稿原稿をそのままオフセット印刷するので、原稿を作成する場合は、A4版縦置き横書き、本文は全角22字×40行の2段組（上下余白20mm・左

右余白20mm・段間10mm）、文字サイズは10ポイント・和文フォントは明朝体を基本とする。ワープロソフトは、「Word」もしくは「一太郎」とし、CD-Rなどのメディアとともに提出すること。

令和2・3令和元年度 全日本大学ソフトボール連盟役員名簿

職名	氏名	所属	氏名	所属
会長	中野元	熊本学園大学	—	
副会長	丸山悟	日本福祉大学	高橋伸次	高崎経済大学
顧問	角田真一郎	早稲田大学名誉教授	水野信義	WSM教育研究所
	斎藤滋雄	学習院大学名誉教授	大内敬哉	中京大学名誉教授
	中野紀明	国士舘大学名誉教授	末井健作	兵庫県立大学名誉教授
	武藤幸政	城西大学名誉教授	小嶋高良	八戸工業大学名誉教授
理事長	岩間英明	松本大学	—	
副理事長	柳田信也	東京理科大学	二瓶雄樹	中京大学
常任理事	森田啓之	兵庫教育大学（事務局長） hmorita@hyogo-u.ac.jp		
	舟山健一	東北福祉大学	多田邦宏	金沢学院大学
	高橋流星	日本体育大学	和田正志	中京学院大学
	吉末和也	関西大学	西村信紀	環太平洋大学
	伊勢幸広	高知工科大学	濱貴一	熊本学園大学
	増淵まり子	淑徳大学	木田京子	園田学園女子大学

理事	大塚 健 樹	盛岡大学	高 橋 知 美	富士大学
	長 澤 淑 恵	城西大学	高 橋 光 平	城西国際大学
	新 井 喜代加	松本大学	佐 藤 理 恵	東京女子体育大学
	加 藤 有 希	国士舘大学	川 崎 千 明	岐阜協立大学
	東 美 幸	東海学園大学	吉 田 智 行	神戸学院大学
	鈴 木 正 明	四天王寺大学	土 谷 文 乃	美作大学
	加 藤 有 希	広島国際学院大学	藤 本 賢 一	四国大学
	竹 下 俊 一	第一工業大学	山 中 卓	鹿児島国際大学
	野 田 堅 三	福岡大学	水 谷 博	会長推薦
評議員	平 良 拓 也	仙台大学	金井塚 和 希	高崎経済大学
	田 浦 定 一	清和大学	荒 井 信 成	白鷗大学
	近 藤 弘 康	長岡大学	林 弓 実	日本体育大学
	高 島 結 珠	国士舘大学	古宇田 佳 愛	日本福祉大学
	萱 野 貴 広	静岡大学	宮 澤 千 尋	南山大学
	大 島 新 司	大阪工業大学	児 玉 公 正	大阪大谷大学
	小 林 朝 子	羽衣国際大学	佐古井 倫 子	立命館大学
	山 本 清 人	IPU環太平洋大学	小 阪 芙由美	中国学園大学
	富 田 国 興	広島修道大学	平 野 利 幸	松山大学
長 澤 桂 子	日本文理大学	井 上 博 司	熊本学園大学	
監 事	細 田 きみ子	東京女子体育大学	平 野 義 明	関西大学

令和2年度 男子加盟大学一覧

全日本大学ソフトボール連盟

地 区	数	加 盟 大 学 名
北海道・東北	7	仙台大学 東北大学 日本大学工学部 福島大学 北海道大学 宮城教育大学 盛岡大学
関 東	16	茨城大学 国際武道大学 埼玉大学 城西大学 高崎経済大学 千葉大学 筑波大学 中央学院大学 都留文科大学 東海大学 東京国際大学 東京理科大学 日本大学生物資源科学部 日本大学生産工学部 文教大学 山梨学院大学
北 信 越	7	金沢大学 信州大学 諏訪東京理科大学 富山大学 長岡大学 福井大学 福井県立大学
東 京	17	桜美林大学 学習院大学 慶應義塾大学 国士舘大学 成蹊大学 中央大学 帝京大学 東京大学 東京学芸大学 東洋大学 日本大学 日本体育大学 文教大学湘南 明治大学 明星大学 立教大学 早稲田大学
東 海	14	愛知大学 愛知学院大学 愛知教育大学 岐阜聖徳学園大学 静岡大学 中京大学 中京学院大学 中部大学 東海学園大学 常葉大学 名古屋大学 南山大学 日本福祉大学 名城大学
近 畿	27	大阪大学 大阪経済大学 大阪経済法科大学 大阪工業大学 大阪産業大学 大阪市立大学 大阪教育大学 大阪体育大学 大阪府立大学 関西大学 関西学院大学 京都大学 京都先端科学大学 京都産業大学 近畿大学 神戸大学 神戸学院大学 甲南大学 四天王寺大学 摂南大学 同志社大学 兵庫教育大学 兵庫県立大学 佛教大学 立命館大学 龍谷大学 和歌山大学
中 国	11	岡山大学 岡山理科大学 環太平洋大学 近畿大学工学部 島根大学 鳥取大学 広島大学 広島経済大学 広島工業大学 広島修道大学 広島国際学院大学
四 国	7	愛媛大学 香川大学 高知工科大学 四国大学 徳島大学 松山大学 高知大学
九 州	10	大分大学 鹿児島国際大学 九州大学 九州共立大学 九州産業大学 熊本学園大学 西日本工業大学 福岡大学 宮崎大学 名城大学

令和2年度 女子加盟大学一覧

全日本大学ソフトボール連盟

地 区	数	加 盟 大 学 名
北海道・東北	7	仙台大学 東北福祉大学 弘前大学 富士大学 北翔大学 宮城教育大学 宮城学院女子大学
関 東	18	茨城大学 国際武道大学 埼玉大学 相模女子大学 淑徳大学順 順天堂大学 城西大学 城西国際大学 清和大学 千葉大学 筑波大学 東海大学 東京国際大学 日本大学生物資源科学部 新島学園短期大学 白鷗大学 文教大学 山梨学院大学
北 信 越	5	金沢大学 金沢学院大学 信州大学 富山大学 松本大学
東 京	16	桜美林大学 学習院大学 慶應義塾大学 国士舘大学 実践女子大学 成蹊大学 中央大学 東京学芸大学 東京女子体育大学 東京富士大学 東洋大学 日本大学 日本女子体育大学 日本体育大学 明治大学 早稲田大学
東 海	13	愛知教育大学 岐阜協立大学 岐阜聖徳学園大学 至学館大学 静岡大学 星城大学 中京大学 中京学院大学 中部学院大学 東海学園大学 常葉大学 名古屋大学 日本福祉大学
近 畿	23	大阪青山大学 大阪大谷大学 大阪国際大学 大阪体育大学 大阪府立大学 関西大学 京都先端科学大学 京都女子大学 京都産業大学 神戸親和女子大学 四天王寺大学 園田学園女子大学 太成学院大学 天理大学 同志社大学 奈良学園大学 兵庫教育大学 羽衣国際大学 びわこ成蹊スポーツ大学 佛教大学 武庫川女子大学 立命館大学 龍谷大学
中 国	6	IPU・環太平洋大学 中国学園大学 鳥取大学 広島大学 美作大学 安田女子大学
四 国	2	香川大学 四国大学
九 州	5	九州共立大学 熊本学園大学 日本文理大学 福岡大学 名桜大学
男 子	116大学	1,663名
女 子	95大学	1,691名
合 計	225大学	3,354名

令和2年12月31日現在

全日本大学ソフトボール連盟機関誌 **ウインドミル** 第24号

2021年2月15日発行

発行者 全日本大学ソフトボール連盟会長 中野 元

編集責任者 広報記録部長 水谷 博

E-mail : mztn-hrs@tg.commufa.jp

発行所 全日本大学ソフトボール連盟

〒390-1295 長野県松本市新村2095-1 松本大学内

URL : <https://jcsf.jp/>

E-mail : hideaki.iwama@t.matsu.ac.jp

印刷 西濃印刷(株)

〒500-8074 岐阜市七軒町15番地

I S S N 1 3 4 3 - 4 3 9 X

感動！サプライヤーケンコーボール



(公財)全日本軟式野球連盟公認球
ケンコーボール



(公財)日本ソフトテニス連盟公認球
ケンコーソフトテニスボール



(公財)日本ソフトボール協会検定球
ケンコーソフトボール

一九三四年創業以来八〇年以上にわたり 一心にボールを作り続けてまいりました
これからもスポーツライフに相応しい自信作をお届けしていきます

**KENKO
BALL**

ケンコーボール

ナガセケンコー株式会社 www.nagase-kenko.com

[東京本社] TEL(03)3614-3501 [大阪営業所] TEL(06)6531-0783 [九州営業所] TEL(092)471-5381 [名古屋営業所] TEL(052)734-8886



REACH BEYOND



ソフトボールをひとつに。世界をひとつに。

トッププロから、あらゆる世代のプレーヤー、ファンまでソフトボールを愛するすべての人がひとつになる。多彩な青が織りなす「ダイバーシティブルー」のランバードはそのためのシンボルだ。ムーブメントをともに起こそう。ソフトボールを愛する私たちは、ひとつのチームになれる。

SPECIAL DREAM, SPECIAL RUNBIRD.



MIZUNO PRO



Global Elite



SELECT 9

プレーボールを待ち望む人たちへ。

2021年ミズノは、野球・ソフトボールを愛するすべての人に向けたスペシャルコレクションを製作。国境を越えて響きあう、プレーヤーたちの様々な想い。色とりどりのブルーが織り込まれた「ダイバーシティブルー」のランバードは、その象徴です。世界中のプレーヤーが同じブルーマークのもとに、ひとつになる。その光景は、きっと忘れられないものになるはずです。

Website Twitter



もっと一緒に。

CHUKYO TV

キャッチ!

月曜日～金曜日
夕方 3:48～



石橋武宜
(気象予報士)

月曜～木曜
メインキャスター
恩田千佐子

金曜
メインキャスター
松原朋美



ジモトのアスリートを応援します!

TCSC 東海学生 スポーツチャンネル

Tokai Collegiate Sports Channel

学生スポーツ専門配信プラットフォーム

バスケットボール、アメリカンフットボール等を配信中! tcsc.tv 検索

